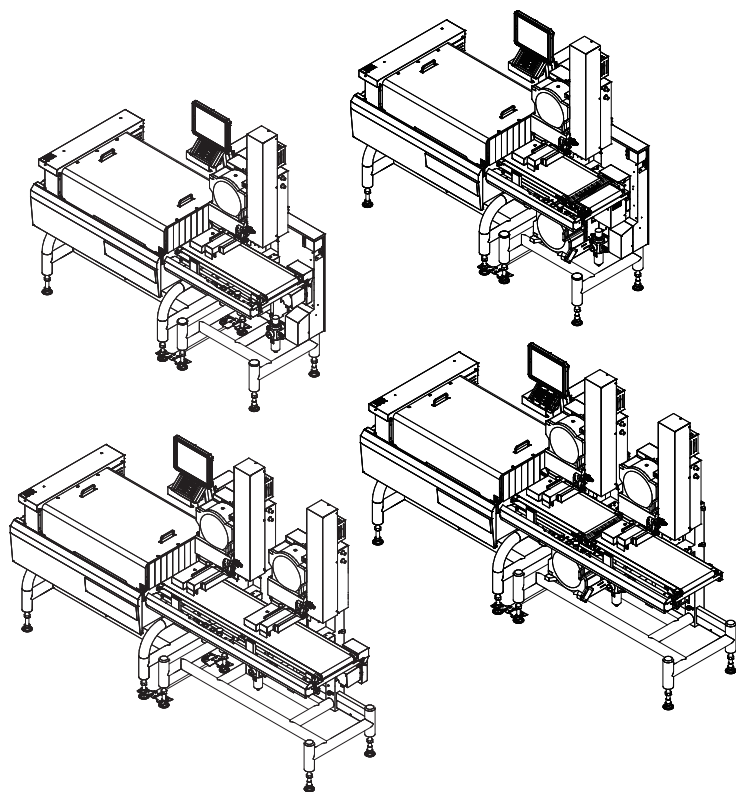


高速自動計量値付機

FDP-AI S6



取扱説明書



警告

- ・この説明書を読み、理解するまでは、据付、操作および保守・点検を行わないでください。
- ・この説明書は、機械の据付、操作および保守・点検を行う場合、いつでも調べられるように大切に保管してください。

はじめに

このたびは、「FDP-A-S6」を、ご購入いただき誠にありがとうございました。

本書では「FDP-AI-S6」の機能、操作方法、また運用方法などについて詳しく説明しています。

この装置を正しくご活用いただくため、ご使用前に本書をよくお読みください。

また、お読みになった後も大切に保管してください。

「FDP-AI-S6」には以下のバリエーションがあります。

FDP-AI

機種名	上貼プリンタ		下貼プリンタ	本書での呼び名
	1連	2連		
FDP-AI-S6-AS	○	—	—	AS
FDP-AI-S6-AW	○	—	○	AW
FDP-AI-S6-AT	○	○	—	AT
FDP-AI-S6-ATW	○	○	○	ATW

おねがい

- 本書の内容を無断で転載することを固くお断りします。
- 製品の改良などにより、本書の内容に一部、製品と合致しない箇所の生じる場合があります。ご了承ください。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 万全を期して本書を作成していますが、内容に関して、万一間違いやお気づきの点がございましたら、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。
- 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えします。購入先または当社お客様窓口までご連絡ください。
- 機器、システムの本体トラブルについては、個々のメンテナンス契約に準じた対応をさせていただきますが、本体トラブルによる作業停止などの副次的トラブルについては、その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品内のコンテンツ（画像、イラスト、その他）は著作権、著作権法によって守られています。これらのコンテンツを株式会社イシダの許諾なく無断に複製・改変・配布することを一切禁止します。

重要なお知らせ



警告

- 本製品には、潜在する危険があることを知らねばなりません。従って本製品の据付け、操作および保守・点検を行う場合には、必ず本書に従ってください。
- もし本書に従わないか、あるいは不注意や誤用・無断改造によって発生したいかなるけがや損害についても、株式会社イシダおよびその販売会社は責任を負いません。

- 現在の産業装置業界では、新しい材料や加工方法、および機械の高速化によって潜在する危険が増加しています。これらの危険について、すべての状況を予測することはできません。また「できないこと」や「してはいけないこと」は極めて多くあり、取扱説明書にすべてを書くことはできません。取扱説明書に「できる」と書いていない限り、「できない」と考えてください。本製品の操作、清掃、点検を行う場合は、本書に書かれていること、および本製品本体に表示されていることだけでなく、安全対策に関しては十分な配慮をしてください。
- 本製品を使用する際は、安全確保のため労働安全衛生法等の関連法規を守ってください。
- 株式会社イシダは、本製品が仕様に適合していることを保証します。不適合については、保証期間内に限り、お買い上げの販売店にて無償で修理または交換します。
- 不適合により生じた損害については、当該不適合の存在した本製品単体の価格を上限として賠償するものとします。ただし、逸失利益、特別損害（予見可能の有無を問わない）、拡大損害および間接損害については、損害賠償の範囲から除外されるものとします。
- 本製品の取り扱い、保管、設置、保守が不適切であった場合、または汚染、乱用、誤用、改変された場合、株式会社イシダは本製品に関する保証、修理、その他の請求について一切責任を負いません。
- 次の例示されるような場合は、保証対象となりません。
 - ① 取扱上の不注意（過失）による故障の場合
 - ② 本製品が仕様書、本書等および注意書等に定められた条件または範囲を逸脱して使用された場合
 - ③ 株式会社イシダの事前の承諾を得ることなく、本製品の改造、移設または他の機器への連動などを行った場合
 - ④ 故障の原因が本製品以外にある場合
 - ⑤ 純正部品以外の部品を使用した場合
 - ⑥ 天災、火災、不測の事故その他の不可抗力の場合
- 保証は日本国内での使用に限り有効とします。
- 保証期間は、納品後半年とします。
- 本書等は株式会社イシダの重要な秘密情報が含まれます。事前の許可なく無断で複製・改変・配布・公衆送信その他不適切な利用や第三者への開示を行うことは厳重に禁じています。
- 本書等において掲載されているすべての内容の著作権は、株式会社イシダに帰属しています。事前の許諾なく無断で複製・改変・配布・公衆送信等を行うことは、法律により禁止されています。
- 株式会社イシダは、従業員が本製品を理解する目的に限り、本書等を複製・複写することを許諾します。
- 株式会社イシダは、本書等および本製品に関するノウハウを独占的に保有しています。株式会社イシダは、本書等に定められた条件および範囲で、かつ、本製品を使用・維持する目的に限りノウハウを使用する譲渡不可・非独占的な使用権を承諾します。

お客様窓口

製品に同梱されています、サービスネットワーク一覧をご覧ください。

製造元






株式会社 イシダ

本社 〒606-8392
京都市左京区聖護院山王町44
電話：075-751-7104（直）

東京支社 〒173-0004
東京都板橋区板橋1丁目52番1号
電話：03-3964-6204（直）

警告用語の種類と意味

本書に記載している警告用語は、危険度の高さや想定される事故の大きさによって、次の3段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書の指示に従ってください。

警告用語	意 味
 危 険	回避しないと死亡または重傷を招く、差し迫った危険な状況の場合に使用しています。
 警 告	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用しています。
 注 意	回避しないと軽傷または中程度の障害を招く可能性がある危険な状況の場合、または機器・装置が損傷する場合に使用しています。
注 記	特に注意を促したり、強調したい情報について使用しています。
 参考	操作を行うときに参考になる情報について使用しています。
 参照	操作を行うときに参照するページについて使用しています。

ソフトウェアに関するご注意

本製品は、株式会社イシダが著作権を保有する、または第三者から株式会社イシダが許諾を受けた、プログラムまたはソフトウェア（以下、単に「ソフトウェア」といいます。）を使用しています。

以下の内容はこの「ソフトウェア」をご使用頂くお客様に、ご理解と使用上のご注意をお願いするものです。（なお、「ソフトウェア」のうち、オープンソースプログラム、フリーソフトウェア、または株式会社イシダが第三者から許諾を受けたプログラムについては、以下の内容にかかわらず、それぞれが定める規約・ライセンス条件（以下、単に「第三者規約」といいます。）によります。第三者規約と、以下の内容や株式会社イシダとお客様との契約その他の合意との間で矛盾・抵触が生じた場合は、第三者規約の記載が優先されるものとします。

「ソフトウェア」がインストールを必要とする場合はインストール実行時、それ以外の場合は、本製品の使用を開始した時点で以下の内容に同意したものとみなします。

この「ソフトウェア」についてはお客様に以下の事項についてご了承をお願いいたします。

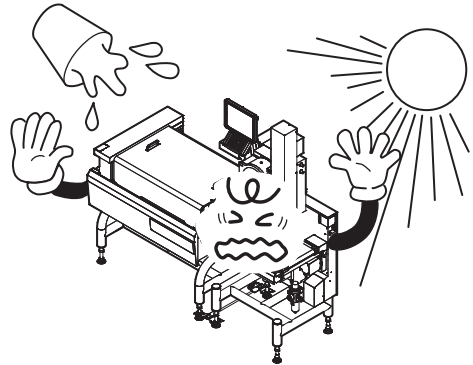
1. お客様は、自らまたは第三者をして、株式会社イシダが書面により認めた場合を除き、「ソフトウェア」の複製、公衆送信もしくは移設（他の装置でのご使用）、本製品から「ソフトウェア」を分離して、「ソフトウェア」の譲渡もしくは貸与を行わないでください。
2. お客様は、自らまたは第三者をして、「ソフトウェア」の改変・翻案、もしくはリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブル等、現状から変更する行為（以下「変更行為」といいます。）を行わないでください。お客様の変更行為により、何らかの欠陥・故障等が生じたとしても、株式会社イシダおよび販売店等は一切の保証をいたしません。また、変更行為の結果、万一お客様に損害が生じたとしても株式会社イシダおよび販売店等は責任を負いません。
3. 「ソフトウェア」は株式会社イシダからお客様に使用を許諾しているもので、お客様へ権利を譲渡するものではなく、お客様は、第三者に使用権を譲渡し、または再使用許諾することはできません。
4. 株式会社イシダおよび販売店等は、「ソフトウェア」にエラー、バグ等の不具合がないこと、「ソフトウェア」が中断なく稼動すること、「ソフトウェア」がお客様の特定の目的に適合すること、または「ソフトウェア」の使用がお客様および第三者に損害を与えないことを保証するものではありません。
5. 「ソフトウェア」のご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、別途定めがない限り、株式会社イシダおよび販売店等に故意または重過失が認められる場合を除き、株式会社イシダおよび販売店等は責任を負いません。「ソフトウェア」に関し、請求の原因の如何にかかわらず、株式会社イシダまたは販売店等が賠償責任を負う場合の総額は、本製品の販売金額を上限とし、逸失利益、特別損害、拡大損害および間接損害（いずれも予見可能性の有無を問いません。）についてはその賠償の対象から除外されるものとします。
6. お客様は、「ソフトウェア」を日本国外に持ち出される場合、自己の責任において、日本国内外の輸出管理に関連する法規を遵守するものとします。
7. お客様は、本注意事項の他、「ソフトウェア」についての取扱説明書の記載を遵守して本製品を使用してください。
8. お客様が、上記各内容をご了承頂けない場合、または上記各内容に違反した場合、株式会社イシダは「ソフトウェア」の使用を禁止できるものとし、本製品のご使用を中止して頂く場合もございますのでご注意ください。

⚠ 設置上のご注意

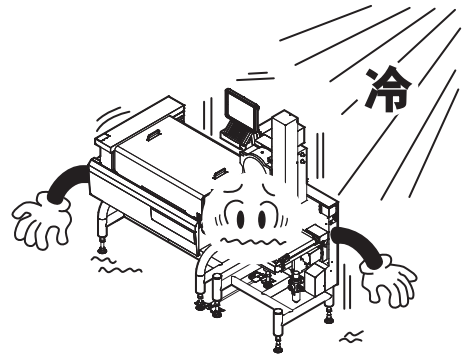
次のような場所への設置は避けてください

⚠ 警告

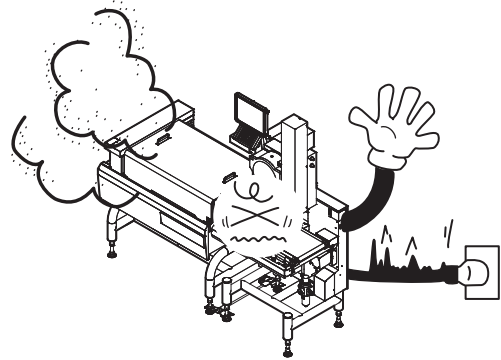
- ・ 低温、低湿または高温、高湿の場所
- ・ 直射日光のあたる場所
- ・ 水のかかる場所



- ・ 振動の多い場所
床や土台などが不安定な場所
- ・ 冷気が直接あたる場所
クーラーや冷蔵庫などの冷気があたる場所



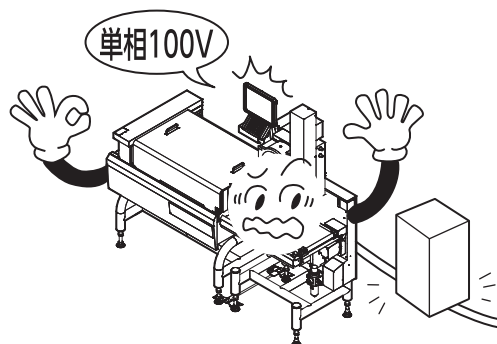
- ・ チリ、ホコリなどの多い場所
- ・ 電圧変動の大きい場所



電源について

警告

- 電源は必ず単相 100V アース付を使用してください。
プラグは抜け防止のため、引っ掛け式を採用しています。
- 専用の電源を引いてください。
電圧変動の生じる電源は誤動作の原因となります。
- 電源コードを踏みつけたり、重いものをのせたりしないでください。
コードが傷み、そのまま使用を続けると事故やトラブルの原因となります。
- 長時間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となります。



空気源について

警告

- 清浄な空気を使用してください。
圧縮空気が、化学薬品・有機溶剤を含有する合成油・塩分・腐食性ガスなどを含む時は破壊や作動不良の原因となりますので使用しないでください。
- アフタークーラ、エアドライヤ、ドレンキャッチなどを設置し対策を施してください。

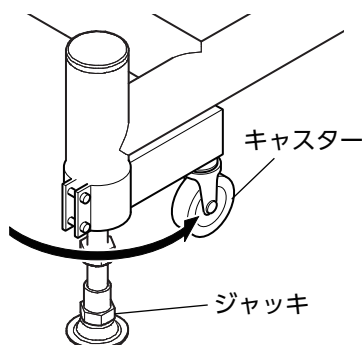
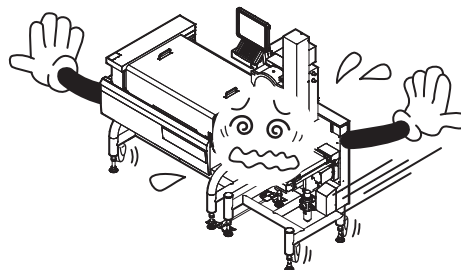
注意

ドレンを多量に含んだ圧縮空気はバルブや他の空気圧機器の作動不良の原因となります。

本体固定用のジャッキについて

警告

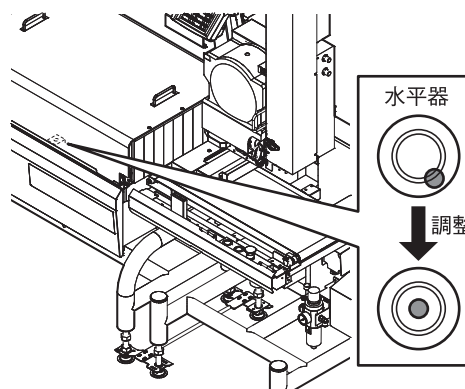
- ・ 本体は水平な場所に設置し、一度設置した後は、本体固定用のジャッキを外さないでください。キャスターは下図のように収納して下さい。
※キャスターはオプションです。



水平器について

注意

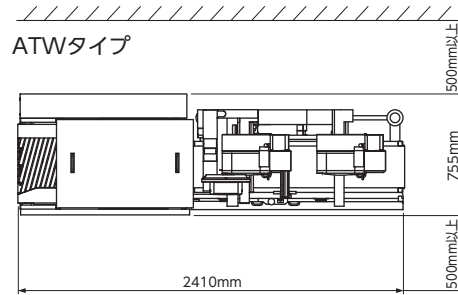
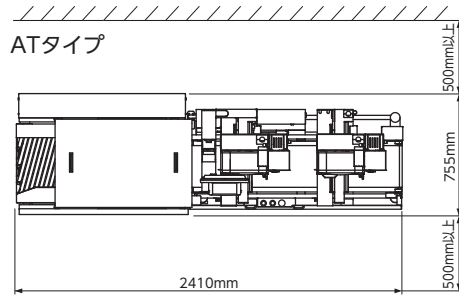
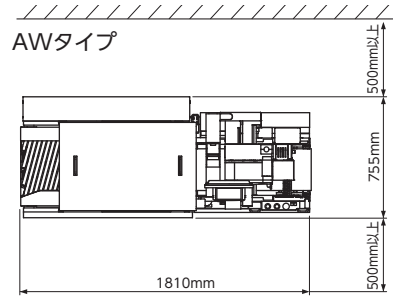
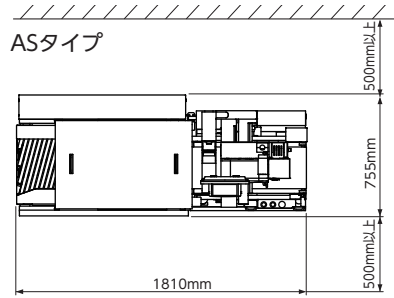
- ・ 本機は必ず水平に設置してください。
水平器で水平出しが正しく行われていないと、計量誤差がでたり、うまく包装できない原因となります。
水平になっていない場合は、本体固定用のジャッキ（4箇所）で水平を出してください。



設置スペースにはゆとりを

注意

・本機の前後には、十分な作業スペースをとって設置してください。



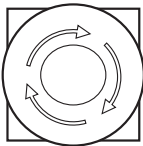
⚠️ ご使用上の注意

本機には、作業者に危険を知らせるための警告ラベルが貼り付けられています。ここでは、その警告ラベルの意味と取扱上の注意事項について説明します。

⚠️ 注意

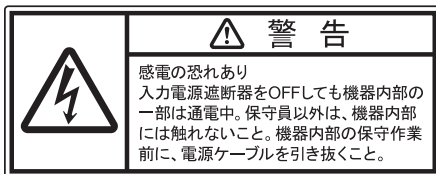
これらのラベルはいつもきれいにしておいてください。本機に貼り付けてあるラベルがはがれたり、ラベルに書かれている文字が消えたりしないように、注意してご使用ください。

警告ラベルの意味



非常停止

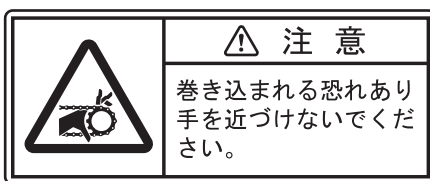
作業中、本機内部に手を入れる場合や本機から異音がする場合、またそのままにしておくと危険な状態になるときなどに必ず非常停止スイッチを押してから作業または保守を行ってください。



本体の背面および電気 BOX カバーに貼り付けられています。感電する危険性があるため、絶対にさわらないでください。



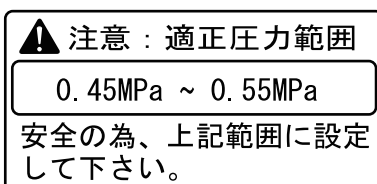
本機のコンベヤ周辺およびフロントカバー内で手を巻き込む可能性のある箇所に貼り付けられています。コンベヤ周辺で作業が生じる場合は、必ず非常停止ボタンを押してから作業を行ってください。



本機のコンベヤ周辺およびフロントカバー内で手を巻き込む可能性のある箇所に貼り付けられています。コンベヤ周辺で作業が生じる場合は、必ず非常停止ボタンを押してから作業を行ってください。



本機の可動部周辺で手を挟み込む可能性のある箇所に張られています。可動部周辺で作業が生じる場合は、必ず非常停止ボタンを押してから作業を行ってください。

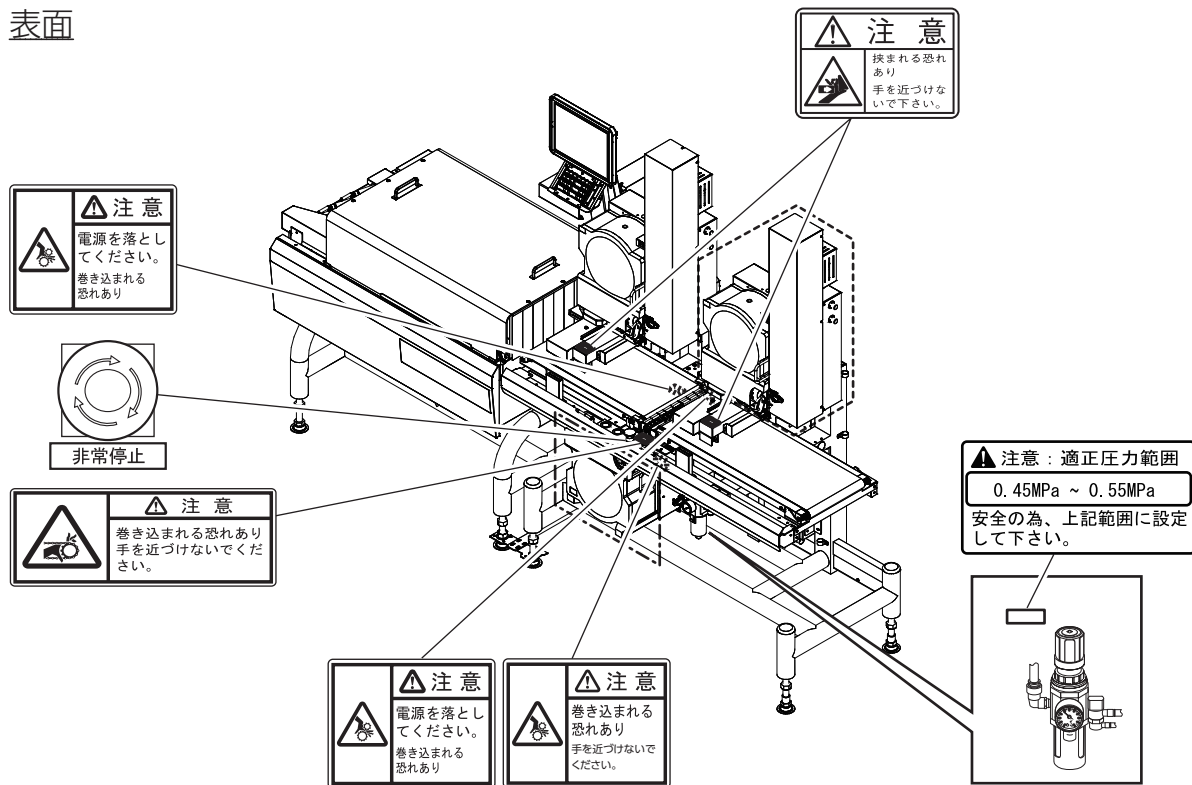


レギュレータ部に貼り付けられています。レギュレータの圧力は、0.45MPa ~ 0.55MPa になるように設定してください。

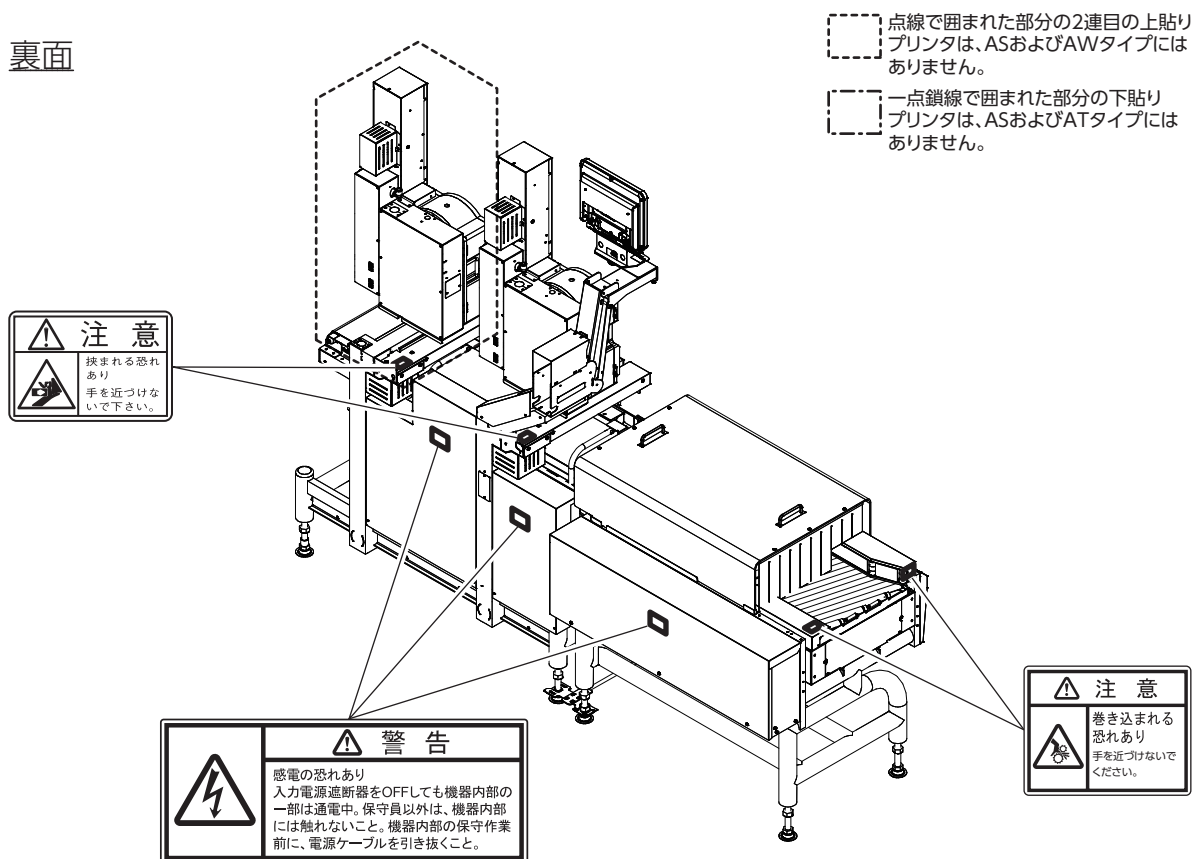
警告ラベルの貼付位置と取扱上の注意事項

■ 巾寄せタイプ

表面

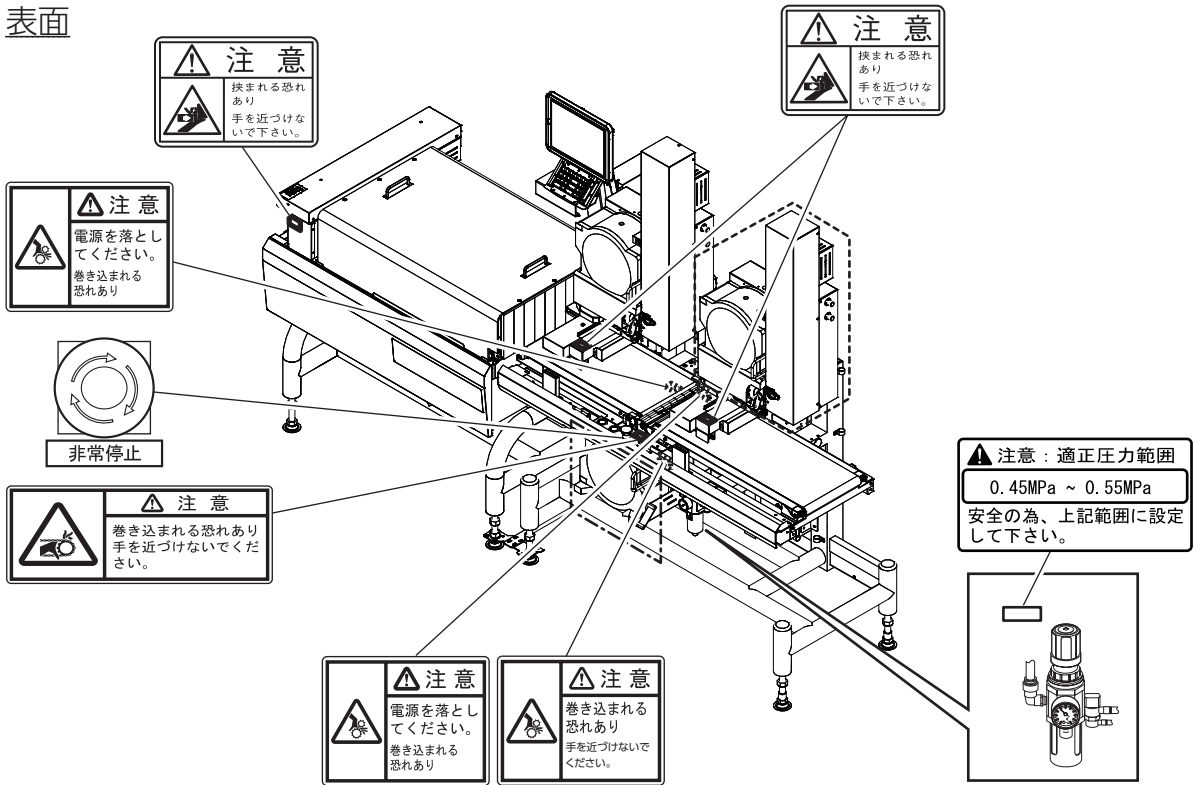


裏面

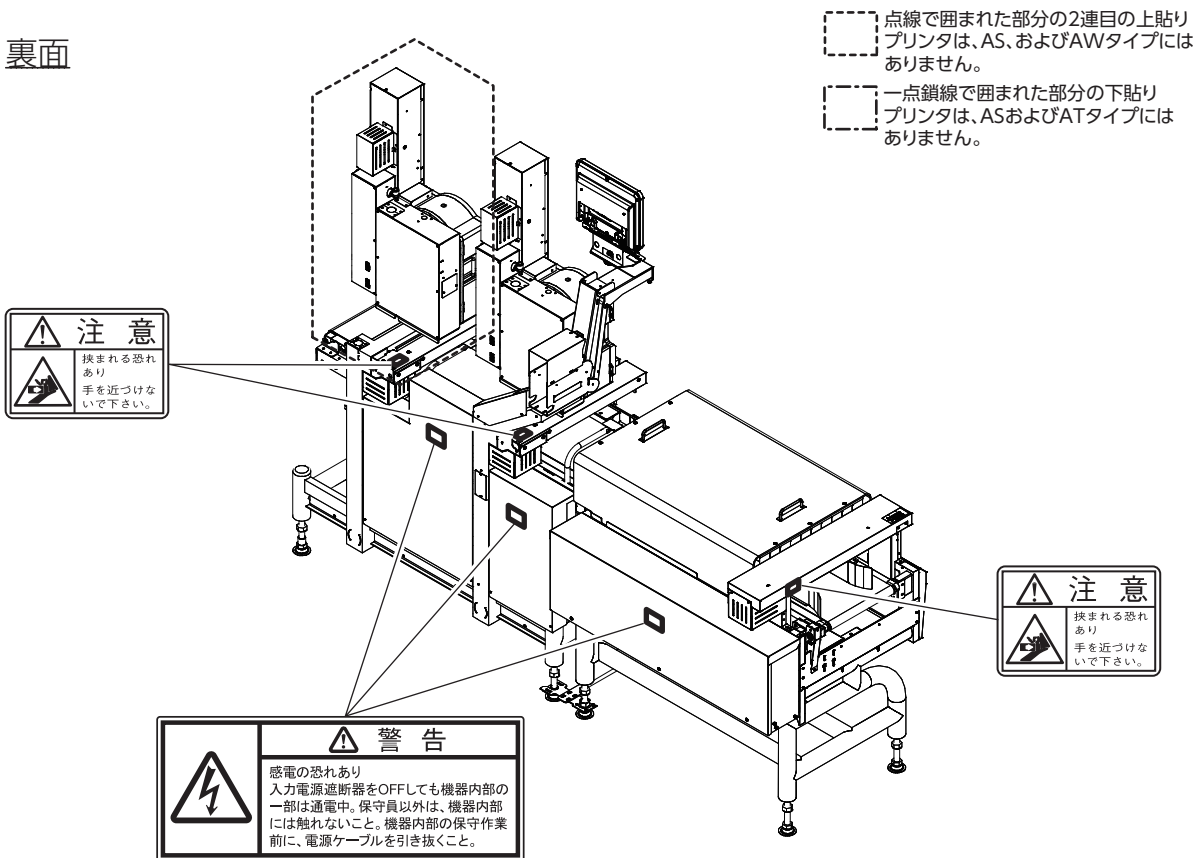


■ センター寄せタイプ

表面



裏面



動力源しゃ断と表示

本機の保守・点検前には、作業者の安全のために動力の供給をしゃ断してください。
また、作業中に他の人が動力の供給を開始しないように、事故防止用の札を製作し、動力のしゃ断部分に掲示してください。

この装置では、装置本体の電源スイッチを OFF にしてください。
事故防止用の札は、電源スイッチの横に吊り下げてください。



事故防止用札 (例)

一般的な注意事項

本機を安全に使用するために、守らなければいけない一般的な注意事項について説明します。

⚠ 危険

- 濡れた手で、各スイッチやボタンに触れないでください。アース効果が不良のとき、感電するおそれがあります。
- 電気工事は電気工事店、または電気工事免許を持った人が行ってください。
- 本機の通電部分には触れないようにしてください。感電することがあります。
- 保守・点検は、電気保守担当の人が行ってください。電気保守担当者以外の人の保守・点検は、感電や本機の誤作動の原因となります。

⚠ 警告

- 本機を操作する人は、長い髪は束ね、帽子を着用し、作業に適した服装・靴で作業をしてください。長い髪の毛や作業に適さない服装が原因で、本機の回転部に巻き込まれたりしてけがをすることがあります。
- 本機を運転する前には、各部のカバーが取り付けられていることを確認してください。
- 特に指示する部分以外の点検・修理は、電源スイッチを「切」にして行ってください。
- 本機の点検処置をするときは、電源スイッチを切ってしばらくたってから、作業をしてください。電源をしゃ断しても、しばらくは熱い部分があります。また、本機の前・後工程にほかの機物が接続されているときはすべての機物の電源をしゃ断してください。
- 保守・点検をするときは、ほかの人が誤って電源を投入し、装置を動かしたりするのを防止するため、周囲に保守・点検中であることを明示してください。

⚠ 注意

- 本機の上に工具などのものを置いて本機を運転しないでください。可動部などに落ちて、本機が破損することがあります。
- 保守・点検などの作業をするときは、作業服を着用してください。また軍手の着用は避けてください。
- 食品などで汚れた手で、本機及び包材に触れないでください。微生物汚染の原因となります。

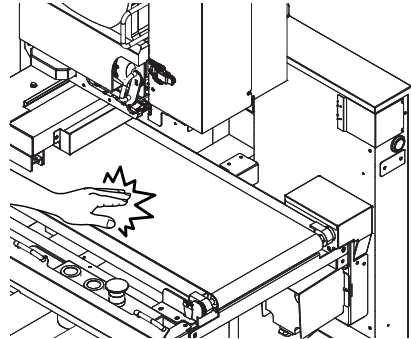
取扱上の注意事項

警告

- ・ 作業中、コンベヤに触れないでください。

コンベヤ上にあるものを取り出す場合などで、やむを得ずコンベヤに手を入れる場合は必ず非常停止スイッチを押してください。

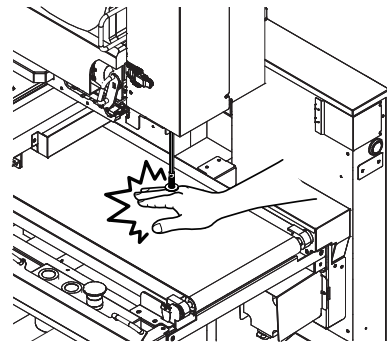
手を巻き込む恐れがあります。



- ・ ラベル貼付アーム稼動中は、ラベル貼付アームの可動範囲に手を近づけないでください。

ラベル除去などでやむを得ず手を近づける場合には、必ず非常停止スイッチを押してください。

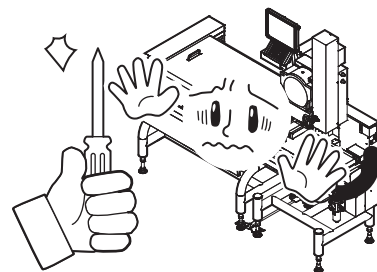
ラベル貼付アームが駆動し、手などを挟み込む恐れがあります。



- ・ 分解したり、改造したりしないでください。

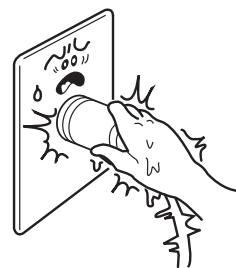
誤った分解をすると、故障の原因になります。本機を改造したり、指定外の部品を取り付けたり、取り外したりされた場合、重大な事故、けがの原因にもなります。

(その後の品質は保証いたしかねます。)



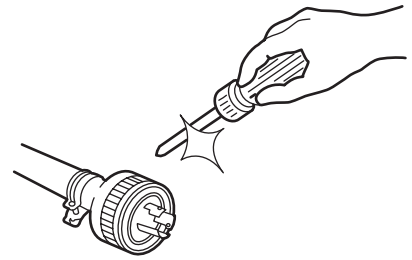
- ・ 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。

感電・ショートの原因になります。

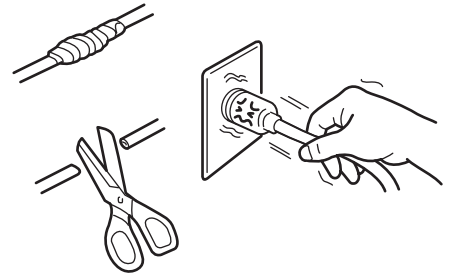


警告

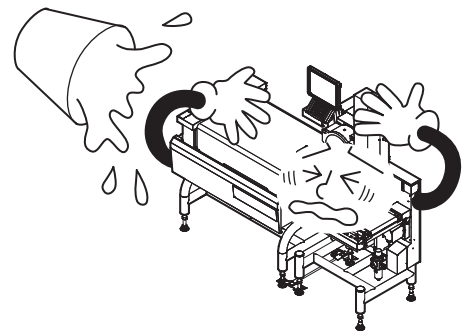
- プラグおよび電源コードは加工しないでください。
火災・感電の原因になります。



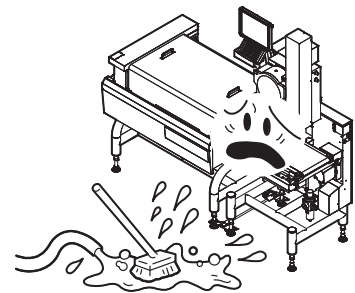
- 電源コードを引っ張ったり、傷つけたり、加工しないでください。
芯線が破損して、火災、感電の原因になります。



- 本機に直接水をかけないでください。
感電および故障の原因になります。



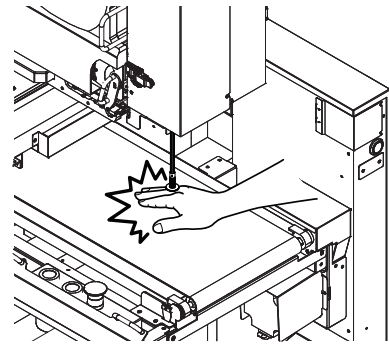
- 床掃除などに水を使用される場合には、水の跳ね返りが本体にかからないように注意してください。
機械故障や汚れ付着の原因になります。



警告

- ・ 掃除を行う場合は、主電源スイッチを OFF にしてから行ってください。コンベヤなどに手を巻き込む恐れがあります。

- ・ ラベル貼付アームのクッションゴム先端の清掃は、必ず非常停止ボタンを押してから行ってください。手を挟み込む恐れがあります。



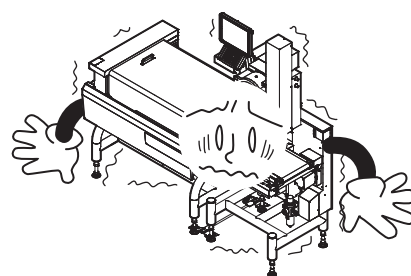
- ・ 装置の内外に異物が残ると、重大な異物混入事故につながるおそれがあります。

本製品ご使用前の点検と清掃は毎回必ず実施してください。

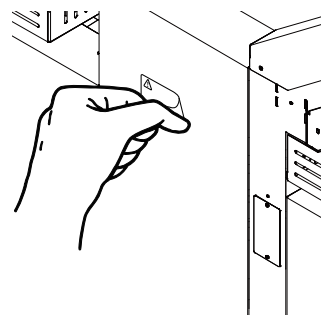
特に納品後や保守後は残留リスクが高まるため、より入念な確認を実施してください。

▲ 注意

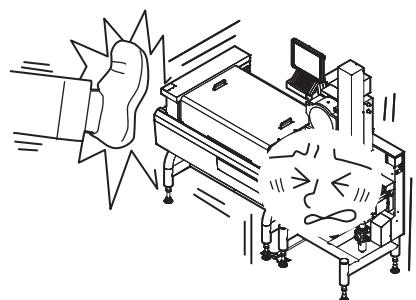
- ・ 精密機器なので、衝撃を与えないでください。
破損の原因となります。



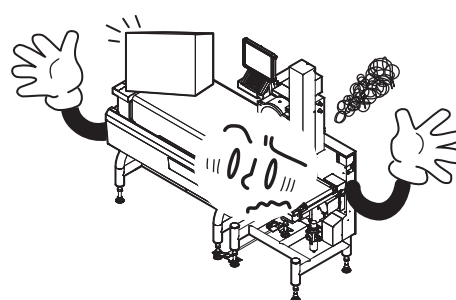
- ・ 警告ラベルは傷つけたり、はがしたりしないでください。
警告ラベルが汚損したり、はがれたりした場合は、お買上げになられた弊社販売店までご注文ください。



- ・ 本機やプリンタユニットには強い力を加えないでください。
変形や故障の原因になります。



- ・ コンベヤの上に重い物を置いたり、本機の上に乗ったりしないでください。
変形や故障の原因になります。

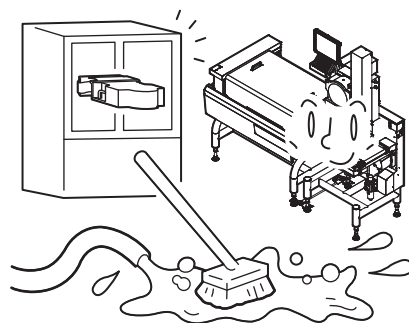


▲ 注意

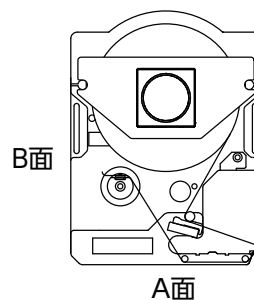
- ラベルは高温、高湿を避けて、衛生的な場所に保管してください。貼付エラーなどの原因になります。



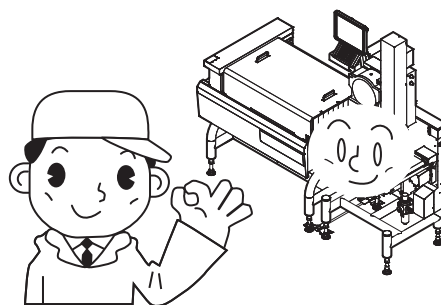
- 床掃除など水を使用される場合には、必ずラベルまたはラベルカセットをカセットごと取り外し、次の作業を開始するまで常温常湿の場所に保管してください。



- 未使用カセットは、図のA面、B面が下になるように置いてください。

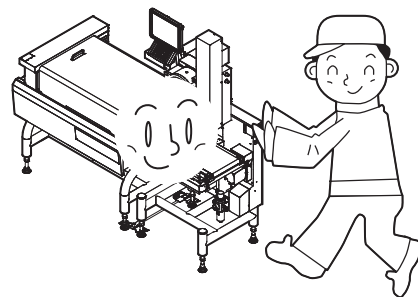


- 本機設置につきましては、販売元の担当者にお任せください。



注意

- ・ 本機を移動される場合は、販売元の担当者にご連絡ください。



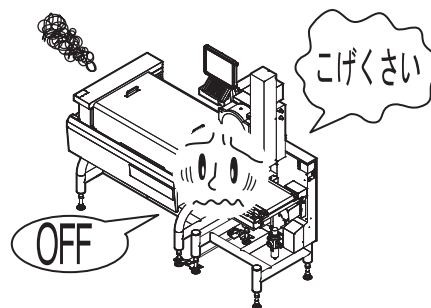
運転中の注意事項

警告

- ・ 異常時（こげ臭いなど）は使用を中止して主電源スイッチを OFF にしてください。

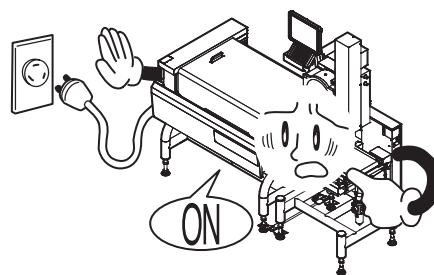
異常のまま使用を続けると火災・故障の原因になります。

使用を中止して、お買い上げの販売店へ連絡してください。



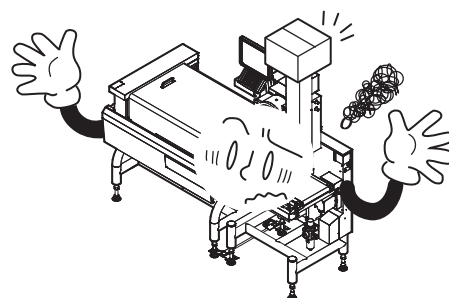
- ・ 本機の主電源スイッチを ON にしたまま、コンセントを抜き差ししないでください。

故障の原因になることがあります。



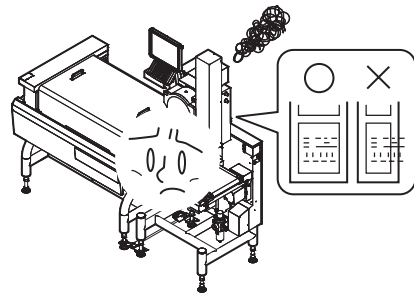
- ・ 上貼プリンタなど可動部の上には物を置かないでください。

落下による事故、故障の原因となります。

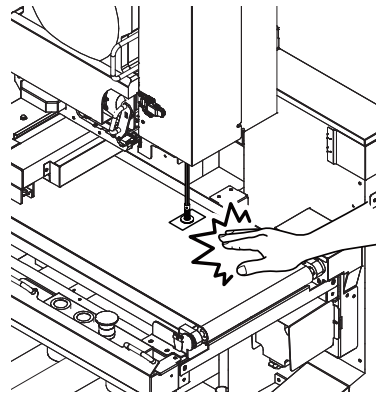


警告

- ラベルの大きさを誤って印字させないでください。
ラベルの幅を越えて印字させると、サーマルヘッドおよび印字ローラーの焼損・火災の原因になることがあります。



- 生産稼働中にラベルを手で取らないでください。(センサ手切りなど)
上貼アーム下降、上昇中に手を入れると打撲やはさみこみ、コンベヤへの巻き込みによるけがのおそれがあります。また、下貼ラベルを手で取る際、コンベヤに服のそでを巻き込まれけがをすおそれがあります。



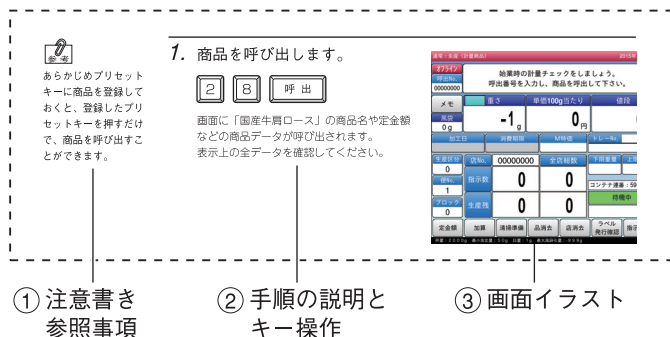
- ファン停止エラー（ファン異常エラー）が出たまま使用しないでください。
異常のまま使用を続けると、故障の原因になります。お買い上げの販売店へ連絡してください。



本書の使いかた

この取扱説明書の各ページの操作説明欄は、次のような構成になっています。

操作説明欄の構成



- ① 各ページの左側には、特に注意していただきたいことや、参考文、参照ページなどを示しています。
- ② 操作手順を説明し、その下にキー操作を記載しています。
- ③ 操作手順に沿った画面表示やイラストを示します。

本書のキー表示について

●ストロークキーについて



ストロークキーを示します。

●タッチキーについて



タッチパネルのタッチキーを示します。

※ストロークキーおよびタッチキーが並んで記載されているときは、連続して操作することを示します。

第1章

ご使用になる前に

FDP-AI-S6 の概要、取扱上の注意点などについて説明しています。
この装置を理解し、正しく安全にお使いいただくためにも必ずお読みください。

第2章

基本的な使いかた

日常作業を行うときの操作方法について説明しています。

第3章

ちょっと便利な機能

日常操作を行うときに、知っている便利な機能について説明しています。

第4章

各データの登録のしかた

商品データなどの各種データを変更するとき、または新たにデータを追加するときの操作方法について説明しています。

第5章

設定のしかた

初期設定などのデータの設定方法について説明しています。
データを管理している人以外は、操作しないでください。

第6章

調整のしかた

日付時刻や画面輝度、タッチパネル画面の調整方法について説明しています。

第7章

付録

エラーメッセージが表示されたとき、およびその他のトラブルが発生したときの対処方法、索引、仕様について説明しています。

目次

● はじめに.....	II
● 重要なお知らせ.....	III
● 警告用語の種類と意味.....	IV
● ソフトウェアに関する注意事項.....	VI
▲ 設置上のご注意.....	VI
次のような場所への設置は避けてください.....	VI
電源について.....	VII
空気源について.....	VII
本体固定用のジャッキについて.....	VIII
水平器について.....	VIII
設置スペースにはゆとりを.....	IX
▲ ご使用上の注意.....	X
警告ラベルの意味.....	X
警告ラベルの貼付位置と取扱上の注意事項.....	XI
動力源しゃ断と表示.....	XIII
一般的な注意事項.....	XIII
取扱上の注意事項.....	XIV
運転中の注意事項.....	XIX
● 本書の使い方.....	XXI
操作説明欄の構成.....	XXI
本書のキー表示について.....	XXI
● 本書の構成.....	XXII
● 目次.....	XXIII

第1章 ご使用になる前に 1-1

● 各部の名称と機能.....	1-2
本体外観.....	1-2
ストロークキー部.....	1-4
トレーガイド移動キー.....	1-5
レギュレータ.....	1-6
● 使用できるラベル.....	1-7
● 作業前の準備.....	1-7
付属品の確認.....	1-7
作業前の点検.....	1-7
● 日常のお手入れ.....	1-8
清掃箇所.....	1-8
清掃上のご注意.....	1-9
コンベヤの分解と清掃.....	1-9
コンベヤの組み立て.....	1-14
貼付アームのクッションゴム先端の清掃.....	1-17
サーマルヘッド、印字ローラーの清掃.....	1-18
クリーニングフィルムの使用方法.....	1-20
動作確認.....	1-21
● 運転の開始と終了のしかた.....	1-22
起動のしかた.....	1-22
終了のしかた.....	1-22

● ラベルをセットします.....	1-23
上貼プリンタのラベルセット方法.....	1-23
下貼プリンタのラベルセット方法.....	1-26

第2章 基本的な使いかた.....2-1

● 通常モードの画面説明.....	2-2
通常画面のタッチキー.....	2-2
通常画面の表示欄.....	2-5
● インライン/オフライン操作の流れ.....	2-6
値付け操作の流れ.....	2-6
● 値付けをします (インライン).....	2-7
値付けの作業.....	2-7
● 値付けをします (オフライン).....	2-10
値付けの作業.....	2-10

第3章 ちょっと便利な機能.....3-1

● 一覧表示から商品データを呼び出します.....	3-2
● メモプリセットキーから商品データを呼び出します..	3-3
メモプリセットキーを登録します.....	3-3
メモプリセットキーを使って商品を読み出します..	3-4
メモプリセットキーを消去します.....	3-5
● 商品データを一時変更します.....	3-6
100g単価を変更します.....	3-6
トレーNo.を入力してトレーを変更します.....	3-7
トレー一覧画面でトレーを変更します.....	3-8
定額記号を変更します.....	3-9
値引きをします.....	3-10
● 商品の重量範囲を変更します.....	3-11
● ラベルの日付、時刻を変更します.....	3-12
● 税タイプの確認画面.....	3-14
● ラベルの貼付方向の調整と位置調整.....	3-15
貼付方向の調整と変更.....	3-15
貼機の位置調整.....	3-16
● 個体識別No.とロットNo.を設定します.....	3-17
個体識別No.を直接入力します.....	3-17
ロットNo.を直接入力します.....	3-18
ロットNo.を英数字で入力します.....	3-19
個体識別No.とロットNo.をスキャナで読み込みます..	3-20
履歴一覧から個体識別No.とロットNo.を選択します..	3-20
● ファンクションキーの便利機能.....	3-21

第4章 各データの登録のしかた.....4-1

- 登録モードに切り替えます.....4-2
- 商品登録.....4-3
 - 商品データ登録.....4-3
- 原材料登録.....4-20
- 店名/住所登録.....4-23
 - 店名/住所登録.....4-23
 - 印字条件設定.....4-24
- トレー登録.....4-26
 - トレー登録画面1/2.....4-26
 - トレー登録画面2/2.....4-28
 - トレー名登録.....4-31
- 文字入力のしかた.....4-32
 - 文字入力画面のキーの機能.....4-32
 - かな入力.....4-34
 - ローマ字入力.....4-36

第5章 設定のしかた.....5-1

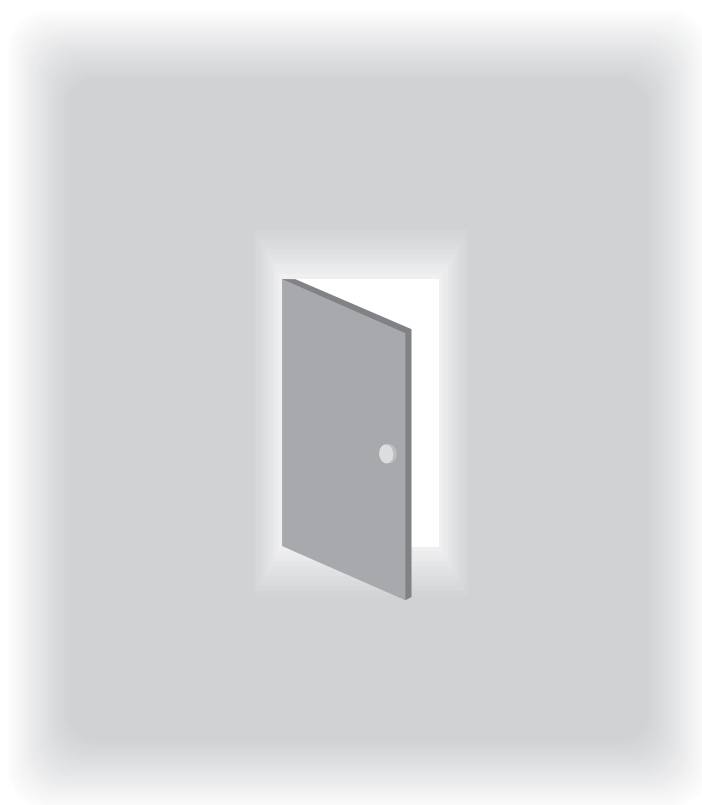
- 設定モードに切り替えます.....5-2
- 機械・部門No.設定.....5-3
- 暗証番号設定.....5-4
- 自動更新設定.....5-6
- 個体識別No./ロットNo.設定.....5-7

第6章 調整のしかた.....6-1

- 調整メニュー画面を開くには.....6-2
- 時計の調整.....6-3
- タッチパネルの調整.....6-4
- 表示確認.....6-5

第7章 付録.....7-1

- エラーの解除方法.....7-2
- 索引.....7-7
- 仕様.....7-9



第 1 章
ご使用になる前に

各部の名称と機能

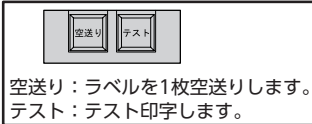
本機の各部の名称と機能について説明します。
本書は下記の名称を使って説明していますので、ここで各部の名称を確認してから以降のページを読んでください。

本体外観

■ 巾寄せタイプ

正面

1連目空送り／テストキー
(上貼プリンタ)



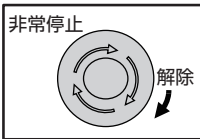
空送り：ラベルを1枚空送りします。
テスト：テスト印字します。

計量コンベヤ
ユニット
水平器

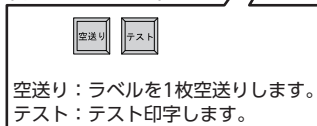
1連目貼付コンベヤ
ユニット

ストップボタン
スタートボタン

非常停止スイッチ



空送り／テストキー
(下貼プリンタ)



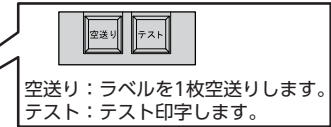
空送り：ラベルを1枚空送りします。
テスト：テスト印字します。

タッチパネル
ストロークキー

1連目上貼カセット

2連目上貼カセット
(AT、ATWに装備)

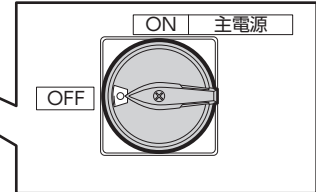
2連目空送り／テストキー
(上貼プリンタ)



空送り：ラベルを1枚空送りします。
テスト：テスト印字します。

(AT、ATWに装備)

主電源スイッチ



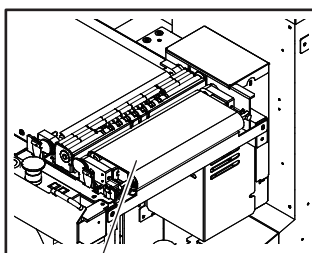
2連目貼付コンベヤユニット
(AT、ATWに装備)

下貼ラベル
コンベヤ

下貼プリンタ
(AW、ATWに装備)

レギュレータ

背面



排出コンベヤユニット
AWタイプのみ

2連目上貼プリンタ
(AT、ATWに装備)


1連目上貼プリンタ

風防カバー

巾寄せコンベヤ
ユニット

ジャッキ

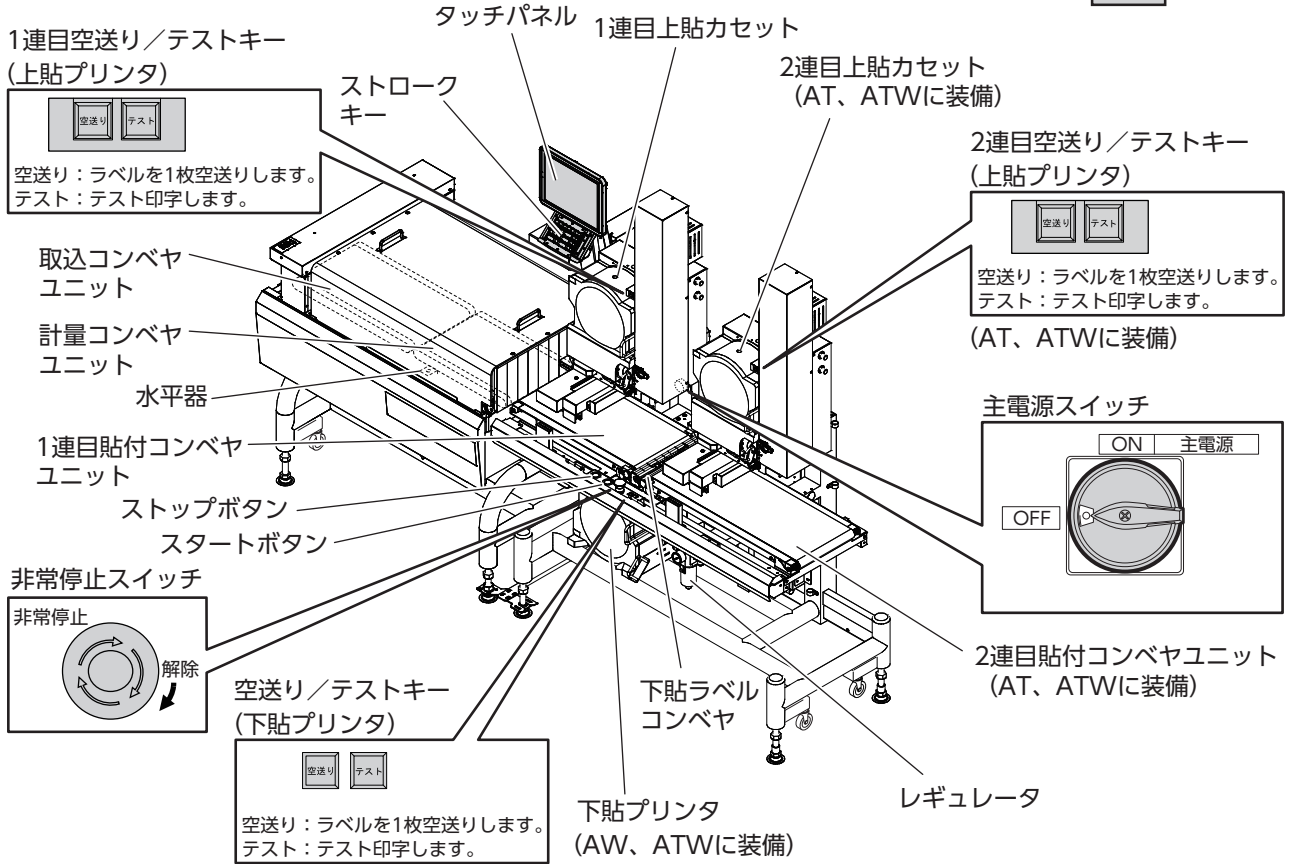
キャスタ

 : 操作部

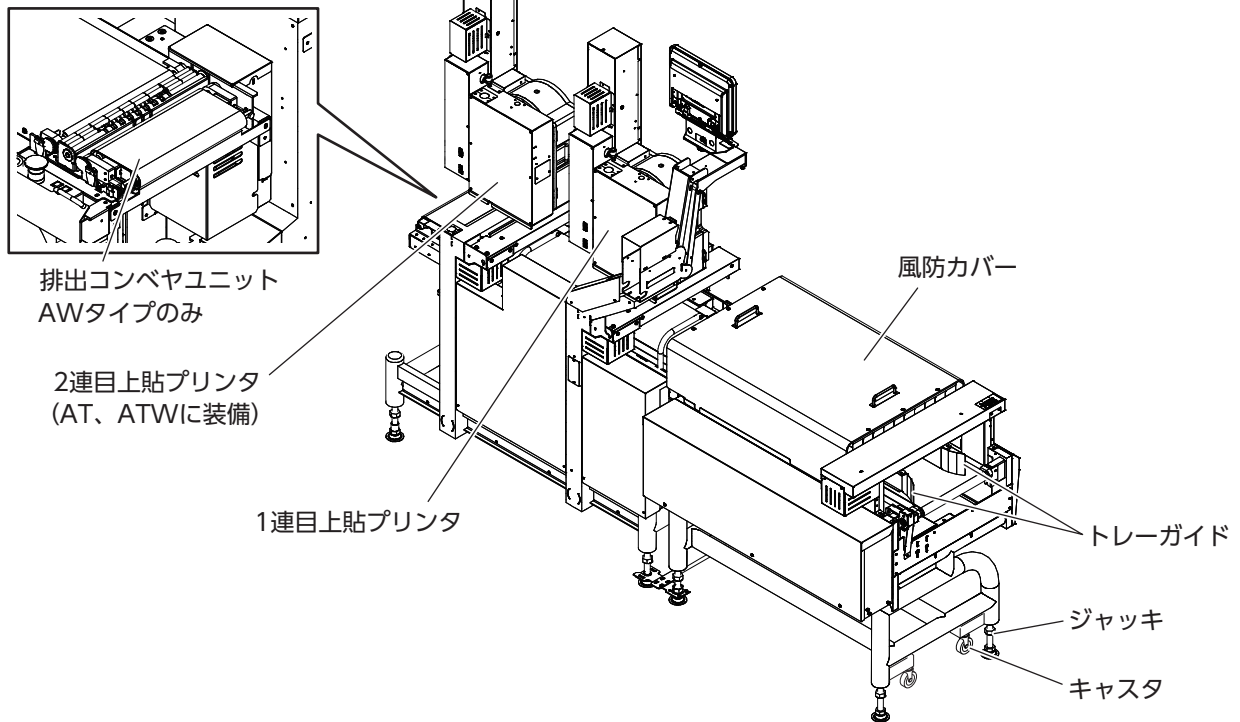
■ センター寄せタイプ

正面

■ : 操作部



背面



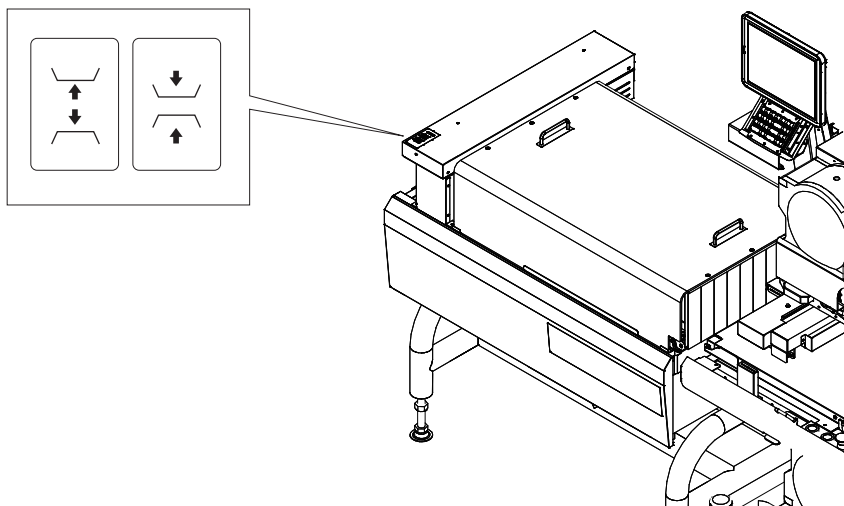
ストロークキー部



呼出	商品の呼出（インライン時は生産指示の要求）をおこないます。
スタート	商品呼出後（指示設定完了後）、スタートキーを押すと、コンベヤがスタートし、生産中の状態となります。
品終	生産中に品終キーを押すと、コンベヤがストップし、生産終了の状態となります。
店	店コードの入力や、店の呼出に使用します。
打切	生産中に、現在値付中の店を途中で打ち切って次の店へスキップさせる場合に使用します。
空送	ラベルを1枚空送りするときに使用します。
印字	テスト印字するときに使用します。
ゼロ	ゼロ点補正するときに使用します。
風	風袋重量を設定する時に使用します。
消	入力数値の消去やエラー解除などに使用します。

トレーガイド移動キー

トレーガイドの位置を微調整するための操作パネルがあります。
ここでは各キーの機能について説明します。



トレーガイドの幅を広くします。



トレーガイドの幅を狭くします。

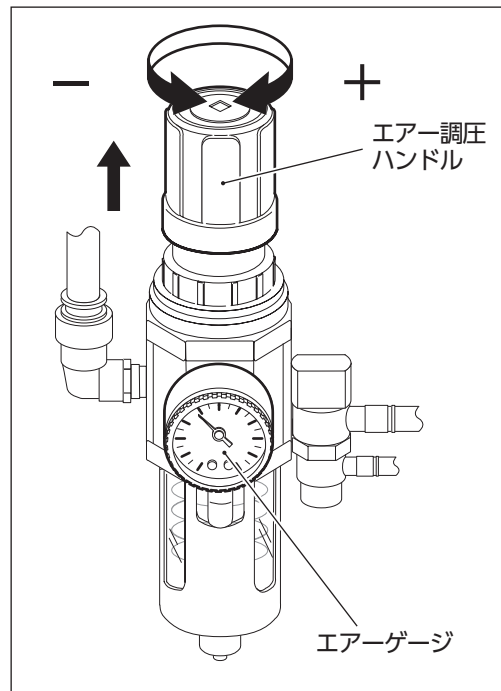
レギュレータ

⚠ 警告

エアチューブ上に物を置いたり、荷重をかけたください。

1. エアチューブを接続します。

チューブにひび割れがないことを確認して、正しく取り付けてください。



⚠ 注意

エア圧の調整は、必ず上昇方向で設定してください。

2. エアを供給し、調整します。

- ① レギュレータ上部のエア調圧ハンドルを引き上げます。
- ② エア調圧ハンドルを回し、0.45 ~ 0.55MPa (4.5 ~ 5.6kg·f/cm²) になるように調整します。



- ・ +方向（時計回り）に回すとエア圧が上昇します。
- ・ -方向（反時計回り）に回すとエア圧が下降します。

【例】 現在のエア圧 0.6MPa を 0.5MPa に設定します。

1. エア調圧ハンドルをマイナス方向に回し、0.5MPa よりやや低めに設定します。
 2. 「テスト」ボタンを 2 ~ 3 回押し、ラベルをテスト発行することでエア圧を安定させます。
 3. エア調圧ハンドルをプラス方向に回し、0.5MPa に設定します。
- ③ 調整後はハンドルを下に押しロックします。

使用できるラベル

ご使用いただくラベルは、本機にあった指定のものをお使いください。

適応ラベルロールサイズ：ラベル巻外径φ 224 mm 以下（ラベル幅が 80 mm を超える場合はφ 220 mm 以下）
 上貼 幅：20～80 mm 天地：20～85mm
 下貼 幅：20～80 mm 天地：28～100mm

▲ 注意

適応ラベル以外のラベル、適応ラベルサイズ以外のラベルを使用すると、ラベルが正しく印字、搬送できなくなることがあります。

作業前の準備

ここでは、作業前の本機の点検方法と、電源の入れかたについて説明します。

付属品の確認

次の付属品が揃っているか確認してください。
 もし、足りないものがありましたら、弊社営業担当者までお尋ねください。

- ・取扱説明書（抜粋編）
- ・保証書
- ・サービスネットワーク一覧
- ・サーマルヘッドクリーナー
- ・クリーニングフィルム
- ・おもり（500g）

作業前の点検

▲ 注意

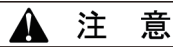
作業前の点検は、必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。動作確認時のみ電源をONにしてください。

常に良好な状態で日常の操作を行っていただくために、実際の作業の前には必ず以下の項目を点検してください。

点検箇所	対処方法
表示部、操作部の汚れ	よくしぼって水切りした柔らかい布で、汚れを拭き取ってください。
サーマルヘッドの汚れ	ゴミ、ラベルの付着などを取り除いた後、サーマルヘッドクリーナーで拭いてください。
ラベルセット部のローラーの汚れ	
ラベル吸着センサの汚れ	
ラベルセット部の汚れ	ゴミ、ラベルの付着などを取り除いてください。
ラベル送り状態の確認	「空送」キーを押して、印字位置を調整してください。
値付け/流し目切替「流し目」	商品呼び出ししていない状態で、付属の流し目計量チェックが行えます。計量された流し目おもりには、計量結果を印字したラベルが貼り付けられます。この機能は、始業前の計量確認にご使用ください。

日常のお手入れ

清掃箇所



注意

日常のお手入れを行うときは、必ず主電源スイッチをOFFにしてから作業を行ってください。

貼付アームのクッションゴム先端の清掃は非常停止ボタンを押してから行ってください。

本機を末永くお使いいただくために、またトラブルや故障を未然に防止するためにも日常のお手入れが必要です。作業後は、毎日清掃して常に清潔を保つようにしてください。

センサ

センサ

ラベル吸着
センサ

1連目
センサ

2連目
センサ

センサを定期的にクリーニングしてください。クリーニングは付属のフェルトペンにクリーニング液をつけて軽く拭いてください。このとき、センサの光軸をずらさないように注意してください。

画面や本体外板は乾いた布で拭いてください。食品残渣が付着した場合は、アルコールを含めたふきんで拭いてください。シンナー、ベンジンなどの薬品を使用しないでください。

貼付コンベヤユニット 排出コンベヤユニット (AWタイプのみ)

貼付コンベヤユニットと排出コンベヤユニットを清掃してください。詳しい清掃方法については、1-9ページ「コンベヤの分解と清掃」を参照してください。

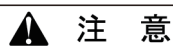
クッションゴム

各貼付アームのクッションゴム先端を清掃してください。詳しい清掃方法については、1-17ページ「貼付アームのクッションゴム先端の清掃」を参照してください。

サーマルヘッド

印字ローラー

各ラベル印字部のサーマルヘッド、印字ローラーを定期的にクリーニングしてください。クリーニングは付属のフェルトペンにクリーニング液をつけて軽く拭いてください。



注意

各駆動部に注油の必要はありません。

また、本機に直接水をかけないでください。故障の原因となります。

清掃上のご注意

常に良好な状態で日常の操作を行っていただくために、実際の作業のまえには必ず以下の項目を点検してください。

注意

- ・コンベヤ清掃時は、必ず主電源スイッチを OFF にして作業をしてください。
- ・ラベル貼付アームのクッションゴム先端を清掃するときは、必ず非常停止ボタンを押した状態で作業してください。
- ・本機を清掃する人は、長い髪は束ね、帽子を着用し、作業に適した服装・靴で作業をしてください。
- ・清掃作業は、必ず作業前に手洗いし、衛生的な手袋を着用してから行ってください。
- ・清掃に使用するふきんは中性洗剤で湿らせ、固くしぼった状態で使用してください。
- ・食品やトレーが直接に接触する箇所には、必ずアルコール(80vol%)を噴霧して、殺菌を行ってください。
- ・キー操作によるストロークキーの汚れが激しい場合は、ストロークキーカバー(オプション)を取り付け適宜清掃をしてください。

コンベヤの分解と清掃

分解手順に沿って、各部の清掃方法について説明します。



以下の操作で商品を呼び出して出していない状態にできます。



あらかじめファンクションキーに「清掃準備」を登録しておきます。

1. 通常モードにて、商品呼び出していない状態で「清掃準備」をタッチします。

清掃準備

清掃モード画面が表示されます。

通常：生産 (計量商品)				2015年1月6日(火) 08時52分	
移行	始業時の計量チェックをしましょう。 呼出番号を入力し、商品を出して下さい。				
呼出No.	00000000				
メモ	ゼロ	重さ	単価100g当たり	値段	
風袋	0g	0g	0円	0円	
加工日	消費期限	M特価	トレーNo.		
生産区分	店No.	00000000	全店総数	下限重量	上限重量
0					
使No.	指示数	0	0	コンテナ番号: 59	開始店
1					00000000
ブロック	生産残	0	0	待機中	値付
0					
定金額	加算	清掃準備	品消去	店消去	ラベル発行確認
残量: 200.0g 最大測定量: 50g 目録: 1g 最大風袋引量: 99.9g					

2. 上貼プリンタを最上段、奥に移動させ、ガイドを全開にさせます。

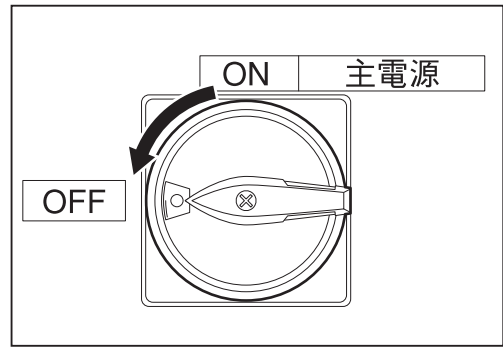
「実行」をタッチします。

実行

貼付方式が「シリンダアーム」タイプの場合のみ、点線囲み部分が表示されます。

通常：生産 (計量商品)		2015年1月24日(火) 13時56分	
コンベヤの清掃準備の確認			
コンベヤ清掃のため、上貼プリンタとガイドを移動させます。移動完了後、必ず【電源を切った状態】でコンベヤの脱着を行って下さい。			
【実行】プリンタとガイドを移動します。			
【中止】清掃準備を止めます。			
11505-0001		実行	中止
残量: 200.0g 最大測定量: 50g 目録: 1g 最大風袋引量: 99.9g			

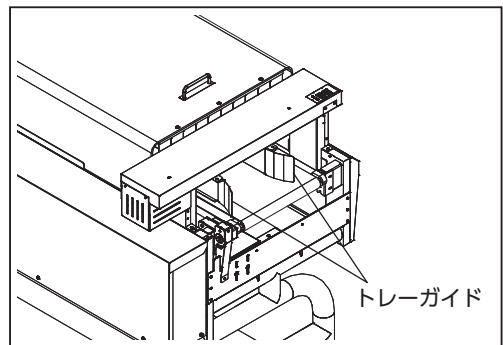
3. 本体前面にある主電源スイッチを OFF にします。



4. トレーガイドを清掃します。

トレーガイドの汚れをふきんを使用して拭き取り、アルコールを噴霧します。

※ 巾寄せタイプでは、トレーガイドはありませんので、次の手順に進んでください。



▲ 注意

各コンベヤユニットを取り外す際、操作部、上貼プリンタ、ガイドユニットなどの周辺部にぶつけないように注意してください。

▲ 注意

取込コンベヤガイドは、原点移動させてください。

▲ 注意

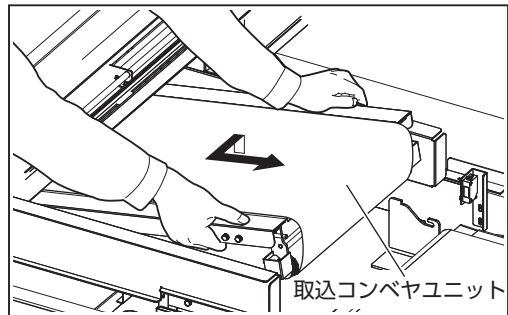
ロックを操作する際は、指を挟まないようにしてください。けがをする恐れがあります。

5. 各コンベヤユニットを取り外します。

● 取込コンベヤユニット

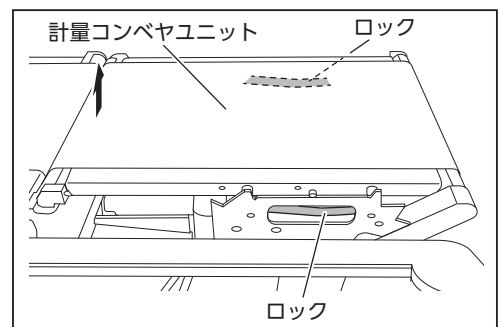
取込コンベヤユニットの右側を両手で持ち上げ、コンベヤを折ります。取込コンベヤの右端が外れたら、矢印方向に引き上げて取り外します。

※ 巾寄せタイプでは、取込コンベヤユニットはありません。



● 計量コンベヤユニット

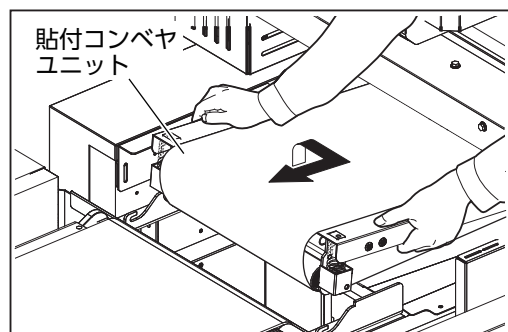
- ① コンベヤに向かって手前と奥にある2箇所のロック（バネ）を引き上げ、ロックを解除します。
- ② 左側から持ち上げ、ベルト部分を引き抜いて計量コンベヤユニットを取り外します。



● 貼付コンベヤユニット

貼付コンベヤユニットの左側を両手で持ち上げ、コンベヤを折ります。貼付コンベヤの右端が外れたら、矢印方向に引き上げて取り外します。

※ ATWの2連目の貼付コンベヤユニットは、右側を持ち上げます。

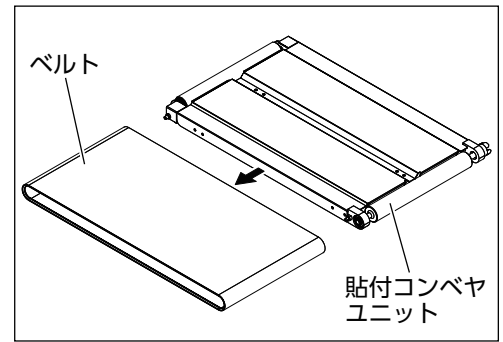


注 記

貼付コンベヤユニットのベルトを水洗いした後はよく乾燥させてください。貼付コンベヤユニット自体は、水洗いしないでください。

6. 貼付コンベヤユニットを清掃します。

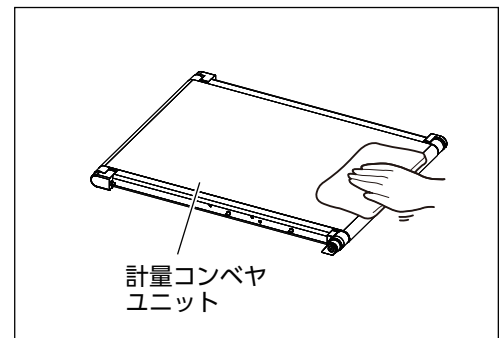
貼付コンベヤユニットのベルトを取り外します。
取り外したベルトを水洗いします。
ベルトにアルコールを噴霧します。
貼付コンベヤユニットの汚れをふきんを使用して拭き取ります。
食品残渣が付着したときは、アルコールを含浸させたふきんで拭きます。

**注 記**

- ・計量コンベヤユニット、取込コンベヤユニットのベルトは取り外せません。
- ・計量コンベヤユニットは質量センサと連結しているため、過負荷に注意してください。
- ・洗浄後は、乾燥させてください。

7. 計量コンベヤユニット、取込コンベヤユニットを清掃します。

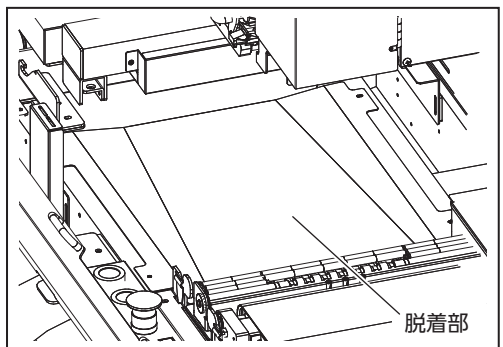
計量コンベヤユニット、取込コンベヤユニットの汚れをふきんを使用して拭き取ります。
食品残渣が付着したときは、アルコールを含浸させたふきんで拭きます。

**8. コンベヤユニットの脱着部を清掃します。**

● 取込コンベヤユニット部、
貼付コンベヤユニット部

貼付コンベヤユニットの脱着部の汚れをふきんを使用して拭き取ります。
食品残渣が付着したときは、アルコールを含浸させたふきんで拭きます。

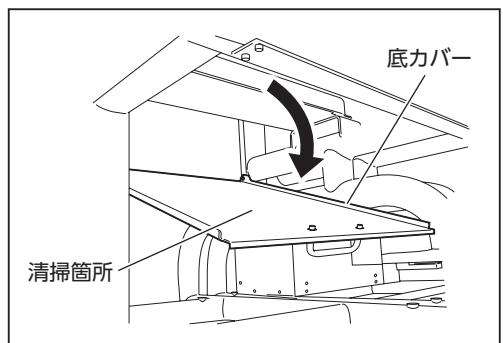
※ 巾寄せタイプでは、取込コンベヤユニットはありません。



● 計量コンベヤユニット部

底カバーを開け、汚れをふきんを使用して拭き取ります。
食品残渣が付着したときは、アルコールを含浸させたふきんで拭きます。

※ 下貼プリンタが装備されていない、AS、ATタイプの場合、以降の手順は必要ありません。また、ATWタイプの場合は手順 11 から作業を進めてください。

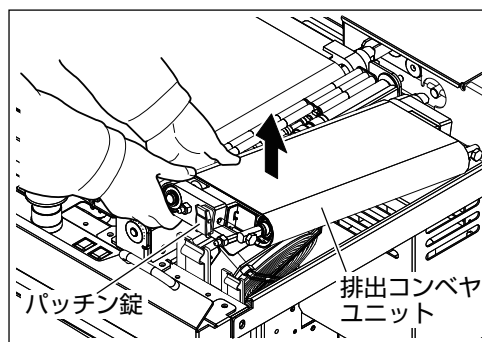


▲ 注意

排出コンベヤユニットを取り外す際、周辺部にぶつけないように注意してください。

9. 排出コンベヤユニットを取り外します。

排出コンベヤユニットのパッチン錠のロックを解除します。
排出コンベヤの手前を持ち上げて取り外します。

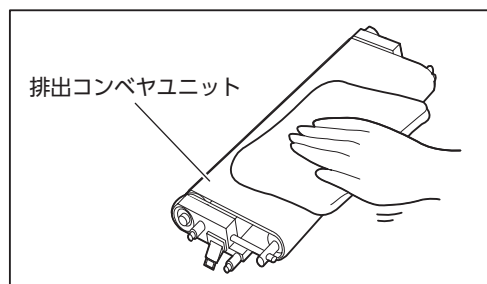


注 記

排出コンベヤユニットのベルトは取り外せません。

10. 排出コンベヤユニットを清掃します。

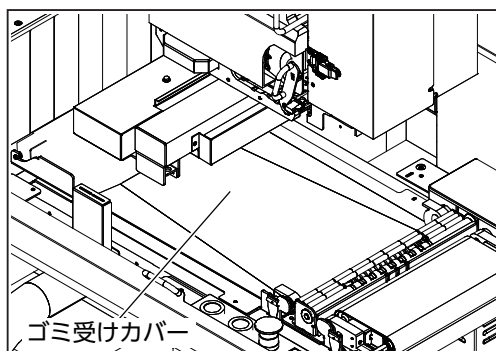
排出コンベヤユニットの汚れをふきんを使用して拭き取ります。
食品残渣が付着したときは、アルコールを含浸させたふきんで拭きます。



11. 貼付コンベヤユニット下のゴミ受けカバーを清掃します。

貼付コンベヤユニットのゴミ受けカバーの汚れをふきんを使用して拭き取ります。
食品残渣が付着したときは、アルコールを含浸させたふきんで拭きます。

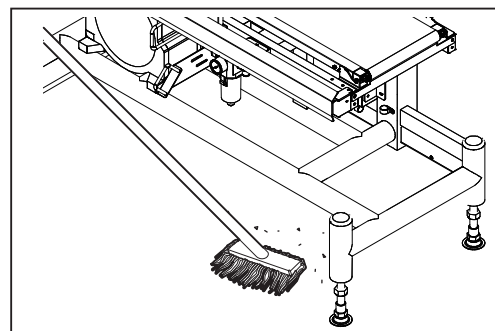
※ AW, ATW のみ



▲ 注意

水を使用する場合は、下貼プリンタに水がかからないように注意してください。

12. 床に落ちたゴミをモップなどで清掃します。

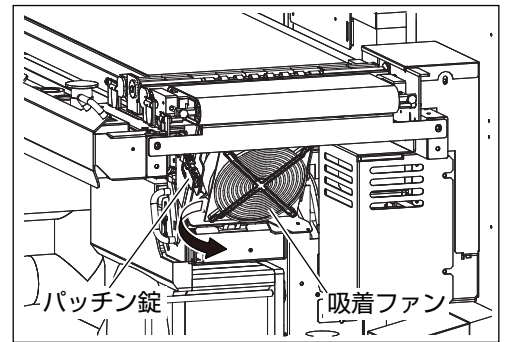


▲ 注意

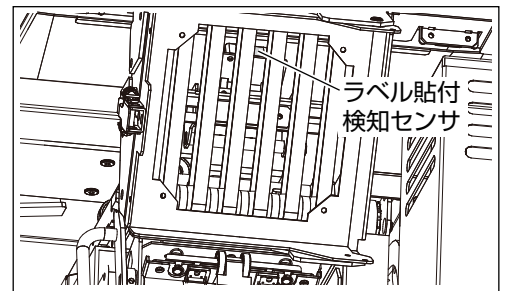
食品残渣がひどいときは、アルコールを含浸させたふきんで清掃してください。

13. 吸着ファンを清掃します。

吸着ファンのパッチン錠のロックを解除します。
吸着ファンを図の矢印の方向に開きます。
吸着ファンに付着したラベルなどを取り除きます。

**※オプション：**

ベルト奥の下貼りラベル貼付検知センサを定期的にクリーニングしてください。
クリーニングは付属のフェルトペンのクリーニング液をつけて、軽く拭いてください。
この時に、センサの光軸をずらさないように注意してください。

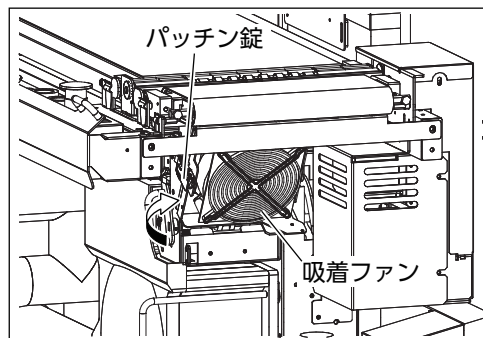


コンベヤの組み立て

下貼プリンタが装備されていない、AS、AT タイプの場合には、手順 4 以降をお読みください。

1. 吸着ファンを元に戻します。

吸着ファンを元の位置に戻し、パッチン錠で固定します。

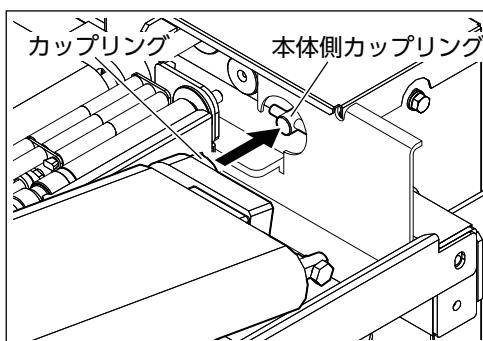


▲ 注意

排出コンベヤユニットを取り付ける際、周辺部にぶつけないように注意してください。

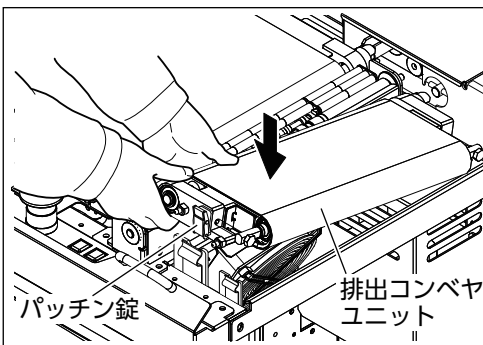
2. 排出コンベヤユニットを取り付けます。

① 排出コンベヤユニット左奥のカップリングを本体側のカップリングに合わせて押し込みます。



② 残りの固定軸を切り欠きに合わせはめ込みます。

③ 排出コンベヤユニット手前のパッチン錠をロックします。



▲ 注意

ベルトは水洗いした後、よく乾燥させてから取り付けてください。

▲ 注意

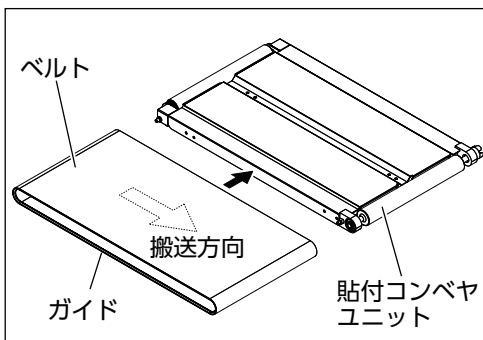
ベルトのガイドがローラーに乗り上げないように注意してください。

3. 貼付コンベヤユニットにベルトを取り付けます。

ベルトの内側にあるガイドが貼付コンベヤユニットのローラーの外側に出るように取り付けます。

注 記

計量コンベヤユニット、取込コンベヤユニットのベルトは取り外せません。



注意

コンベヤユニットを取り付ける際、操作部や上貼プリンタ、ガイドユニットなどの周辺部にぶつけないように注意してください。

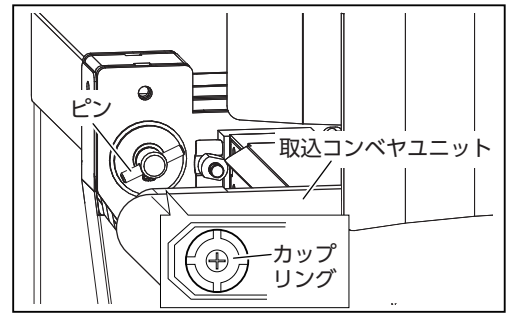
注意

ローラーの可動部や、取り付け金具、下貼ラベルコンベヤのシャフトに手を挟まないように注意してください。

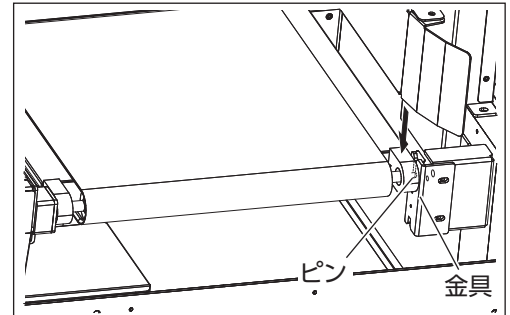
4. 各コンベヤユニットを取り付けます。

● 取込コンベヤユニット

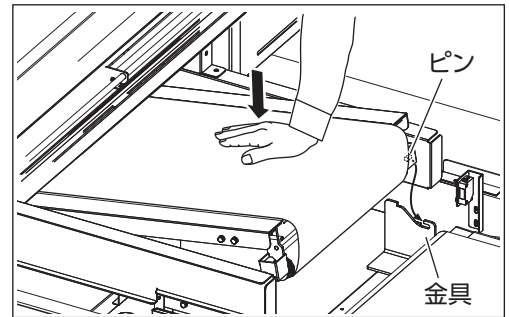
① 取込コンベヤユニット左奥のカップリングが脱着部のピンの向きと平行になるように取り付けます。



② 取込コンベヤユニット左側のピンが取り付け金具の上に乗るように取り付けます。



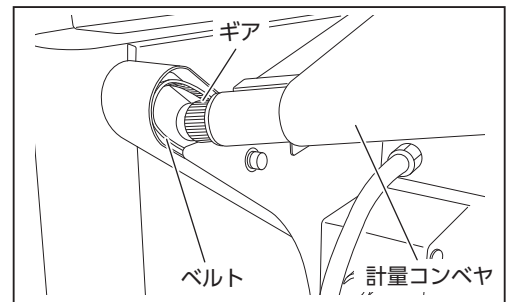
③ 取込コンベヤユニットの右側を右図のように手で押し込み、ピンを取り付け金具に取り付けます。(手で押える位置も右図に合わせてください)



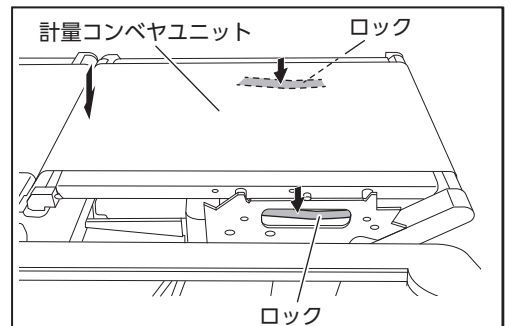
※ 巾寄せタイプには、取込コンベヤユニットはありません。

● 計量コンベヤユニット

① 向かって右手前にあるベルト部分に計量コンベヤのギア部分を差し込みます。



② 計量コンベヤユニット全体をはめ込み、2箇所のロック (バネ) を押し下げロックします。



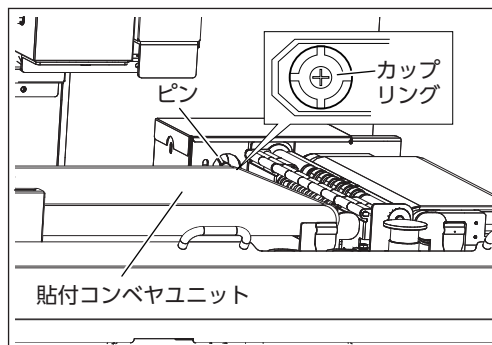
注意

Diagram illustrating the correct locking method (locking the unit) and the incorrect method (not locking the unit).

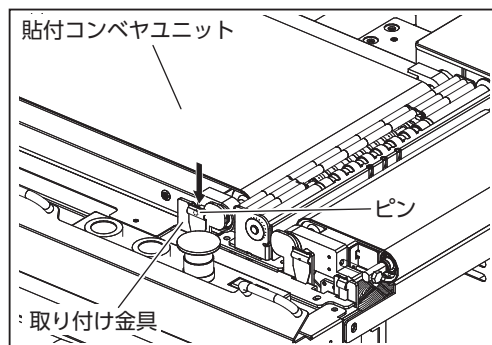
しっかりロックされているか確認してください。

● 貼付コンベヤユニット

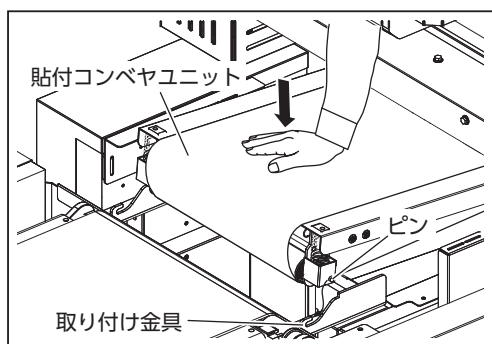
- ① 貼付コンベヤユニット右奥のカップリングを脱着部のピンの向きと平行になるように取り付けます。



- ② 貼付コンベヤユニット右側のピンが取り付け金具の上に乗るように取り付けます。



- ③ 貼付コンベヤユニットの左側を右図のように手で押し込み、ピンを取り付け金具に取り付けます。(手で押える位置も右図に合わせてください)

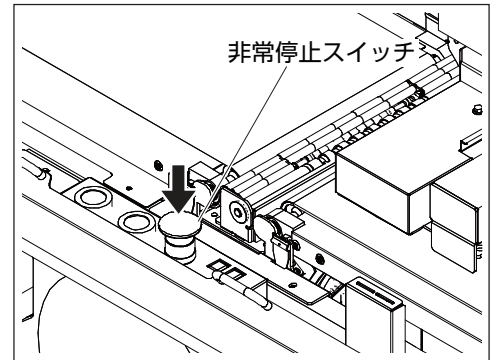


※ ATWの2連目の貼付コンベヤユニットは、取り付けが左右逆になります。

貼付アームのクッションゴム先端の清掃

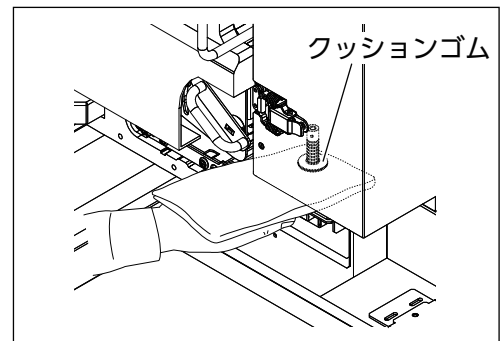
この項目は、貼付方式が「シリンダアーム」タイプのみの作業となります。

1. 本体正面にある非常停止スイッチを押します。

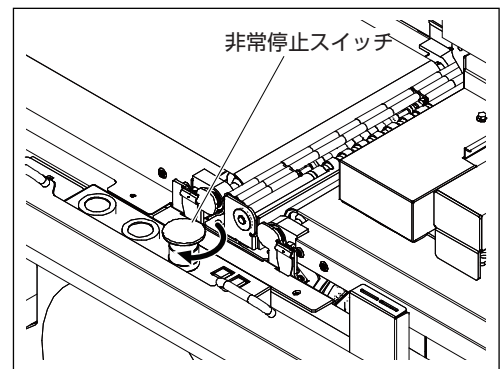


2. 貼付アームのクッションゴムの先端を清掃します。

貼付アームのクッションゴム先端の汚れを、アルコールを含ませたふきんで拭き取ります。



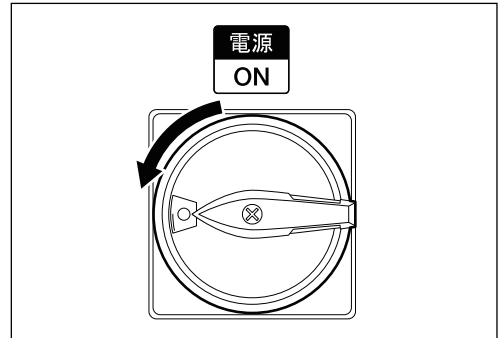
3. 非常停止スイッチを解除します。



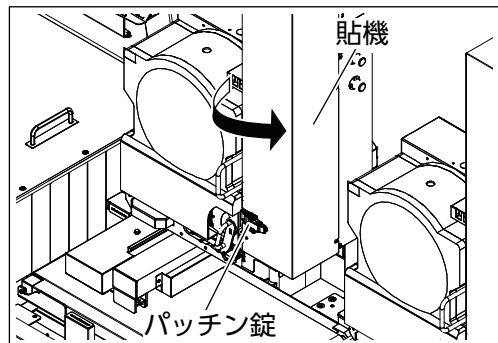
サーマルヘッド、印字ローラーの清掃

サーマルヘッドや印字ローラー汚れを、付属のフェルトペンで清掃します。

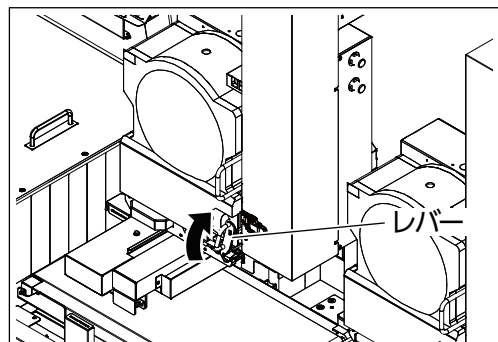
1. 本体前面にある主電源スイッチをOFFにします。



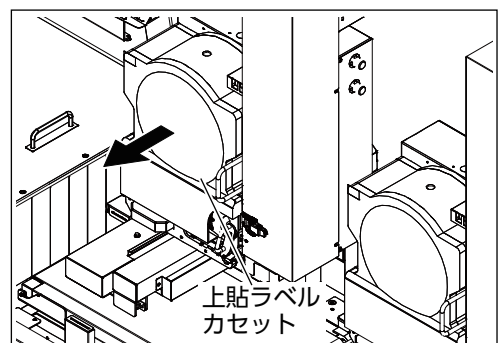
2. パッチン錠を外し、貼機を開きます。



3. レバーを矢印方向に回し、ロックを解除します。

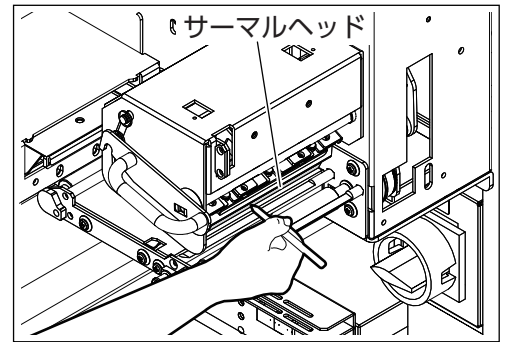


4. 上貼ラベルカセットを取り外します。



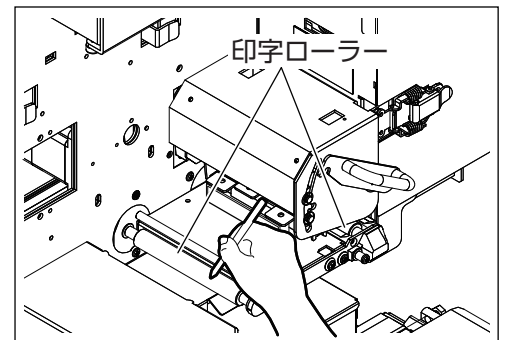
5. サーマルヘッドの汚れを拭き取ります。

付属のフェルトペンにクリーニング液をつけて軽く拭き取ります。



6. 印字ローラーの汚れを拭き取ります。

付属のフェルトペンにクリーニング液をつけて軽く拭き取ります。

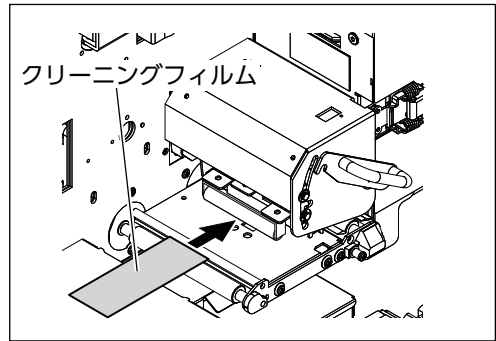


クリーニングフィルムの使用方法

サーマルヘッドの汚れがクリーニング液でとれない場合は、付属のクリーニングフィルムを使用します。

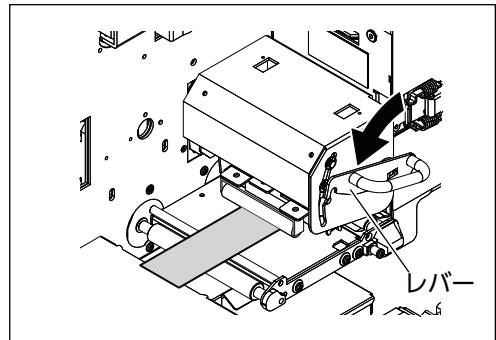
1. クリーニングフィルムをセットします。

クリーニングフィルムのザラザラ面を上側にしてセットします。



2. レバーを矢印方向に回してロックします。

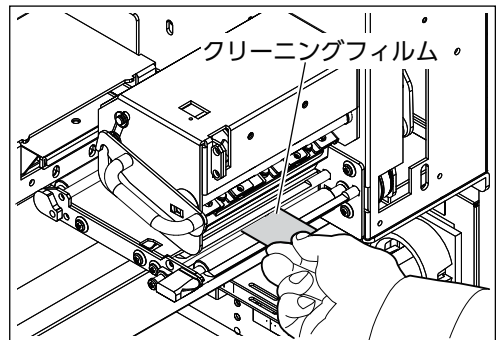
クリーニングフィルムがサーマルヘッドの印字ローラーに挟まっていることを確認してください。
クリーニングフィルムが挟まっていない場合は、クリーニングフィルムをセットしなおしてください。



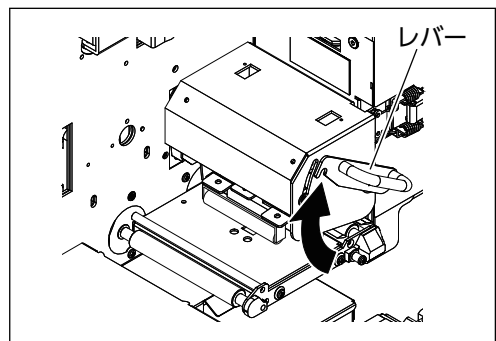
クリーニングフィルムは、ザラザラ面がなくなるまで、複数回使用できます。

3. クリーニングフィルムを引き抜きます。

サーマルヘッドの汚れが取れない場合は、手順1～3を繰り返します。



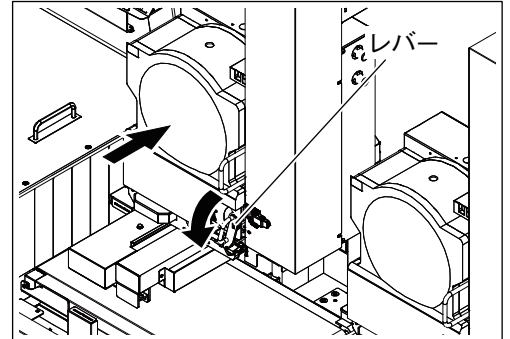
4. レバーを矢印方向に回し、ロックを解除します。



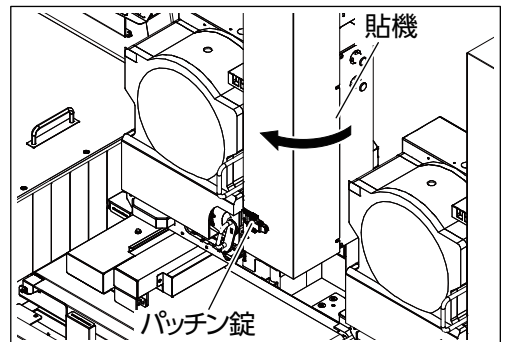
動作確認

清掃後の本機の動作確認について説明します。

1. 上貼ラベルカセットを取り付け、レバーを回して固定します。



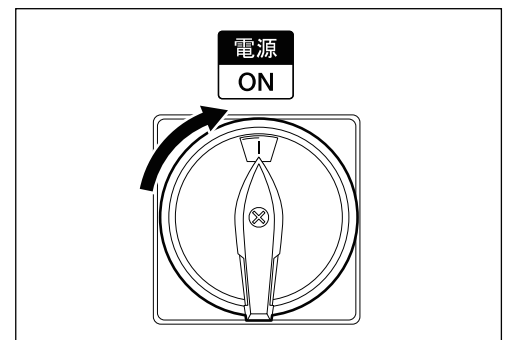
2. 貼機を閉じて、パッチン錠で固定します。



3. 本体前面にある主電源スイッチをONにします。

タッチパネルに復帰動作の確認画面が表示されます。

通常画面が表示されるまで約1分間かかります。



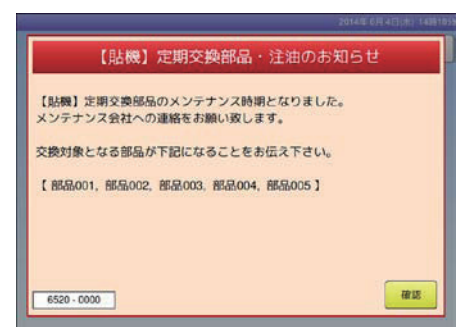
上貼プリンタのラベルが空送りされます。

4. ストロークキーの「空送」を押します。



ラベルを3～5枚程度発行します。

- ・ [貼機] 定期交換部品・注油のお知らせ
このまま使用を続けると、故障の原因になります。
お買い上げの販売店へご連絡ください。



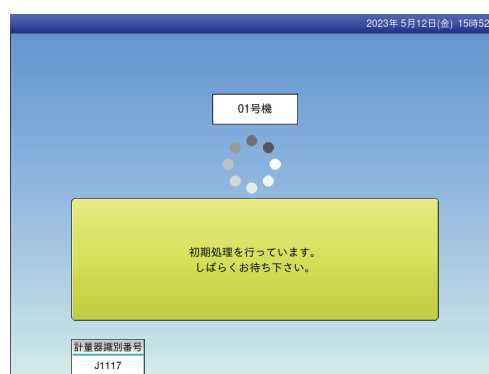
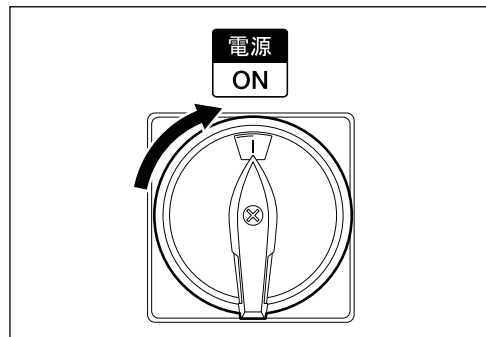
運転の開始と終了のしかた

ここでは、ラベルのセット方法について説明します。十分に理解してからセットしてください。

起動のしかた

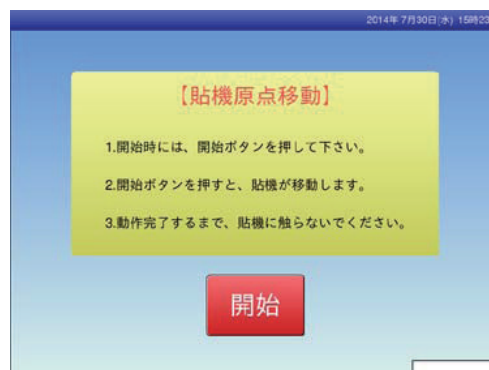
1. コンベヤに商品が載っていないことを確認し、本体前面にある主電源スイッチをONにします。

しばらくすると貼機原点移動画面が表示されます。



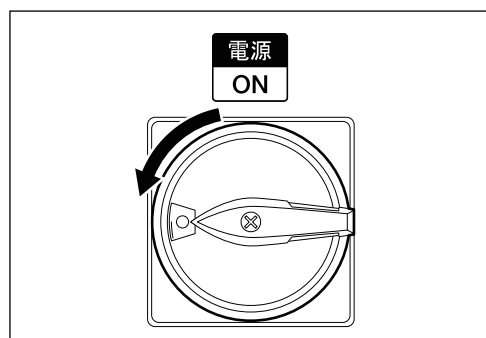
貼機原点移動画面は、貼機自動タイプまたは自動トレーガイドタイプの場合にのみ表示されます。

2. 貼機原点移動画面で「開始」をタッチします。



終了のしかた

1. コンベヤに商品が載っていないことを確認し、主電源スイッチをOFFにします。

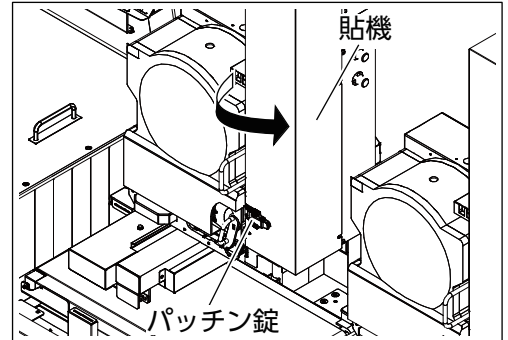


ラベルをセットします

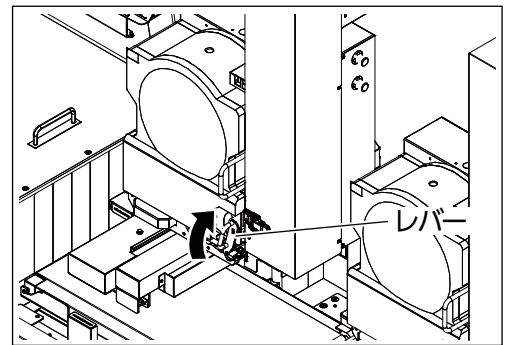
ここでは、各プリンタのラベルセット方法について説明します。

上貼プリンタのラベルセット方法

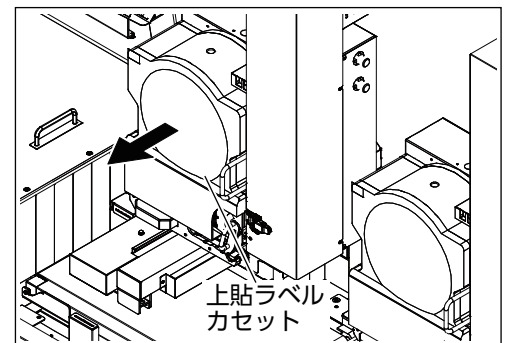
1. 上貼プリンタのパッチン錠を外し、上貼プリンタ貼機部を開きます。



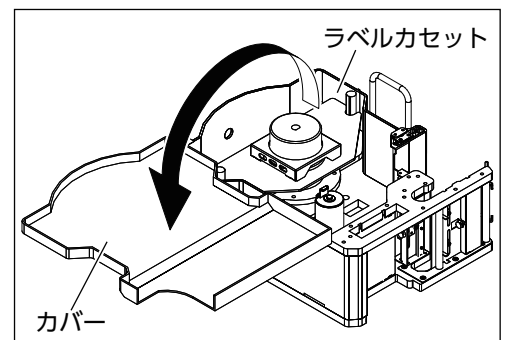
2. レバーを回し、ロックを解除します。



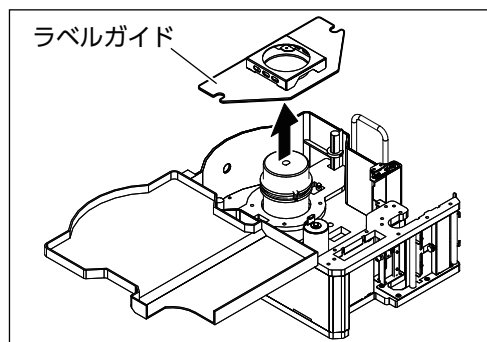
3. ラベルカセットを取り外します。



4. ラベルカセットのカバーを開きます。



5. ラベルガイドを取り外します。

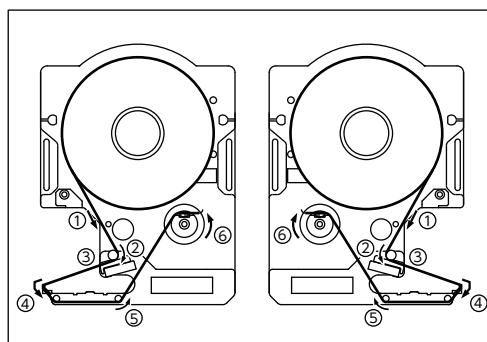


▲ 注意

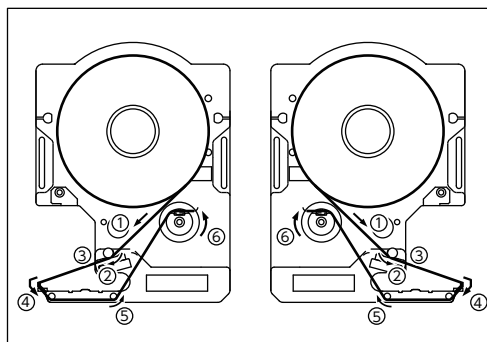
③・④・⑤にラベルを通すときは、ラベルが左右のガイドに乗り上げないように注意してください。

6. ラベルを通します。

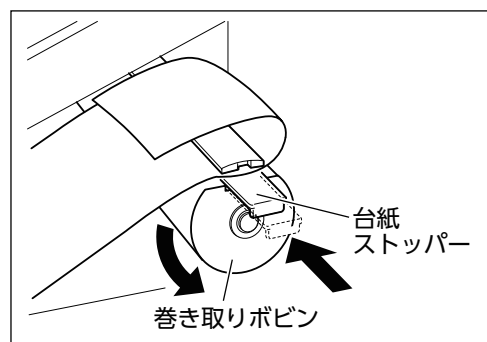
外巻きラベルを通す場合、右図のように①から順に⑥まで通します。



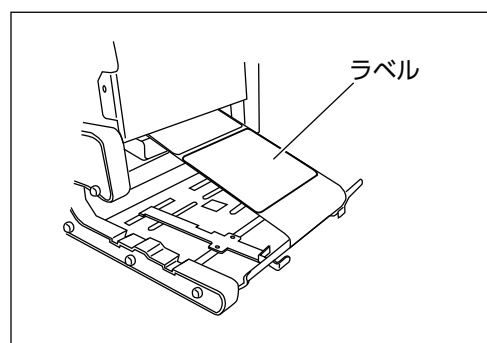
内巻きラベルを通す場合、右図のように①から順に⑥まで通します。



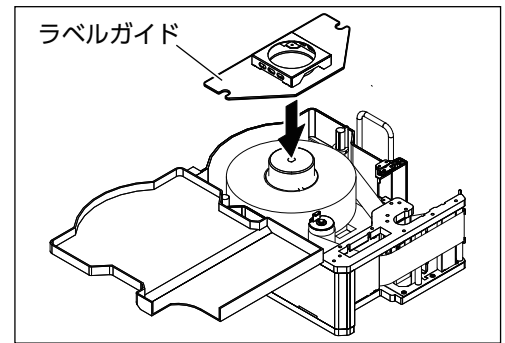
7. ラベル台紙の先端を台紙ストッパーで固定し、巻き取りボbinをラベルのたるみが無くなるまで反時計方向に軽く回します。



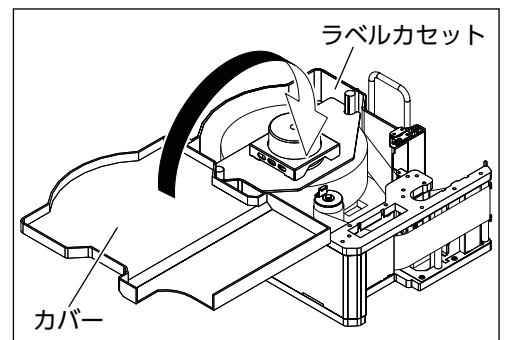
このとき手順6の④の位置にあるラベルが右図になるように、巻き取りボbinを回します。



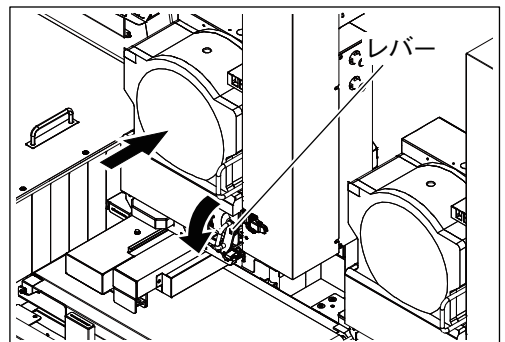
8. ラベルガイドを取り付けます。



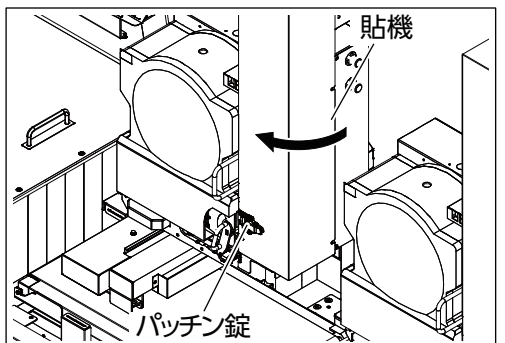
9. ラベルカセットのカバーを閉じます。



10. 上貼ラベルカセットを取り付け、レバーを回して固定します。



11. 貼機を閉じて、パッチン錠で固定します。



12. 上貼プリンタの上部にある「空送り」ボタンを押します。

ラベルを 3～5 枚程度発行します。

13. 上貼プリンタの上部にある「テスト」ボタンを押します。

印字がずれている場合は手順 6, 7 を参照して、ラベルガイドに乗り上げていないか、ラベルの位置は正しいかを確認します。

下貼プリンタのラベルセット方法

下貼プリンタが装備されている、AW、ATW タイプの装置の場合、以下の手順に従って下貼プリンタにラベルをセットしてください。

下貼プリンタの無い AS、AT タイプをご使用されている場合は、本項目をお読みになる必要はありません。

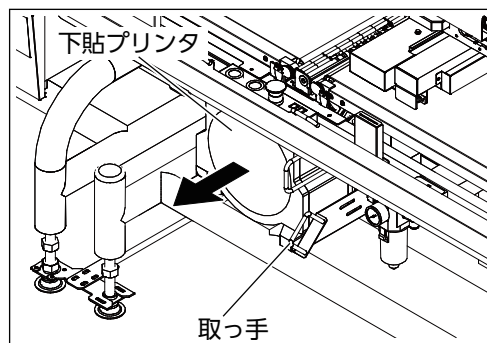
▲ 注意

下貼プリンタを引き出す際、図で示している取っ手を使って引き出してください。ラベルカセットの取っ手を持って引き出すと、ラベルカセットが破損するおそれがあります。

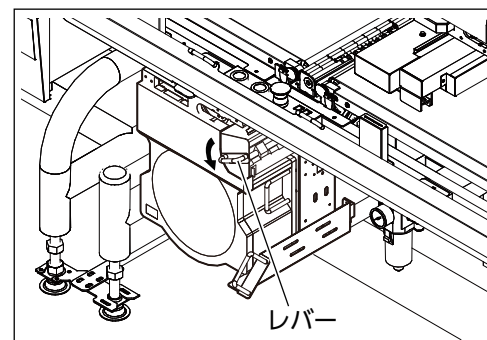
1. 下貼プリンタの取っ手をつかみ、本体から引き出します。

取っ手を引き、下貼プリンタがロックされるまで引き出して下さい。

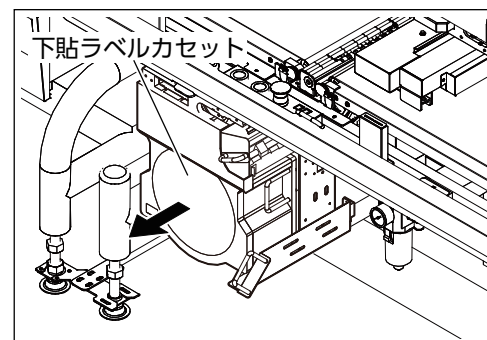
※センター寄せタイプのみです。幅寄せタイプは前後に移動しません。



2. レバーを矢印方向に回し、ロックを解除します。

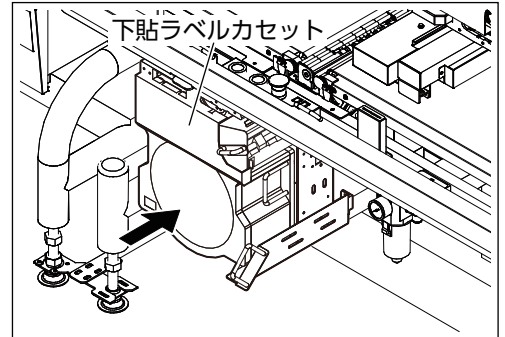


3. 下貼ラベルカセットを取り外します。



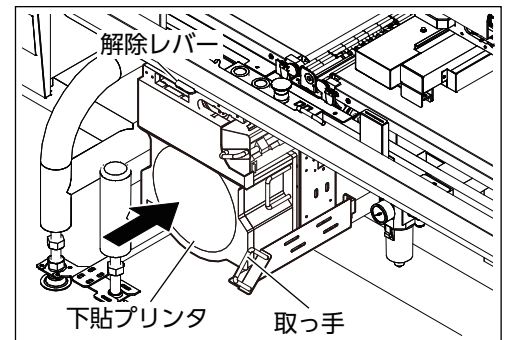
4. 「上貼プリンタのラベルセット方法」の手順4～9を参照してラベルカセットのラベルを交換します。

5. 下貼ラベルカセットを取り付けます。



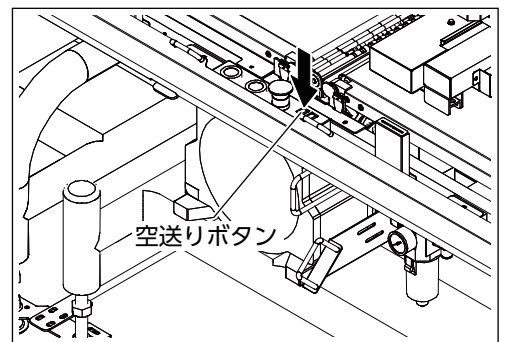
6. 解除レバーを押したまま取っ手をつかみ、下貼プリンタを押し込みます。

※センター寄せタイプのみです。幅寄せタイプは前後に移動しません。



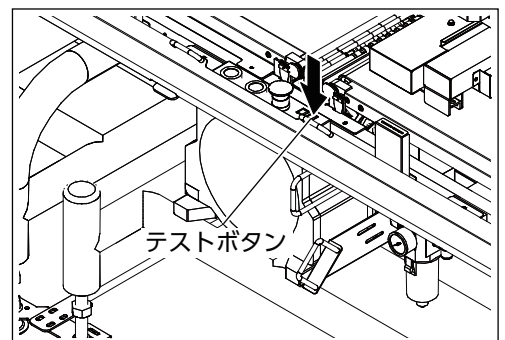
7. コンベヤ手前にある「空送り」ボタンを押します。

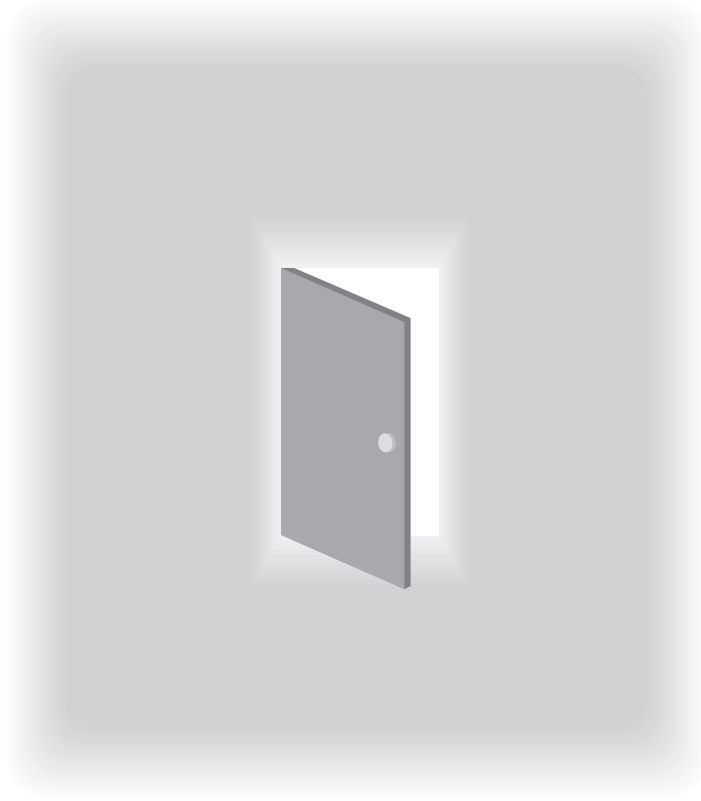
ラベルが1枚発行されます。



8. コンベヤ手前にある「テスト」ボタンを押して、印字のずれを確認します。

印字がずれている場合は「上貼プリンタのラベルセット方法」の手順6,7を参照して、ラベルガイドに乗り上げていないかラベルの位置は正しいかを確認します。





第2章 基本的な使いかた

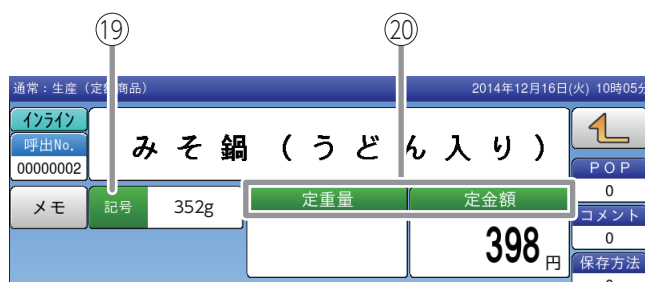
通常モードの画面説明

通常画面のタッチキー

計量商品画面（不定費モード）



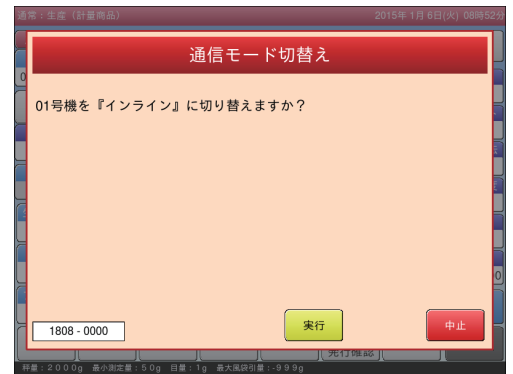
定額商品画面（定費モード）



定単価商品画面（定単価モード）



- ① インライン／オフラインを切り替えるときに使用します。
商品を呼び出していない状態で直接タッチすると、通信モード切替え画面が表示されます。
そこから「実行」をタッチすると、インライン／オフラインが切り替わります。



商品呼出にはストロークキーの「呼出」を使用します。

- ② 数値入力後、タッチすると商品一覧画面が表示されます（オフライン時のみ）（3-2 ページ参照）。また、直接タッチすると分類プリセット画面が表示されます（3-3 ページ参照）。一覧から項目を選択して商品呼び出すことができます。
- ③ 商品の詳細を確認するとき使用します。
商品呼び出した状態で直接タッチすると呼出商品詳細情報画面が表示されます。



- ④ メモプリセット機能を使用して商品呼び出すときに使用します。
直接タッチすると、メモプリセット呼出し画面が表示されます。一覧から項目を選択して商品呼び出すことができます（3-3 ページ参照）。
- ⑤ 単価を変更するとき使用します。
単価のみ数値入力後、タッチするとデータ変更が行えます（3-6 ページ参照）。また、直接タッチすると重量・単価・金額印字選択設定画面が表示され、各項目の印字設定を行えます（3-14 ページ参照）。
- ⑥ 日付を変更するとき使用します。
直接タッチすると加工・消費日時設定画面が表示され、各日付と印字設定を行えます（3-12 ページ参照）。
- ⑦ M 特価（値引き）を指定するとき使用します。
数値入力後、タッチするとデータ変更が行えます。直接タッチすると M 特価モード設定画面が表示され、M 特価の種類と数値指定を行えます（3-10 ページ参照）。
- ⑧ トレー No. を変更するとき使用します。
数値入力後、タッチするとデータ変更が行えます（3-7 ページ参照）。また、直接タッチするとトレー名一覧表示画面が表示されます（3-8 ページ参照）。
- ⑨ 生産区分を変更するとき使用します。
商品呼び出していない状態で、数値入力後にタッチするとデータ変更が行えます。
- ⑩ 便 No. を変更するとき使用します。
商品呼び出していない状態で、数値入力後にタッチするとデータ変更（1～4）が行えます。
- ⑪ 指示数、生産数を表示する店 No. を変更するとき使用します。
数値入力後、タッチするとその店 No. の指示数、生産残数が表示されます。

- ⑫ 店 No. または全店総数の指示数を変更することができます。
数値入力後、タッチするとその指示数を変更できます。
- ⑬ 重量の上限、下限を変更するときに使用します。
数値入力後、タッチするとデータ変更が行えます。直接タッチすると上下限重量設定画面が表示され、上限値、下限値の変更を行えます (3-11 ページ参照)。
- ⑭ メインメニュー画面が表示されます。
- ⑮ 数値ファンクションキー POP、保存方法、保存温度、産地名、コメントを変更するときに使用します。
数値入力後、タッチするとデータ変更が行えます。また、直接タッチすると各項目の一覧表示画面が表示され、一覧から項目を選択して変更できます (3-21 ページ参照)。
- ⑯ 入数数値入力後、タッチすると入数の変更が行えます。
- ⑰ 値付け／流し目切替「流し目」：商品呼び出ししていない状態で、付属の流し目おもりを用いて計量チェックが行えます。
計量された流し目おもりには計量結果を印字したラベルが貼り付けられます。この機能は、始業前の計量確認にご使用ください。
- ⑱ メインファンクションキー
3-21 ページ「ファンクションキーの便利機能」参照
- ⑲ 定額記号、入数を変更するときに使用します。
数値入力後、タッチすると定額個数の変更が行えます。また、直接タッチすると定額記号設定画面が表示され、定額記号、定額個数を指定して変更できます (3-9 ページ参照)。
- ⑳ 定重量を変更するときに使用します。
数値入力後、タッチすると定重量の変更が行えます。なお、定額モード時は定金額の変更も行えます。定単価モード時は、数値入力後タッチすると定重量の変更が行えます。定単価モードでは、 $\text{定単価} \times \text{定重量} \div 100$ が自動演算され、定金額欄に表示されます。
- ㉑ 100g あたりの定単価を変更するときに使用します。
数値入力後、タッチすると定単価の変更が行えます。

通常画面の表示欄

計量商品画面（不定貫モード）

100g単価表示欄

商品名、POP、産地名、コメント表示欄

呼出No.表示欄

重さ表示欄

風袋表示欄

加工日表示欄

消費期限表示欄

生産区分表示欄

便No.表示欄

店No.表示欄

各店指示数表示欄

各店生産数表示欄

全店指示数表示欄

全店生産数表示欄

M特価表示欄

値段表示欄

トレー名称表示欄

トレーNo.表示欄

グループNo.表示欄

POP No.表示欄

コメントNo.表示欄

保存方法No.表示欄

保存温度No.表示欄

産地名表示欄

入数表示欄

上限重量表示欄

入力表示欄

下限重量表示欄

動作状態表示欄

待機中 : 商品未呼出

指示設定中 : 商品呼出時 (オフライン)
商品呼出時で設定変更が可能な状態 (インライン)

指示完了 : 商品呼出時 (インライン)
設定変更が完了した状態

生産中 : 値付中

生産完了 : 値付終了時

追加生産中 : 生産完了後に、再呼出せずにそのまま値付を開始した時

生産一時停止中 : エラーなどで生産が一時停止した状態

追加生産一時停止中 : エラーなどで追加生産が一時停止した状態

定額商品画面（定貫モード）

入数・記号表示欄

定重量表示欄

定金額表示欄

定単価商品画面（定単価モード）

100g定単価表示欄

2

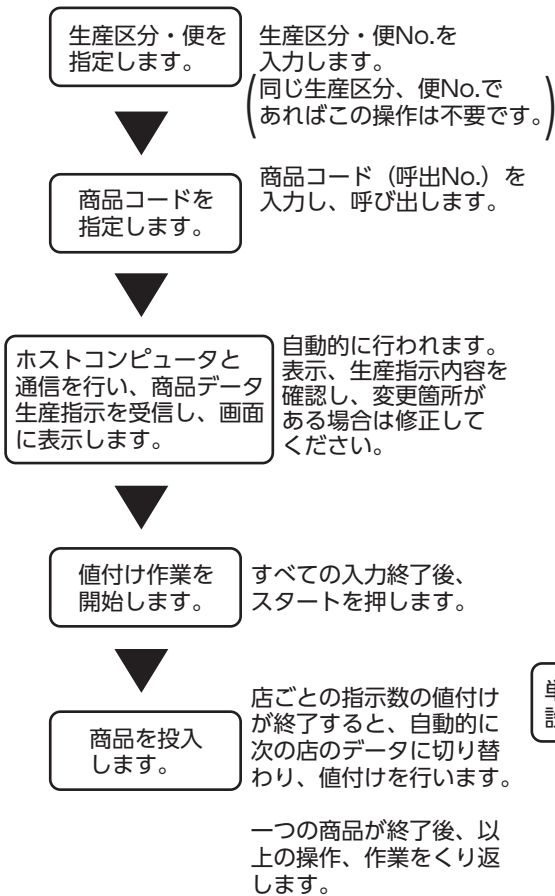
インライン／オフライン操作の流れ

FDP-AI-S6 の操作方法には、インライン運用とオフライン運用で相違する点があります。インライン運用とは、システム中継器などを經由して、FDP-AI-S6 と上位コンピュータを接続し、上位コンピュータで受注入力、各種データ入力と管理、集計を行う運用です。上位コンピュータより FDP-AI S6 に商品マスタと生産指示を送り、FDP-AI-S6 で値付け後、FDP-AI S6 より上位コンピュータに生産実績を返すことができます。

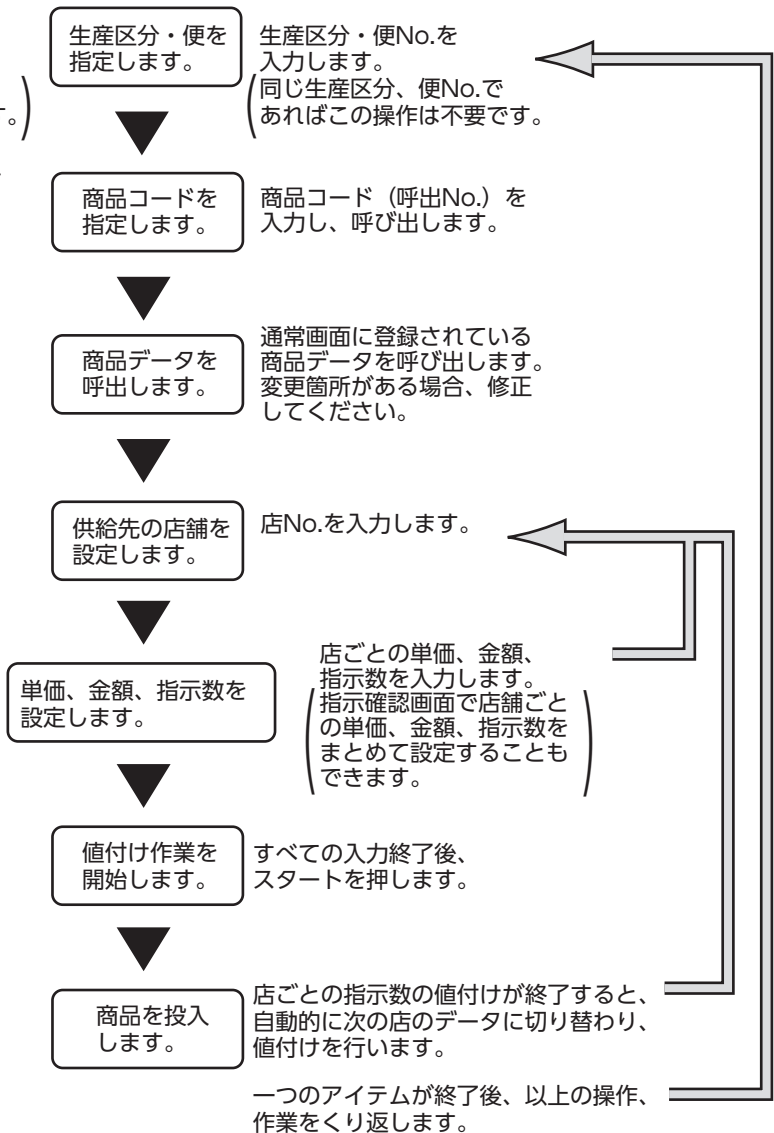
オフライン運用とは、FDP-AI-S6 がプロセスセンターの核となり、単体で商品データなどの管理を行い、値付け作業を行う運用です。

値付け操作の流れ

● インライン運用



● オフライン運用



値付けをします (インライン)

値付けの作業

ここでは、ラベルの通常値付け操作について説明します。

【例】第1便で発送する生産区分19の「豚ロース生姜焼き」(呼出No.11)の値付けをします。

1. インライン/オフライン表示欄がインラインになっていることを確認します。

オフラインになっている場合は、表示欄をタッチして通信モード切替え画面を表示し、「実行」をタッチしてインラインにしてください。

オフライン [OFF]

実行

2. 生産区分と便 No. を入力します。

生産区分

1 9 生産区分

便 No.

1 便No.

3. 値付けする商品呼び出します。

1 1 呼出

外部コンピュータより、商品マスタや生産指示データを受信し、画面に表示します。表示上の全データを確認してください。

4. 必要に応じ、商品の値引きなどの変更操作を行います。

指示内容を変更する場合は、「指示確認」をタッチしてから項目を変更します。

変更の必要がない場合は、次の手順に進んでください。

指示確認

変更操作には、下記項目があります。それぞれの手順については各ページをご参照ください。

変更操作	参照ページ
● 単価（金額）の変更	3-6
● トレーNo.の変更	3-7
● 円単位での値引き	3-10
● 割合での値引き	3-10
● 特売価格での販売	3-10
● 数量の変更	3-9
● 日付の変更	3-12
● リンクする各マスタの変更	3-21
● 重量・単価・金額の印字変更	3-14
● 定額記号・入数の変更	3-9
● 上限重量・下限重量の変更	3-11
● 個体識別No./ロットNo.の設定	3-17



店を呼び出していない状態で（店 No.=0 のとき）指示数を変更すると、全店総数の指示数変更となります。全店総数の指示数を変更した場合、オート振り分け機能により、店ごとの指示数の比率に応じて、指示総数を各店に自動的に振り分けまます。全店総数の指示数を変更後、「指示確認」をタッチして指示数確認画面を表示させ、変更内容を確認してください。



指示数確認画面では、店ごとの単価／定金額／指示数／M特価の確認、変更ができます。

- 印の項目は店ごとの指定が可能です。

従って、店を呼び出している状態で変更すると、変更した内容はその店に対してのみ有効となります。

店を呼び出していない状態（0店）で変更すると、全店に対して有効となりますので注意が必要です。

- 印の付いていない項目は、商品に対しての変更なので全店に対して有効となります。

店No.	店名	指示数	生産税	税	単価	定金額	M特価
00000001	店舗1	10	0	無	198	0	
00000002	店舗2	10	0	無	198	0	
00000003	店舗3	10	0	無	198	0	
00000004	店舗4	10	0	無	198	0	
00000005	店舗5	10	0	無	198	0	
00000006	店舗6	10	0	無	198	0	
00000007	店舗7	10	0	無	198	0	
00000008	店舗8	10	0	無	198	0	
00000009	店舗9	10	0	無	198	0	
00000010	店舗10	10	0	無	198	0	

警告

作動中のコンベヤには、絶対に触れないでください。挟み込む恐れがあります。

5. 値付け作業を開始します。



先頭の店 No. が自動的に呼び出され、コンベヤが動き出します。

通常：生産（計量商品）				2015年1月6日(火) 09時27分	
インライン	豚ロース生姜焼き用				
呼出No.	00000011				
メモ	ゼロ	重さ	単価100g当たり	値段	POP
風袋	10g	-10g	128円	0円	0
加工日	消費期限	M特価	トレーNo.	0001	1
15/1/6	15/1/6		トレー1		
生産区分	店No.	00000001	全店総数	下限重量	上限重量
19					
便No.	指示数	10	169		
1					
ブロック	生産残	10	169		生産中
0					
定金額	加算	清掃準備	品消去	店消去	ラベル発行確認
					指示確認

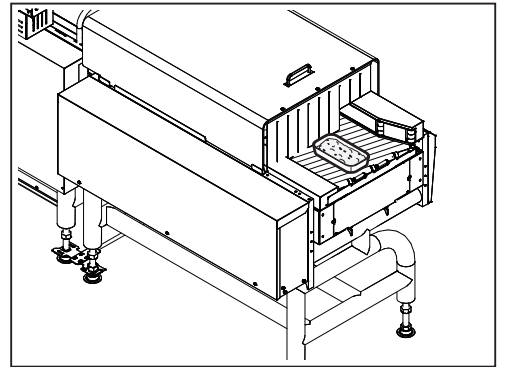
警告

取り込み用のコンベヤに商品載せたあとは手を触れないでください。挟み込む恐れがあります。

6. 商品を取り込み側のコンベヤに載せます。

値付け作業が行われ、画面の生産残数がカウントダウンします。

現在の店の生産残数が0になると、次の店 No. に切り替わりますので、引き続き商品載せてください。



打切 キーを押すと、作業中の店の値付けを打ち切り、次の店から作業することができます。

全店の生産残数が0になると、値付け作業を自動的に終了してコンベヤが止まります。

また、**品終** キーを押すと、現在の値付け作業を途中で打ち切ることができます。

通常：生産（計量商品）				2015年1月6日(火) 09時27分	
インライン	豚ロース生姜焼き用				
呼出No.	00000011				
メモ	ゼロ	重さ	単価100g当たり	値段	POP
風袋	10g	-10g	128円	0円	0
加工日	消費期限	M特価	トレーNo.	0001	1
15/1/6	15/1/6		トレー1		
生産区分	店No.	00000001	全店総数	下限重量	上限重量
19					
便No.	指示数	10	169		
1					
ブロック	生産残	0	0		生産完了
0					
定金額	加算	清掃準備	品消去	店消去	指示設定
					指示確認

2

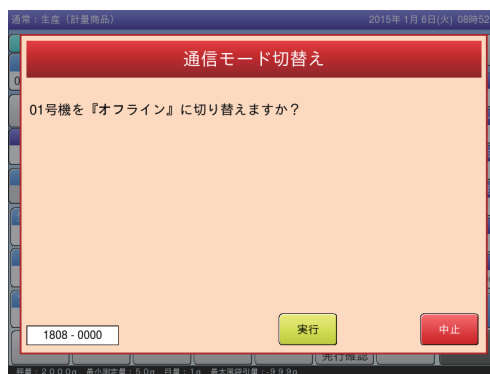
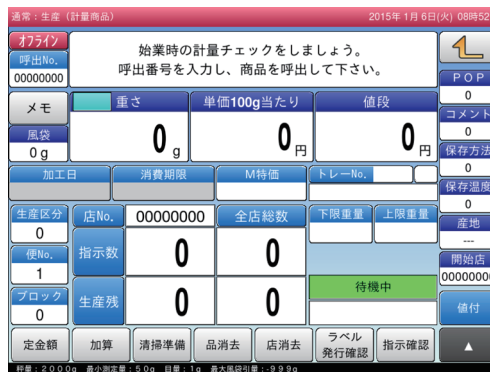
値付けをします (オフライン)

値付けの作業

【例】「豚ロース生姜焼き」(呼出 No.11) を A 店 (店 No.1) に「10 個」、B 店 (店 No.2) に「10 個」値付けします。

1. インライン/オフライン表示欄がオフラインになっていることを確認します。

インラインになっている場合は、表示欄をタッチして通信モード切替え画面を表示し、「実行」をタッチしてオフラインにしてください。



2. 値付けする商品を選び出します。



商品マスタや生産指示データを選び出し、画面に表示します。表示上の全データを確認してください。



店の指定はストロークキーの「店」キーでも可能です。

3. 店ごとの指示数を指定します。

A 店 (店 No.1、指示数 10 個)



B 店 (店 No.2、指示数 10 個)



4. 必要に応じ、商品の値引きなどの変更操作を行います。

変更の必要がない場合は、次の手順に進んでください。

変更操作には、下記項目があります。それぞれの手順については各ページをご参照ください。

変更操作	参照ページ
● ・単価（金額）の変更	3-6
● ・トレーNo.の変更	3-7
● ・円単位での値引き	3-10
● ・割合での値引き	3-10
● ・特売価格での販売	3-10
● ・数量の変更	3-9
● ・日付の変更	3-12
● ・リンクする各マスタの変更	3-21
● ・重量・単価・金額の印字変更	3-14
● ・定額記号・入数の変更	3-9
● ・上限重量・下限重量の変更	3-11
● ・個体識別No./ロットNo.の設定	3-17



一旦各店の指示数を入力した後、全店総数の指示数を変更した場合、オート振り分け機能により、店ごとの指示数の比率に応じて、指示総数を各店に自動的に振り分けます。全店総数の指示数を変更後、「指示確認」をタッチして指示数確認画面を表示させ、変更内容を確認してください。

- 印の項目は店ごとの指定が可能です。

従って、店を呼び出している状態で変更すると、変更した内容はその店に対してのみ有効となります。

店を呼び出していない状態（0店）で変更すると、全店に対して有効となりますので注意が必要です。

- 印の付いていない項目は、商品に対しての変更なので全店に対して有効となります。



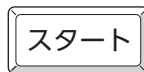
指示数確認画面では、店ごとの単価／定金額／指示数／M特価の確認、変更ができます。

00000011		豚コース生姜焼き用					
店No.	店名	指示数	生産数	税	単価	定金額	M特価
00000001	店舗1	10	0	無	198	0	
00000002	店舗2	10	0	無	198	0	
00000003	店舗3	10	0	無	198	0	
00000004	店舗4	10	0	無	198	0	
00000005	店舗5	10	0	無	198	0	
00000006	店舗6	10	0	無	198	0	
00000007	店舗7	10	0	無	198	0	
00000008	店舗8	10	0	無	198	0	
00000009	店舗9	10	0	無	198	0	
00000010	店舗10	10	0	無	198	0	

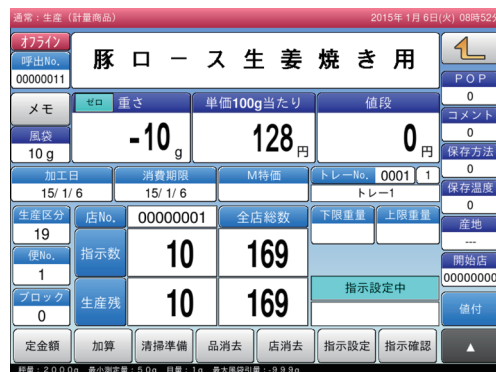
警告

作動中のコンベヤには、絶対に触れないでください。挟み込む恐れがあります。

5. 値付け作業を開始します。



先頭の店 No. が自動的に呼び出され、コンベヤが動き出します。



警告

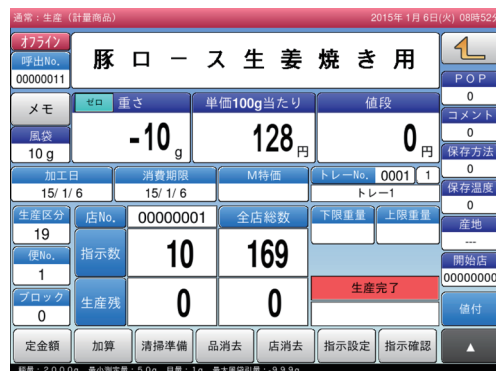
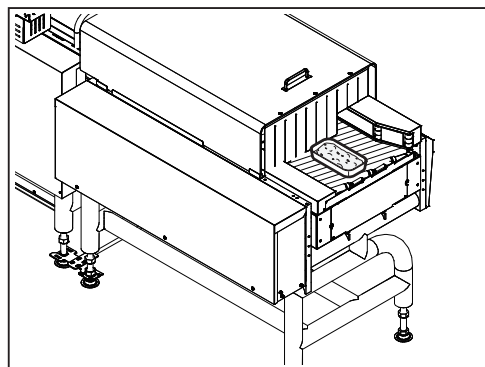
取り込み用のコンベヤに商品載せたあとは手を触れないでください。挟み込む恐れがあります。

6. 商品を取り込み側のコンベヤに載せます。

値付け作業が行われ、画面の生産残数がカウントダウンします。

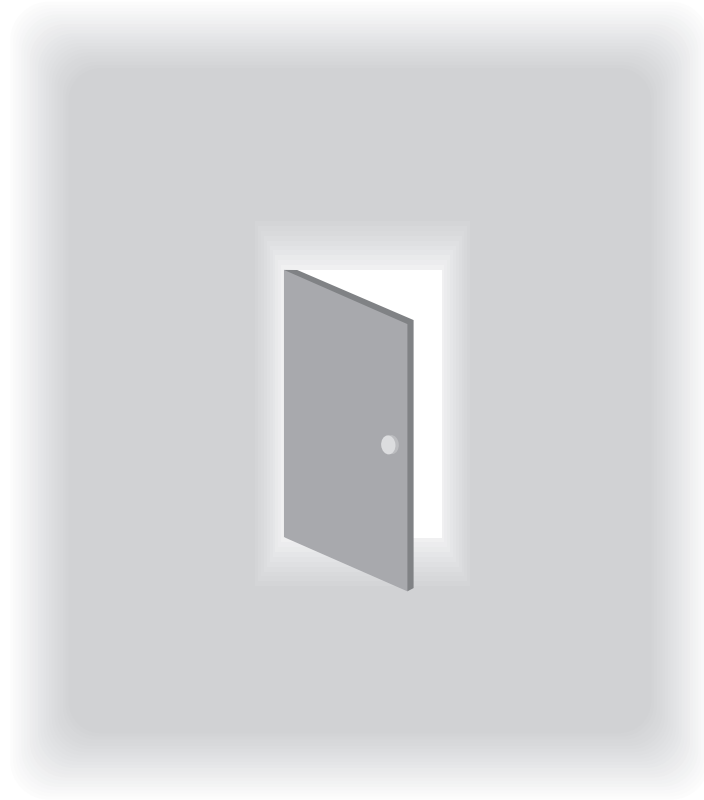
現在の店の生産残数が0になると、次の店 No. に切り替わりますので、引き続き商品を載せてください。

全店の生産残数が0になると、値付け作業を自動的に終了してコンベヤが止まります。



「**打ち**」キーを押すと、作業中の店の値付けを打ち切り、次の店から作業することができます。

また、「**品終**」キーを押すと、現在の値付け作業を途中で打ち切ることができます。



第3章

ちょっと便利な機能

一覧表示から商品データを呼び出します

呼出番号をはっきりと覚えていない場合、たとえば「たしか3番前後だったかな?」というようなときは、入力した数値の前後の商品名を一覧表示させて選ぶことができます。

数値入力後にタッチすると商品一覧表の画面が表示されます。

商品を選ばずに商品一覧画面を閉じるときにタッチします。

商品一覧表のページを切り替えます。
 ▲ : 前ページ
 ▼ : 次ページ

商品一覧表の表示項目数を切り換えます。

数値入力後にタッチすると、入力した呼出No.前後の商品一覧表のページにジャンプします。
 そのままタッチすると、初回呼出時の商品一覧表に戻ります。

【例】 はっきりと覚えていない呼出No.「?」の国産牛モモ薄切りを商品一覧から呼び出す場合



呼び出したい商品が画面上に表示されていないときは、▲、▼をタッチし、ページを切り替えます。

1. 「これくらいかな?」と思われる呼出No.を入力し、「呼出No.」をタッチします。



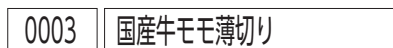
入力した呼出番号の商品を中心に商品名が一覧表示されます。



商品呼出は「置数+呼出」でも行えます。



2. 「国産牛モモ薄切り」を選択します。



自動的に通常画面に戻り、呼び出された「国産牛モモ薄切り」の商品データが表示されます。

メモプリセットキーから商品データを呼び出します

よく呼び出す商品名をメモプリセットキーに登録して、効率よく作業を進めることができます。

タッチすると、メモプリセット呼出画面が表示されます。

各モードの作業を実行して通常画面に戻ります。

メモプリセット呼出画面1/2と2/2の表示を切り替えます。

モードを切り替えるときにタッチします。

各モードの作業を中止して通常画面に戻ります。

表示エリア内に収まらない商品名を先頭からカットして表示するときにタッチします。

メモプリセットキーを登録します

【例】画面上に呼び出されている呼出 No.11 の「豚ロース生姜焼き用」をメモプリセットキーに登録します。

1. 登録したい商品が呼び出されている画面で、「メモ」をタッチします。

メモ

メモプリセット呼出 1/2 画面が表示されます。

通常：生産 (計量商品)	2015年1月6日(火) 09時26分		
呼出No.	豚ロース生姜焼き用		
0000011	0000011		
メモ	ゼロ	重さ	単価100g当たり
10g	-10g	128円	0円
加工日	消費期限	M特価	トレーNo.
15/1/6	15/1/6		0001
生産区分	店No.	全店総数	下開重量
19	0000000	169	
便No.	指示数	0	169
1	生産残	0	169
ブロック	0	指示完了	
0	値付		
定金額	加算	清掃準備	品消去
		店消去	ラベル発行確認
秤量：200.0g 最小測定量：5.0g 目量：1g 最大風速引量：9.9g			

2. 「登録」をタッチします。

登録

メモプリセット登録モードに切り替わります。

通常：生産 (メモプリセット)	2015年4月7日(火) 10時15分		
呼出No.	豚ロースしょうが焼用		
0000011	0000011		
00000001	00000004	00000013	00000022
神戸牛ヒレステーキ	国産牛肩薄切り	若鶏ムネ肉	てっちゃん
00000019	00000009	00000015	00000115
牛バラ焼付焼肉用	豚モモスライス	かつおたたき(焼津港直送)	生するめいか(お刺し身用)
00000103	00000107		
銀ムツ塩焼き	さば味噌煮		
カット数 0			
呼出			
登録			
消去			
中止			

注意

すでに登録済みのメモプリセットキーをタッチすると、上書きされます。



値数+メモプリセットキーにより、登録することもできます。



3. 登録したい位置のメモプリセットキーをタッチします。



メモプリセットキーが登録され、通常画面に戻ります。



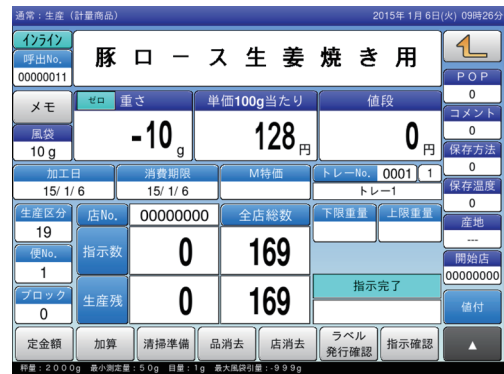
メモプリセットキーを使って商品呼び出します

【例】「豚ロース生姜焼き用」をメモプリセットキーを使って呼び出します。

1. 「メモ」をタッチします。



メモプリセット呼出 1/2 画面が表示されます。



2. 「豚ロース生姜焼き用」が登録されているメモプリセットキーをタッチします。



「豚ロース生姜焼き用」が呼び出され、通常画面に戻ります。



メモプリセットキーを消去します

【例】メモプリセットキーに登録された「豚ロース生姜焼き用」を消去します。

1. 「メモ」をタッチします。



メモプリセット呼出 1/2 画面が表示されます。



2. 「消去」をタッチします。

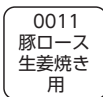


メモプリセット消去モードに切り替わります。



3

3. 「豚ロース生姜焼き用」と表示されたメモプリセットキーをタッチします。



メモプリセットキーの表示が消去され、ブランクになります。



複数のキーを同時に消去することができます。

4. 「戻る」をタッチします。



消去が確定し、通常画面に戻ります。



商品データを一時変更します

作業中に、登録されている商品データの一部を一時的に変更したい場合は、以下の手順にしたがって操作してください。ここでは、単価、トレーの一時変更、値引きのしかたについて説明します。

100g 単価を変更します

【例】100g 単価を 300 円から 350 円に変更します。

注意

指示を変更、設定する場合は表示が「指示設定」であることを確認してから行ってください。
表示が「指示設定」になっていない場合は「指示設定」をタッチして表示を切り替えてください。

- 商品が呼び出されている画面で、単価を変更する店を全店 (No.0000)、または店 No. で指定します。

全店



店指定 (【例】店 No.1)



通常：生産 (計量商品) 2015年1月6日(火) 09時26分			
インライン	豚ロース生姜焼き用		
呼出No.	00000011		
メモ	ゼロ	重さ	単価100g当たり
風袋	-10	g	128
10g			円
			0
加工日	消費期限	M特価	トレーNo.
15/1/6	15/1/6		0001
生産区分	店No.	全店総数	下限重量
19	00000000		上重量
便No.	指示数	0	169
1			
ブロック	生産残	0	169
0			
定金額	加算	清掃準備	品消去
			店消去
			ラベル
			発行確認
			指示確認

- 一時変更したい単価 160 円を入力します。



画面右下の入力数値表示欄に 350 と表示されます。

通常：生産 (計量商品) 2015年1月6日(火) 09時29分			
インライン	豚ロース生姜焼き用		
呼出No.	00000011		
メモ	ゼロ	重さ	単価100g当たり
風袋	-10	g	128
10g			円
			0
加工日	消費期限	M特価	トレーNo.
15/1/6	15/1/6		0001
生産区分	店No.	全店総数	下限重量
19	00000000		上重量
便No.	指示数	0	169
1			
ブロック	生産残	0	169
0			
定金額	加算	清掃準備	品消去
			店消去
			ラベル
			発行確認
			指示確認

- 「単価 100g 当たり」をタッチします。

単価が 128 円から 160 円に変わりました。

通常：生産 (計量商品) 2015年1月6日(火) 09時29分			
インライン	豚ロース生姜焼き用		
呼出No.	00000011		
メモ	ゼロ	重さ	単価100g当たり
風袋	-10	g	160
10g			円
			0
加工日	消費期限	M特価	トレーNo.
15/1/6	15/1/6		0001
生産区分	店No.	全店総数	下限重量
19	00000000		上重量
便No.	指示数	0	169
1			
ブロック	生産残	0	169
0			
定金額	加算	清掃準備	品消去
			店消去
			ラベル
			発行確認
			指示確認

トレー No. を入力してトレーを変更します



参照

「トレー登録」については、4-26 ページ参照

トレーには、それぞれ番号が付けられており、番号ごとにトレーの名称や大きさ、重さなどの情報が管理されています。

【例】トレー No.1 のものをトレー No.2 に変更します。

注意

指示を変更、設定する場合は表示が「指示設定中」であることを確認してから行ってください。

表示が「指示設定中」になっていない場合は、

「指示設定」をタッチし

て表示を切り替えてください。

注意

トレー No. を変更すると、貼機が動きます。手や顔などを近づけると機械に巻き込まれたり、打ちつけたりしてけがをする恐れがあります。

絶対に手や顔などを近づけないでください。

1. 商品が呼び出されている画面でトレー No.2 を入力します。

2

画面右下の数値入力欄に「2」と表示されます。

インライン	呼出No.	00000011	豚ロース生姜焼き用
メモ	ゼロ	重さ	単価100g当たり
風袋	10g	-10g	128円
加工日	15/1/6	消費期限	15/1/6
生産区分	19	店No.	00000000
便No.	1	指示数	0
ブロック	0	生産残	0
定金額	加算	清掃準備	品消去
		店消去	ラベル発行確認
			指示確認

2. 「トレー No.」をタッチします。

トレーNo.

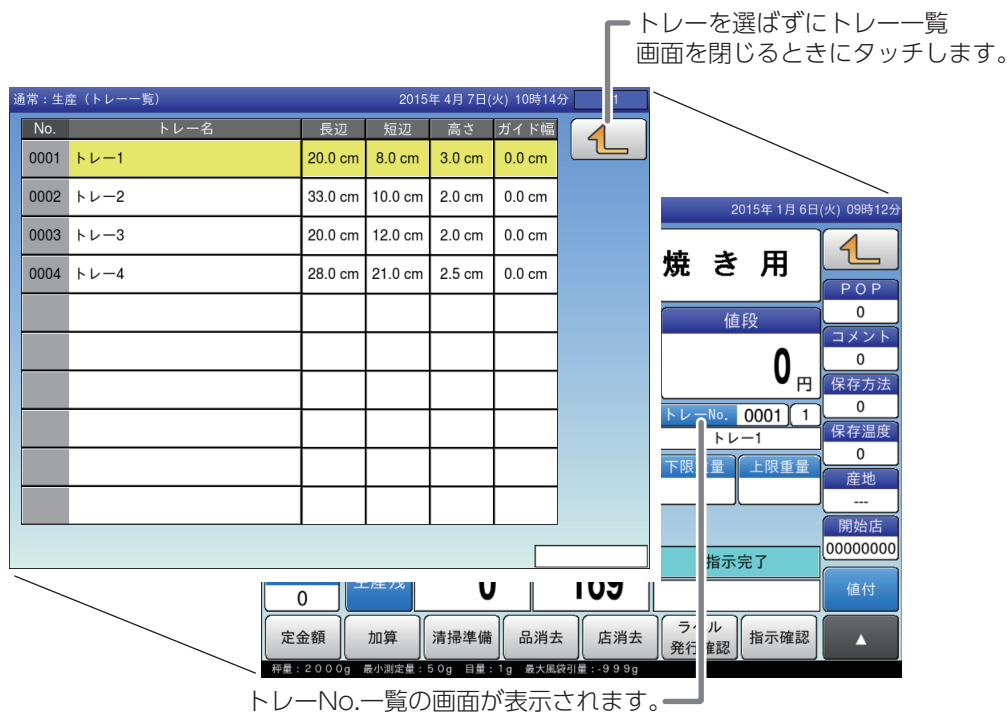
トレー No. 表示欄に「2」と表示されます。

インライン	呼出No.	00000011	豚ロース生姜焼き用
メモ	ゼロ	重さ	単価100g当たり
風袋	10g	-10g	128円
加工日	15/1/6	消費期限	15/1/6
生産区分	19	店No.	00000000
便No.	1	指示数	0
ブロック	0	生産残	0
定金額	加算	清掃準備	品消去
		店消去	ラベル発行確認
			指示確認

3

トレー一覧画面でトレーを変更します

ここでは、使用したいトレー No. がわからない場合、トレー一覧画面からトレーを変更するしかたについて説明します。

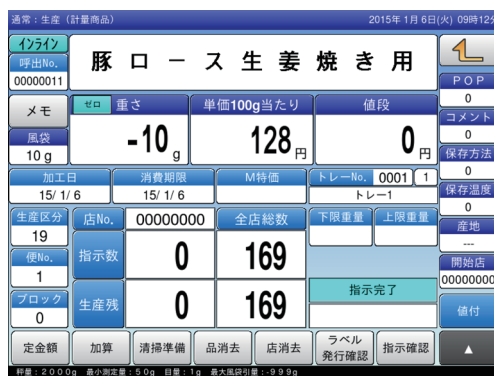


使用したいトレーが画面上に表示されていないときは、、 をタッチし、ページを切り替えます。

- 商品が呼び出されている画面で「トレー No.」をタッチします。

トレーNo.

トレー一覧画面が表示されます。



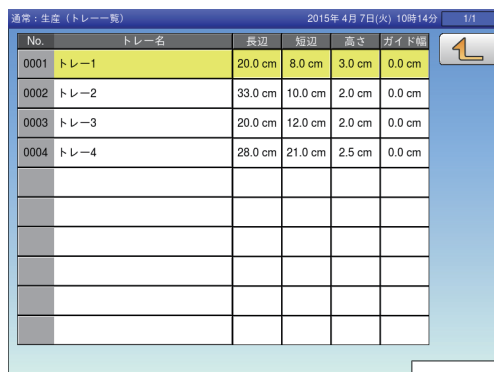
トレー一覧画面でのトレー呼出は「トレー No. 入力+呼出」でも行えます。



- 使用するトレー番号を選択します。

0001 トレー1

自動的に初期画面に戻り、トレー No. 表示欄に「1」と表示されます。



注意

トレー No. を変更すると、貼機が動きます。手や顔などを近づけると機械に巻き込まれたり、打ちついたりしてけがをする恐れがあります。絶対に手や顔などを近づけないでください。

定額記号を変更します

【例】みそ鍋（うどん入り）の入数を変更します。

定額記号を飛ばずに
定額記号画面を閉じ
るときにタッチします。

次ページを表示する際に
タッチします。

定額記号を選択する
ときにタッチします。

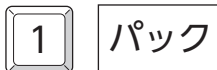
1. 商品が呼び出されている画面で「記号」をタッチします。



定額記号設定画面が表示されます。

2. 入り数を入力し、記号をタッチします。

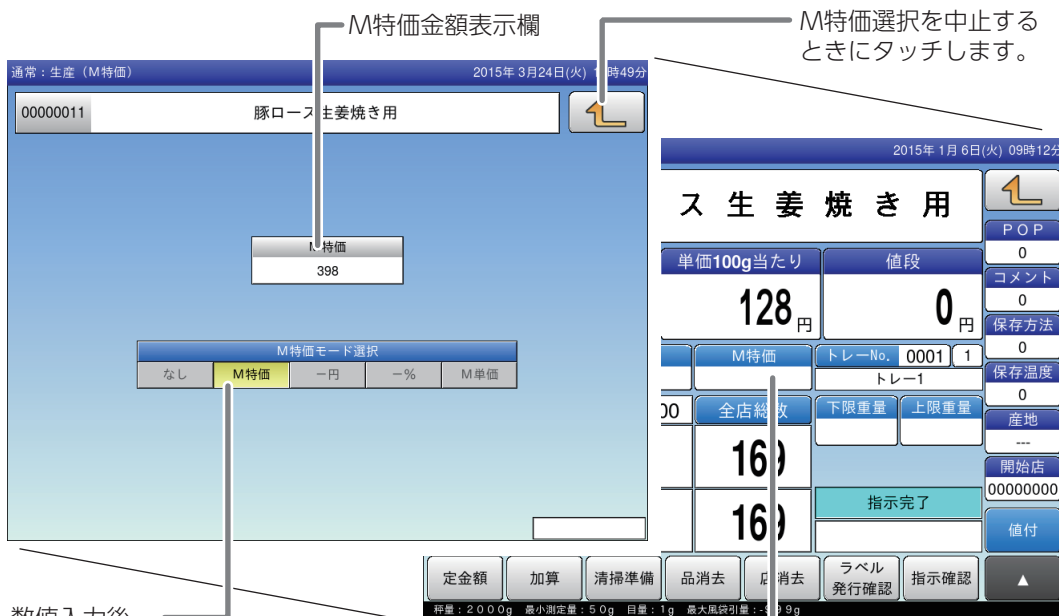
【例】1パックの場合



入数と記号が入力され、通常画面に戻ります。

値引きをします

商品データの中には、単価、定金額のほかに特売金額を登録しておくことができます。特売金額には、M特価（マークダウン金額）、一元（値引き額）、一%（値引き率）、M単価（マークダウン単価）の4種類があります。ここでは、それぞれの値引きのしかたについて説明します。



注意

指示を変更、設定する場合は表示が「指示設定中」であることを確認してから行ってください。表示が「指示設定中」になっていない場合は、**指示設定** をタッチして表示を切り替えてください。

参考

M特価 で設定

している M 特価を消去できます。M 特価モード設定画面で M 特価モード選択の **なし** を選択しても設定している M 特価を消去できます。

注意

計量結果が通常金額 < 特価になった場合には、ラベル発行時にエラーを表示します。※「よりどり」を除く。

●値引きのしかた

	計量商品・定額商品
M特価 (マークダウン) 金額	<ol style="list-style-type: none"> M特価 をタッチします。→ M特価選択画面を表示します。 M特価選択画面で数値を入力し、M特価モード選択の M特価 をタッチすると自動的に通常画面に戻り、設定した特価（マークダウン金額）を表示します。
一元 (値引き額)	<ol style="list-style-type: none"> M特価 をタッチします。→ M特価選択画面を表示します。 M特価選択画面で数値を入力し、M特価モード選択の 一元 をタッチすると自動的に通常画面に戻り、設定した特価（値引き額）を表示します。
一% (値引き率)	<ol style="list-style-type: none"> M特価 をタッチします。→ M特価選択画面を表示します。 M特価選択画面で数値を入力し、M特価モード選択の 一% をタッチすると自動的に通常画面に戻り、設定した特価（値引き率）を表示します。
M単価 (マークダウン) 単価	<ol style="list-style-type: none"> M単価 をタッチします。→ M特価選択画面を表示します。 M特価選択画面で数値を入力し、M特価モード選択の M単価 をタッチすると自動的に通常画面に戻り、設定した特価（マークダウン単価）を表示します。（呼出中商品が、定額商品の場合には設定できません。）

商品の重量範囲を変更します

ここでは、商品の上限重量、下限重量の変更のしかたについて説明します。

注意

指示を変更、設定する場合は表示が「指示設定中」であることを確認してから行ってください。
表示が「指示設定中」になっていない場合は、「指示設定」をタッチして表示を切り替えてください。

通常：生産（計量商品）		2015年 1月 6日(火) 09時28分	
インライン	豚ロース生姜焼き用		
呼出No.	00000011		
メモ	重さ	単価100g当たり	値段
風袋	148 g	128 円	189 円
10 g			
加工日	消費期限	M特価	トレーNo. 0001 1
15/ 1/ 6	15/ 1/ 6		トレー1
生産区分	店No.	全店総数	下限重量
19	00000001		上限重量
便No.	指示数	169	
1			
ブロック	生産残	166	
0			
定金額	加算	清掃準備	品消去
			店消去
			ラベル発行確認
			指示確認

数値入力後、タッチすると上限重量、下限重量を直接入力できます。



参照

「上限重量」、「下限重量」のいずれかのみ変更する場合は、数値入力後、「上限重量」もしくは、「下限重量」の欄をタッチします。

① 上限重量

変更したい上限重量を入力します。

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="上限重量"/>
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------------------

② 下限重量

変更したい下限重量を入力します。

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="下限重量"/>
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------------------



参照

上限重量 または

下限重量 で、設

定されている上・下限重量を消去できます。

■ 加工・消費日時設定画面

通常画面の「加工日」または「消費期限」の欄をタッチすると加工・消費日時設定画面を表示します。



「加工日」「消費期限」の日付のみの変更は、数値入力後、「加工日」もしくは、「消費期限」の欄をタッチします。

⚠ 注意

指示を変更、設定する場合は表示が「指示設定中」であることを確認してから行ってください。
表示が「指示設定中」になっていない場合は、**指示設定** をタッチして表示を切り替えてください。

⚠ 注意

加工時刻、消費時刻を印字させる場合は、あらかじめ設定しておく必要があります。
詳しくは販売元の担当者にお問い合わせください。



入力したデータを設定し、通常画面に戻ります。

タッチすると、加工・消費日時設定画面が表示されます。

① 加工日

加工日

変更したい加工日付を入力します。



加工日印字選択

印字有 : 加工日を印字させるときに選択します。

印字無 : 加工日を印字しないときに選択します。

② 加工時刻

加工時刻

指定時刻を印字させる場合に入力します。



加工時刻印字選択

印字有 : 加工時刻を印字させるときに選択します。

印字無 : 加工時刻を印字しないときに選択します。

③ 加工時刻選択

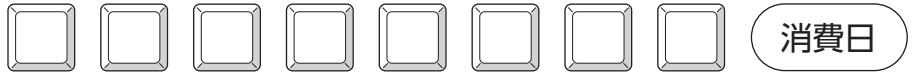
指定 : 固定の時刻を印字させるときに選択します。

時計 : 現在時刻を印字させるときに選択します。

④ 消費日

消費日

設定されている消費期限を変更するときに使用します。



消費日印字選択

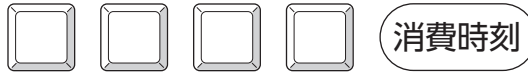
印字有 : 消費期限の印字をするときに選択します。

印字無 : 消費期限の印字をしないときに選択します。

⑤ 消費時刻

消費時刻

印字させる消費時刻を入力します。(9999時間後まで設定可能)
(加工時刻から数えて「〇〇時間後」と設定します。)



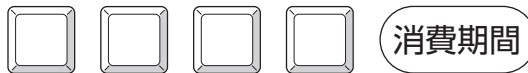
消費時刻印字選択

印字有 : 消費時刻の印字をするときに選択します。

印字無 : 消費時刻の印字をしないときに選択します。

⑥ 消費期間

加工日から数えて、設定した消費期間により消費期限を計算します。
(消費期間が1日間の場合、加工日=消費期限になります。)



税タイプの確認画面

ここでは、商品の税タイプの確認方法を説明します。

タッチすると、重量・単価・金額印字選択画面が表示されます。

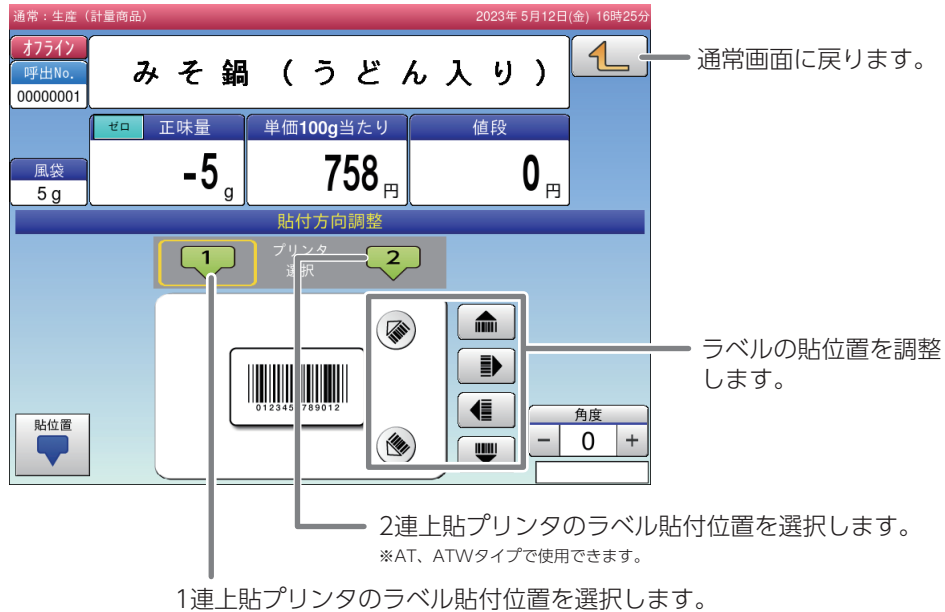
The image displays two screenshots from a mobile application. The top screenshot shows a product detail screen for '豚ロース生姜焼き用' (Pork loin ginger焼き用) with a callout box pointing to the '重量' (Weight) field. The bottom screenshot shows a tax type selection screen with three options: '金額入力タイプ' (Amount input type) set to '税込' (Tax included), '本体(税抜)単価' (Unit price excluding tax) set to '184 円', and '税率' (Tax rate) set to '8.00'.

金額入力タイプ	本体(税抜)単価	税率
税込	184 円	8.00

ラベルの貼付方向の調整と位置調整

貼付方向の調整と変更

ここでは貼位置の設定を確認したり、位置設定を一時的に変更する場合の操作手順について説明します。



- 通常画面でファンクションキーの **▲** を押してサブファンクションキーを表示させ「貼位置」をタッチします。

貼位置

貼位置の確認画面が表示されます。



- 確認画面で内容が合っているかどうか確認し、変更する場合は、該当するキーをタッチしてください。



貼機の位置調整

貼機の位置を微調整する操作手順を説明します。

2連目上貼プリンタの位置を回転方向、上下方向、左右方向に調整できます。
※AT、ATWタイプで使用できます。

通常画面に戻ります。

上貼プリンタを1連目・2連目ともに前後方向に調整できます。

下貼プリンタのラベル貼付位置を左右方向に調整できます。
※AW、ATWタイプで使用できます。

1連目上貼プリンタの位置を回転方向、前後方向、左右方向に調整できます。

注意

生産中は「取込」ボタンは無効です。生産完了時に取込確認画面がポップアップ表示されます。

1. 通常画面でファンクションキーの「▲」キーを押して「貼位置調整」をタッチします。

貼位置調整

貼位置調整画面が表示されます。



2. 貼機位置の調整したいキーをタッチします。



個体識別 No. とロット No. を設定します

ここでは、商品ごとの個体識別 No. とロット No. の設定方法について説明します。
直接入力した数値、オプションのバーコードスキャナで読み込んだ数値、または履歴一覧から選択した数値を個体識別 No. / ロット No. として設定します。

個体識別 No. を直接入力します

【例】画面上に呼び出されている呼出 No.1 の「神戸牛ヒレステーキ」に個体識別 No. を設定します。

1. 通常画面からファンクションキーの表示を切り替えます。



ファンクションキー画面が表示されます。

2. 「個体／ロット」をタッチします。

個体
ロット

個体識別 No. / ロット No. 設定画面が表示されます。

3. 個体識別 No. を入力します。



個体識別 No. は最大 10 桁まで入力でき、1 商品につき最大 3 種類まで設定することができます。ただし、同じ番号を設定することはできません。

画面右下の入力数値表示欄に数値が表示されます。

4. 「個体識別 No.1」の入力欄をタッチします。



[0] を入力してタッチすると個体識別 No. をクリアします。

個体識別 No.1

個体識別 No. が設定されました。

ロット No. を直接入力します

【例】画面上に呼び出されている呼出 No.1 の「神戸牛ヒレステーキ」にロット No. を設定します。

1. 通常画面からファンクションキーの表示を切り替えます。



ファンクションキー画面が表示されます。

2. 「個体／ロット」をタッチします。

個体
ロット

個体識別 No. / ロット No. 設定画面が表示されます。

3. ロット No. を入力します。

画面右下の入力数値表示欄に数値が表示されます。

4. 「ロット No.」の入力欄をタッチします。

ロットNo.

ロット No. が設定されました。



参考

ロット No. は最大 15桁まで入力することができます。



参考

ロット No. は英数字で入力することができます。

英数字



参考

[0] を入力してタッチするとロット No. をクリアします。

ロット No. を英数字で入力します

1. 個体識別 No. / ロット No. 設定画面で「英数字」をタッチします。

英数字

英数字入力画面が表示されます。



2. ロット No. を入力します。

アルファベットキーをタッチすると、画面右下の入力数値表示欄に英数字が表示されます。



参考

画面左下の文字切替キーをタッチすることで、大文字 / 小文字の切替を行うことができます。

ABC abc

3. 「ロット No.」をタッチします。

ロットNo.

ロット No. 入力欄に英数字が表示されます。



4. 「確定」をタッチします。

確定

ロット No. が設定されます。



個体識別 No. とロット No. をスキャナで読み込みます

注 記

オプションのバーコードスキャナを接続した状態で使用してください。



スキャンしたバーの桁数が商品呼出用のバーコードで指定されている桁数と一致した場合には商品を読み出します。

1. 商品が呼び出された状態で、バーコードスキャナを使いバーコードを読み取ります。

呼出No.	神戸牛ヒレステーキ			POP	0
メモ	ゼロ	重さ	単価100g当たり	値段	保存方法
風袋	5g	-5g	980円	0円	0
加工日	15/3/24 15:22	消費期限	15/3/24 15:22	M特価	トレイNo. 0001 1
生産区分	19	店No.	00000000	全店総数	トレイ
便No.	1	指示数	0	100	下限量
ブロック	0	生産残	0	100	上限量
品消去	清掃準備	貼位置	貼付方向	加算	指示設定
				指示確認	

2. 読取データ設定先画面が表示されます。

設定したい項目をタッチするとスキャナ読み取りデータが個体識別 No. またはロット No. として設定されます。

履歴一覧から個体識別 No. とロット No. をを選択します



履歴が1件も存在しない場合はエラー音が鳴ります。

1. 個体識別 No. / ロット No. 設定画面で「個体識別 No.1」をタッチします。

個体識別 No. 履歴一覧画面が表示されます。

2. 履歴一覧から個体識別 No. を選択します。

選択した個体識別 No. が設定されます。ロット No. の場合も同様の手順です。

ロットNo.	日付	ロットNo.	日付	ロットNo.	日付
2222222	14/12/16				
1111111	14/12/13				
11111	14/12/13				



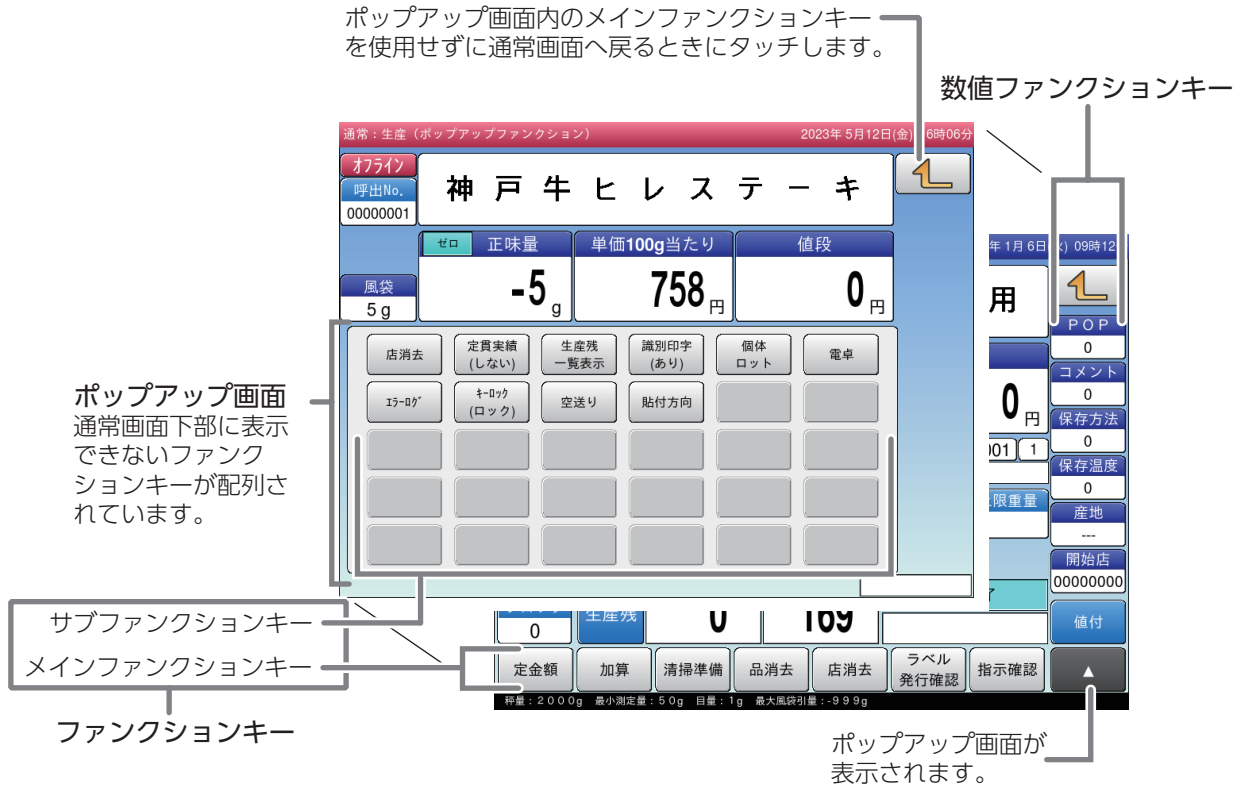
履歴はそれぞれ30件まで登録され、履歴が30件を越えると日付の古い順に削除されます。




「0」を入力してタッチすると選択した履歴を削除します。

ファンクションキーの便利機能

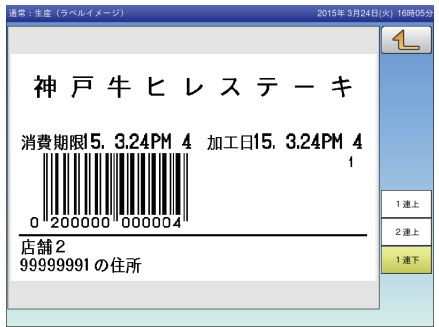
ファンクションキーを使った便利な機能について説明します。
呼び出した商品に対して各操作を行ってください。






■ファンクションキーの説明

ファンクションキー	はたらきと使いかた
品消去	●値付け作業中にタッチすると実績の消去を確認する画面が表示され、「実行」をタッチすると現在値付け中の商品の実績を消去し、値付開始前の状態に戻ります。
清掃準備	●商品呼び出ししていない状態でタッチすると、清掃モード画面が表示されます。 ●本機の清掃前に行うオペレーションです。
貼位置	●タッチすると、貼位置調整画面が表示されます。 ●トレーガイド幅（センター寄せタイプのみ有効）、貼機の高さ・前後位置・回転位置、貼付けタイミングを変更・更新できます。  参照 : 「貼機の位置調整」については、3-16ページ参照。
発行 / 発禁	●タッチすると、 発行 → 発禁 → 発行 …と切り替えることができます。 発行 : 値付ラベルを発行し、生産データを加算します。 発禁 : 値付ラベルを発行せずに、生産データを加算します。
加算 / 非加算	●タッチすると、 加算 → 非加算 → 加算 …と切り替えることができます。 加算 : 生産データを加算します。 非加算 : 生産データは加算しません。

ファンクションキー	はたらきと使いかた
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">指示設定</div>	<ul style="list-style-type: none"> ●状態表示が“指示完了”のときにタッチすると、表示が“指示設定中”に切り替わります。 ●指示完了の状態（設定変更できない状態）で、設定変更を行いたいときに使用します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">指示確認</div>	<ul style="list-style-type: none"> ●店ごとの指示数・単価・金額・M特価をまとめて変更することができる画面です。 <p><操作></p> <ol style="list-style-type: none"> ① タッチすると指示数確認画面が表示されます。 ② 変更したい項目を変更します。 <p>指示数：<input type="text"/> <input type="text"/> → <input type="text" value="指示数"/></p> <p>単価：<input type="text"/> <input type="text"/> → <input type="text" value="単価"/></p> <p>金額：<input type="text"/> <input type="text"/> → <input type="text" value="金額"/></p> <p>M単価：<input type="text" value="M特"/> → <input type="text"/> <input type="text"/> → <input type="text" value="M特価項目"/></p> <p>※タッチすると、<input type="text" value="M特"/> → <input type="text" value="-円"/> → <input type="text" value="-%"/> → <input type="text" value="M単"/></p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">ラベル発行確認</div>	<ul style="list-style-type: none"> ●ラベルの発行方法を変更することができます。 <ol style="list-style-type: none"> ①タッチすると、ラベル発行選択画面が表示されます。 ②発行するプリンタの選択や、下貼りプリンタの印字選択を変更します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">アイキャッチ発行(あり)</div> <hr style="width: 50%; margin: 5px auto;"/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">アイキャッチ発行(なし)</div>	<ul style="list-style-type: none"> ●タッチすると <input type="text" value="アイキャッチ発行(あり)"/> → <input type="text" value="アイキャッチ発行(なし)"/> → <input type="text" value="アイキャッチ発行(あり)"/> …と切り替えることができます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">ラベルイメージ</div>	<ul style="list-style-type: none"> ●タッチすると、ラベルの印字イメージを確認することができます。

































ファンクションキー	はたらきと使いかた
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">容器包装 (あり)</div>	<p>●タッチすると <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">容器包装 (あり)</div> → <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">容器包装 (なし)</div> → <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">容器包装 (あり)</div> …と切り替えることができます。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">貼付方向</div>	<p>●タッチすると、貼付方向の確認画面が表示されます。 ●ラベルの貼付方向を確認・変更することができます。</p> <p> 参照 : 「ラベルの貼付方向の調整と位置調整」については、3-15ページ参照。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">店消去</div>	<p>●値付け中にタッチすると、現在値付け中の店の実績を消去し、その店の値付開始前の状態に戻ります。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">実績修正</div>	<p>●インライン仕様のみ、タッチすると減算／加算メニュー画面が表示されます。 ●実績データの修正を行うことができます。（通常モードで商品が呼び出されていない状態でのみ）</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">指示完了</div>	<p>●状態表示が“指示設定中”のときにタッチすると、表示が“指示完了”に切り替わります。 ●指示設定中の状態（設定変更できる状態）で、設定変更できないようにするときに使用します。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">生産残</div>	<p>●インライン仕様のみ、タッチすると生産の残っている商品についての一覧画面が表示されます。</p> <p><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 注意</div> : 上位コンピュータが対応している場合のみ実行できます。</p>





ファンクションキー	はたらきと使いかた
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">店指定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">開始店</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">終了店</div>	<p>●値付けする店を指定して作業することができます。</p> <p>①インライン仕様で商品を読み出していない状態のみ、タッチすると開始店終了店設定画面が表示されます。</p> <p>②値付けの開始店と終了店の店No.をそれぞれ指定します。</p> <p style="text-align: center;">開始する店No. : <input type="text"/> <input type="text"/> → <input type="button" value="開始店"/></p> <p style="text-align: center;">終了する店No. : <input type="text"/> <input type="text"/> → <input type="button" value="終了店"/></p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">単価・定額</div>	<p>●タッチすると、定額モードに切り替わります。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">定単価</div>	<p>●タッチすると、定単価モードに切り替わります。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">電卓</div>	<p>●タッチすると、電卓画面が表示されます。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">エラーログ</div>	<p>●タッチすると、エラーログ表示画面が表示されます。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">キーロック</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">キーロック解除</div>	<p>●タッチすると、<input type="button" value="キーロック"/> → <input type="button" value="キーロック解除"/> → <input type="button" value="キーロック"/> …と切り替えることができます。</p> <p>●キーロック機能を設定してある場合にタッチすると、一時的にキーロックを解除することができます。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">個体ロット</div>	<p>●商品ごとに個体識別No.とロットNo.を設定することができます。</p> <p> : 「個体識別No./ロットNo.設定」については、3-17ページ参照。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">識別印字(する)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">識別印字(しない)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">識別印字(個体No.)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">識別印字(ロットNo.)</div>	<p>●タッチすると、<input type="button" value="識別印字(する)"/> → <input type="button" value="識別印字(しない)"/> → <input type="button" value="識別印字(個体No.)"/> → <input type="button" value="識別印字(ロットNo.)"/> → <input type="button" value="識別印字(する)"/> …と切り替えることができます。</p> <p><input type="button" value="識別印字(する)"/> : 個体識別No.とロットNo.を印字します。</p> <p><input type="button" value="識別印字(しない)"/> : 個体識別No.とロットNo.を印字しません。</p> <p><input type="button" value="識別印字(個体No.)"/> : 個体識別No.のみ印字します。 ロット番号が誤って入っている、または個体識別No.が入力されていない場合はエラーを表示します。</p> <p><input type="button" value="識別印字(ロットNo.)"/> : ロットNo.のみ印字します。 個体識別No.が誤って入っている、またはロットNo.が入力されていない場合はエラーを表示します。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">AI認識(しない)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">AI認識(する)</div>	<p>●タッチすると、<input type="button" value="AI認識(しない)"/> → <input type="button" value="AI認識(する)"/> → <input type="button" value="AI認識(しない)"/> …と切り替えることができます。</p> <p><input type="button" value="AI認識(する)"/> : AIコードが自動認識されます。</p> <p><input type="button" value="AI認識(しない)"/> : AIコードが自動認識されません。</p>

ファンクションキー	はたらきと使いかた
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">加工ロット</div>	<ul style="list-style-type: none"> ●インライン仕様のみ、商品呼び出し前にタッチすると「生産（加工ロットNo.設定）」画面が表示されます。 ●インライン仕様のみ、商品呼び出し後にタッチすると「生産（加工ロットNo.確認）」画面が表示されます。 <p>注 記 : 運用については、販売元の担当者にご相談ください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">定買実績</div>	<ul style="list-style-type: none"> ●タッチすると、「生産（定買実績）」画面が表示されます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">資材コード 照合</div> <p>※拡張仕様のみ表示されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●タッチすると、「資材コード照合」画面が表示され、資材の一致のチェックが行えます。 <p>*生産中は使用できません。</p> <p>注 記 : 運用については、販売元の担当者にご相談ください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">オフライン指示 受信</div> <p>※拡張仕様のみ表示されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●インライン運用時の通信障害時にオフラインで指示を入出力することができます。 ●オフライン指示実績入出力が有効の場合のみ表示されます。 <p>注 記 : 運用については、販売元の担当者にご相談ください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">POSコード</div> <p>※拡張仕様のみ表示されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●店舗ごとにPOSコードを切り替える場合（店ごとPOSコード切替運用）、POSコードを直接入力することができます。 <p>注 記 : 運用については、販売元の担当者にご相談ください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">低速度 / 通常速度</div>	<ul style="list-style-type: none"> ●タッチすると、「通常速度」⇄「低速度」の切り替えができます。 <div style="margin-left: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px;">通常速度</div> : コンベヤが通常速度で生産を行います。 </div> <div style="margin-left: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px;">低速度</div> : コンベヤが低速度で生産を行います。 </div> <ol style="list-style-type: none"> ① 「低速度」キーにより、生産停止状態で「通常速度」と「低速度」の切り替えを行います。 ② 通常速度状態では従来と同様のコンベヤ速度で生産を行います。 ③ 低速度状態ではコンベヤ速度設定などに関わらず、最速で20m/分のコンベヤで生産を行います。 <p>《備考》 コンベヤ速度は、ラベル長さなどの生産条件により算出されます。</p> <p>注 記 : 2kgを超える商品に対して計量誤差の発生を防ぐためコンベヤ速度20m/分の制限を設けています。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">商品風袋 セット</div>	<ul style="list-style-type: none"> ●ゼロ点の補正時にキャンセルされた風袋を再設定する場合に使用します。 ●タッチすると、ゼロ点の補正前の風袋に戻ります。

■数値ファンクションキーの説明

数値ファンクションキー	はたらきと使いかた													
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td style="background-color: #cccccc;">POP</td></tr> <tr><td>10</td></tr> </table>	POP	10	<ul style="list-style-type: none"> ●数値入力後にタッチすると、POPを変更することができます。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー   ► <table border="1" style="display: inline-table; text-align: center;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">POP</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; text-align: center;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">POP</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">POP No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのままタッチすると、POP一覧表示画面が表示されます。 ●表示項目にタッチ、あるいは数値入力にて、POPが設定されます。 <p style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; text-align: center;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">010</td><td>店長推薦</td></tr></table> または、ストロークキー   ► <table border="1" style="display: inline-table; text-align: center;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">呼出</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">POP No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設定を解除する場合は、「0」入力後にタッチします。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー  ► <table border="1" style="display: inline-table; text-align: center;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">POP</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; text-align: center;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">POP</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center;">  参照 : 「POP登録」については、4-22ページ参照。 </p>	POP	0	POP	10	010	店長推薦	呼出	POP	10	POP	0
POP														
10														
POP														
0														
POP														
10														
010	店長推薦													
呼出														
POP														
10														
POP														
0														
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td style="background-color: #cccccc;">保存方法</td></tr> <tr><td>10</td></tr> </table>	保存方法	10	<ul style="list-style-type: none"> ●数値入力後にタッチすると、保存方法を変更することができます。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー   ► <table border="1" style="display: inline-table; text-align: center;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">保存方法</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; text-align: center;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">保存方法</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">保存方法 No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのままタッチすると、保存方法一覧表示画面が表示されます。 ●表示項目にタッチ、あるいは数値入力にて、保存方法が設定されます。 <p style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; text-align: center;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">010</td><td>直射日光を避けてください。</td></tr></table> または、ストロークキー   ► <table border="1" style="display: inline-table; text-align: center;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">呼出</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">保存方法 No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設定を解除する場合は、「0」入力後にタッチします。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー  ► <table border="1" style="display: inline-table; text-align: center;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">保存方法</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; text-align: center;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">保存方法</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center;">  参照 : 「保存方法登録」については、4-22ページ参照。 </p>	保存方法	0	保存方法	10	010	直射日光を避けてください。	呼出	保存方法	10	保存方法	0
保存方法														
10														
保存方法														
0														
保存方法														
10														
010	直射日光を避けてください。													
呼出														
保存方法														
10														
保存方法														
0														
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td style="background-color: #cccccc;">入数</td></tr> <tr><td>1</td></tr> </table>	入数	1	<ul style="list-style-type: none"> ●数値入力後にタッチすると、コンテナ入数を設定することができます。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー  ► <table border="1" style="display: inline-table; text-align: center;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">入数</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; text-align: center;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">入数</td></tr><tr><td>1</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">入数</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設定を解除する場合は、「0」入力後にタッチします。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー  ► <table border="1" style="display: inline-table; text-align: center;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">入数</td></tr><tr><td>1</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; text-align: center;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">入数</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> </p>	入数	0	入数	1	入数	1	入数	0			
入数														
1														
入数														
0														
入数														
1														
入数														
1														
入数														
0														


数値ファンクションキー	はたらきと使いかた
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">保存温度</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">2</div>	<p>●数値入力後にタッチすると、保存温度を変更することができます。</p> <p>ストロークキー  ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">保存温度 0</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">保存温度 2</div></p> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">保存温度 No.</p> <p>●そのままタッチすると、保存温度一覧表示画面が表示されます。</p> <p>●表示項目にタッチ、あるいは数値入力にて、保存温度が設定されます。</p> <p><div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">02</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">保存温度4℃以下</div> または、ストロークキー  ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">呼出</div></p> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">保存温度</p> <p>●設定を解除する場合は、「0」入力後にタッチします。</p> <p>ストロークキー  ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">保存温度 2</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">保存温度 0</div></p> <p> 参照 : 「保存温度登録」については、4-22ページ参照。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">産地名</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;"></div>	<p>●数値入力後にタッチすると、産地名を変更することができます。</p> <p>ストロークキー   ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">産地名</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">産地名 長野県</div> ※ 産地名を3文字まで表示</p> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">産地名 No.</p> <p>●そのままタッチすると、産地名一覧表示画面が表示されます。</p> <p>●表示項目にタッチ、あるいは数値入力にて、産地名が設定されます。</p> <p><div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">010</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">長野県産</div> または、ストロークキー   ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">呼出</div></p> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">産地名 No.</p> <p>●設定を解除する場合は、「0」入力後にタッチします。</p> <p>ストロークキー  ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">産地名 長野県</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">産地名</div></p> <p> 参照 : 「産地名登録」については、4-22ページ参照。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">コメント</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">10</div>	<p>●数値入力後にタッチすると、保存方法を変更することができます。</p> <p>ストロークキー   ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">コメント 0</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">コメント 10</div></p> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">コメント No.</p> <p>●そのままタッチすると、コメント一覧表示画面が表示されます。</p> <p>●表示項目にタッチ、あるいは数値入力にて、保存方法が設定されます。</p> <p><div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">010</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">塩焼き、バター焼きに最適!</div> または、ストロークキー   ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">呼出</div></p> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">コメント No.</p> <p>●設定を解除する場合は、「0」入力後にタッチします。</p> <p>ストロークキー  ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">コメント 10</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">コメント 0</div></p> <p> 参照 : 「コメント登録」については、4-22ページ参照。</p>

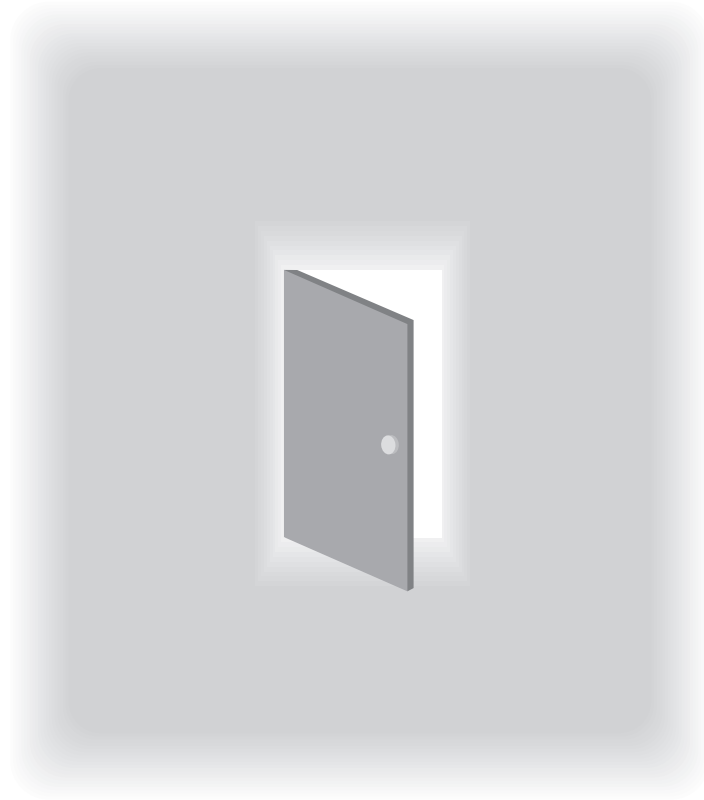
数値ファンクションキー	はたらきと使いかた
<div data-bbox="135 304 264 394" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> コンテナフォーマット 1 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●コンテナラベルのフォーマットNo.が表示されます。 ●数値入力後にタッチすると、コンテナフォーマットNo.を設定することができます。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>ストロークキー  → コンテナフォーマット 0 → コンテナフォーマット 1</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">コンテナフォーマット</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●設定を解除する場合は、「0」入力後にタッチします。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>ストロークキー  → コンテナフォーマット 1 → コンテナフォーマット 0</p> </div>
<div data-bbox="135 680 264 770" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 担当者 石田太郎 </div> <p>※拡張仕様のみ表示されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●通常モードログイン時に入力した担当者を表示します。 ●商品呼び出ししていない状態でのみ担当者を変更することができます。 <p>注 記 : 運用については、販売元の担当者にご相談ください。</p>
<div data-bbox="135 882 264 972" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 納品日 2011/12/25 </div> <p>※拡張仕様のみ表示されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●商品の納品日（店着日）を表示します。 ●日付入力後にタッチすると、納品日を設定することができます。
<div data-bbox="135 1077 264 1167" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 便記号文字 あいうえ </div> <p>※拡張仕様のみ表示されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●商品マスタに登録されている便別の便記号文字を表示します。変更はできません。

数値ファンクションキー	はたらきと使いかた																				
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td style="background-color: #cccccc;">レジコード</td></tr> <tr><td>10</td></tr> </table>	レジコード	10	<ul style="list-style-type: none"> ●数値入力後にタッチすると、レジコードを設定することができます。 <p style="text-align: center;">ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td></tr></table> ▶ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">レジコード</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">レジコード</td></tr><tr><td>10</td></tr></table></p> <p style="text-align: center; font-size: small;">レジコード No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設定を解除する場合は、「0」入力後にタッチします。 <p style="text-align: center;">ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td></tr></table> ▶ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">レジコード</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">レジコード</td></tr><tr><td>0</td></tr></table></p>	1	0	レジコード	0	レジコード	10	0	レジコード	10	レジコード	0							
レジコード																					
10																					
1																					
0																					
レジコード																					
0																					
レジコード																					
10																					
0																					
レジコード																					
10																					
レジコード																					
0																					
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td style="background-color: #cccccc;">イメージ1</td></tr> <tr><td>10</td></tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td style="background-color: #cccccc;">イメージ2</td></tr> <tr><td>20</td></tr> </table> <p>※ 副ラベラ発行設定時に使用します。</p>	イメージ1	10	イメージ2	20	<ul style="list-style-type: none"> ●数値入力後にタッチすると、イメージを設定することができます。 <p style="text-align: center;">ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td></tr></table> ▶ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">イメージ1</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">イメージ1</td></tr><tr><td>10</td></tr></table></p> <p style="text-align: center; font-size: small;">イメージ No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのままタッチすると、「生産（イメージ一覧）」画面が表示されます。（「生産（イメージ一覧）」画面には、10・24・36項目表示があり、前回使用した画面が表示されます。） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td style="width: 20%;">10</td><td style="text-align: center;">★ 産地直送</td></tr> </table> </div> <p style="text-align: center;">または、 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td></tr></table> ▶ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>呼出</td></tr></table></p> <p style="text-align: center; font-size: small;">イメージ No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設定を解除する場合は、「0」入力後にタッチします。 <p style="text-align: center;">ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td></tr></table> ▶ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">イメージ1</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">イメージ1</td></tr><tr><td>0</td></tr></table></p> <p style="text-align: center; font-size: small;">※イメージ一覧画面で「名称」を選択すると、販促イメージとして登録された名称を表示します。</p> <p style="text-align: center;"> 参照 : 「イメージ登録」については、販売元の担当者にご相談ください。 </p>	1	0	イメージ1	0	イメージ1	10	10	★ 産地直送	1	0	呼出	0	イメージ1	10	イメージ1	0
イメージ1																					
10																					
イメージ2																					
20																					
1																					
0																					
イメージ1																					
0																					
イメージ1																					
10																					
10	★ 産地直送																				
1																					
0																					
呼出																					
0																					
イメージ1																					
10																					
イメージ1																					
0																					
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td style="background-color: #cccccc;">原材料</td></tr> <tr><td>10</td></tr> </table>	原材料	10	<ul style="list-style-type: none"> ●数値入力後にタッチすると、原材料No.を設定することができます。 <p style="text-align: center;">ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td></tr></table> ▶ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">原材料</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">原材料</td></tr><tr><td>10</td></tr></table></p> <p style="text-align: center; font-size: small;">原材料No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのままタッチすると、「生産（原材料一覧）」画面が表示されます。 ●表示項目にタッチ、あるいはストロークキーによる数値入力にて、原材料No.が設定されます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td style="width: 20%;">0010</td><td>調味料（アミノ酸など）、着色料（赤102）</td></tr> </table> </div> <p style="text-align: center;">または、ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td></tr></table> ▶ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>呼出</td></tr></table></p> <p style="text-align: center; font-size: small;">原材料 No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設定を解除する場合は、「0」入力後にタッチします。 <p style="text-align: center;">ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td></tr></table> ▶ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">原材料</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">原材料</td></tr><tr><td>0</td></tr></table></p> <p style="text-align: center;"> 参照 : 「原材料登録」については、4-20ページ参照。 </p>	1	0	原材料	0	原材料	10	0010	調味料（アミノ酸など）、着色料（赤102）	1	0	呼出	0	原材料	10	原材料	0		
原材料																					
10																					
1																					
0																					
原材料																					
0																					
原材料																					
10																					
0010	調味料（アミノ酸など）、着色料（赤102）																				
1																					
0																					
呼出																					
0																					
原材料																					
10																					
原材料																					
0																					

数値ファンクションキー	はたらきと使いかた																		
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td style="background-color: #cccccc;">カロリー</td></tr> <tr><td>10</td></tr> </table>	カロリー	10	<ul style="list-style-type: none"> ●数値入力後にタッチすると、カロリーを設定することができます。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>1</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>0</td></tr></table> ▶ <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">カロリー</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">カロリー</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center; font-size: small;">カロリー No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのままタッチすると、「生産（カロリー一覧）」画面が表示されます。 ●表示項目にタッチ、あるいはストロークキーによる数値入力にて、カロリーが設定されます。 <p style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 5px;"><tr><td>0010</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 5px;"><tr><td>100Kcal</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center;"> または、ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>1</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>0</td></tr></table> ▶ <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>呼出</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center; font-size: small;">カロリー No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設定を解除する場合は、「0」入力後にタッチします。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>0</td></tr></table> ▶ <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">カロリー</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">カロリー</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> </p>	1	0	カロリー	0	カロリー	10	0010	100Kcal	1	0	呼出	0	カロリー	10	カロリー	0
カロリー																			
10																			
1																			
0																			
カロリー																			
0																			
カロリー																			
10																			
0010																			
100Kcal																			
1																			
0																			
呼出																			
0																			
カロリー																			
10																			
カロリー																			
0																			
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td style="background-color: #cccccc;">フリー1</td></tr> <tr><td>10</td></tr> </table>	フリー1	10	<ul style="list-style-type: none"> ●数値入力後にタッチすると、フリー1を設定することができます。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>1</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>0</td></tr></table> ▶ <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">フリー1</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">フリー1</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center; font-size: small;">フリー1 No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのままタッチすると、「生産（フリー1一覧）」画面が表示されます。 ●表示項目にタッチ、あるいはストロークキーによる数値入力にて、フリー1が設定されます。 <p style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 5px;"><tr><td>0010</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 5px;"><tr><td>天然</td></tr></table> または、ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>1</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>0</td></tr></table> ▶ <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>呼出</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center; font-size: small;">フリー1 No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設定を解除する場合は、「0」入力後にタッチします。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>0</td></tr></table> ▶ <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">フリー1</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">フリー1</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> </p> <p>※フリー2～5についても同じ操作です。</p>	1	0	フリー1	0	フリー1	10	0010	天然	1	0	呼出	0	フリー1	10	フリー1	0
フリー1																			
10																			
1																			
0																			
フリー1																			
0																			
フリー1																			
10																			
0010																			
天然																			
1																			
0																			
呼出																			
0																			
フリー1																			
10																			
フリー1																			
0																			
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td style="background-color: #cccccc;">部位</td></tr> <tr><td>10</td></tr> </table>	部位	10	<ul style="list-style-type: none"> ●数値入力後にタッチすると、部位を設定することができます。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>1</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>0</td></tr></table> ▶ <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">部位</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">部位</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center; font-size: small;">部位 No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのままタッチすると、「生産（部位一覧）」画面が表示されます。 ●表示項目にタッチ、あるいはストロークキーによる数値入力にて、部位が設定されます。 <p style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 5px;"><tr><td>0010</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 5px;"><tr><td>ロース</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center;"> または、ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>1</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>0</td></tr></table> ▶ <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>呼出</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center; font-size: small;">部位 No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設定を解除する場合は、「0」入力後にタッチします。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>0</td></tr></table> ▶ <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">部位</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">部位</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> </p>	1	0	部位	0	部位	10	0010	ロース	1	0	呼出	0	部位	10	部位	0
部位																			
10																			
1																			
0																			
部位																			
0																			
部位																			
10																			
0010																			
ロース																			
1																			
0																			
呼出																			
0																			
部位																			
10																			
部位																			
0																			

数値ファンクションキー	はたらきと使いかた																	
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td style="background-color: #cccccc;">原産国</td></tr> <tr><td>10</td></tr> </table>	原産国	10	<ul style="list-style-type: none"> ●数値入力後にタッチすると、原産国を設定することができます。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>1</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>0</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">原産国</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">原産国</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center; font-size: small;">原産国 No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのままタッチすると、「生産（原産国一覧）」画面が表示されます。 ●表示項目にタッチ、あるいはストロークキーによる数値入力にて、原産国が設定されます。 <p style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 5px;"><tr><td>0010</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; width: 200px; height: 20px;">アメリカ</table> </p> <p style="text-align: center;"> または、ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>1</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>0</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>呼出</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center; font-size: small;">原産国 No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設定を解除する場合は、「0」入力後にタッチします。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>0</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">原産国</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">原産国</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> </p>	1	0	原産国	0	原産国	10	0010	1	0	呼出	0	原産国	10	原産国	0
原産国																		
10																		
1																		
0																		
原産国																		
0																		
原産国																		
10																		
0010																		
1																		
0																		
呼出																		
0																		
原産国																		
10																		
原産国																		
0																		
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td style="background-color: #cccccc;">原産地</td></tr> <tr><td>10</td></tr> </table>	原産地	10	<ul style="list-style-type: none"> ●数値入力後にタッチすると、原産地を設定することができます。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>1</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>0</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">原産地</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">原産地</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center; font-size: small;">原産地 No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのままタッチすると、「生産（原産地一覧）」画面が表示されます。 ●表示項目にタッチ、あるいはストロークキーによる数値入力にて、原産地が設定されます。 <p style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 5px;"><tr><td>0010</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; width: 200px; height: 20px;">中国産</table> </p> <p style="text-align: center;"> または、ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>1</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>0</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>呼出</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center; font-size: small;">原産地 No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設定を解除する場合は、「0」入力後にタッチします。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>0</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">原産地</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">原産地</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> </p>	1	0	原産地	0	原産地	10	0010	1	0	呼出	0	原産地	10	原産地	0
原産地																		
10																		
1																		
0																		
原産地																		
0																		
原産地																		
10																		
0010																		
1																		
0																		
呼出																		
0																		
原産地																		
10																		
原産地																		
0																		
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td style="background-color: #cccccc;">上フォーマット</td></tr> <tr><td>10</td></tr> </table>	上フォーマット	10	<ul style="list-style-type: none"> ●数値入力後にタッチすると、上貼ラベルのフォーマットを切り替えることができます。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>1</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>0</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">上フォーマット</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">上フォーマット</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> </p> <p style="text-align: center; font-size: small;">フォーマット No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設定を解除する場合は、「0」入力後にタッチします。 <p style="text-align: center;"> ストロークキー <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td>0</td></tr></table> <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">上フォーマット</td></tr><tr><td>10</td></tr></table> → <table border="1" style="display: inline-table; margin: 0 5px;"><tr><td style="background-color: #cccccc;">上フォーマット</td></tr><tr><td>0</td></tr></table> </p> <p style="margin-top: 10px;"> 参照 : 「フォーマット設定」については、販売元の担当者にご相談ください。 </p>	1	0	上フォーマット	0	上フォーマット	10	0	上フォーマット	10	上フォーマット	0				
上フォーマット																		
10																		
1																		
0																		
上フォーマット																		
0																		
上フォーマット																		
10																		
0																		
上フォーマット																		
10																		
上フォーマット																		
0																		

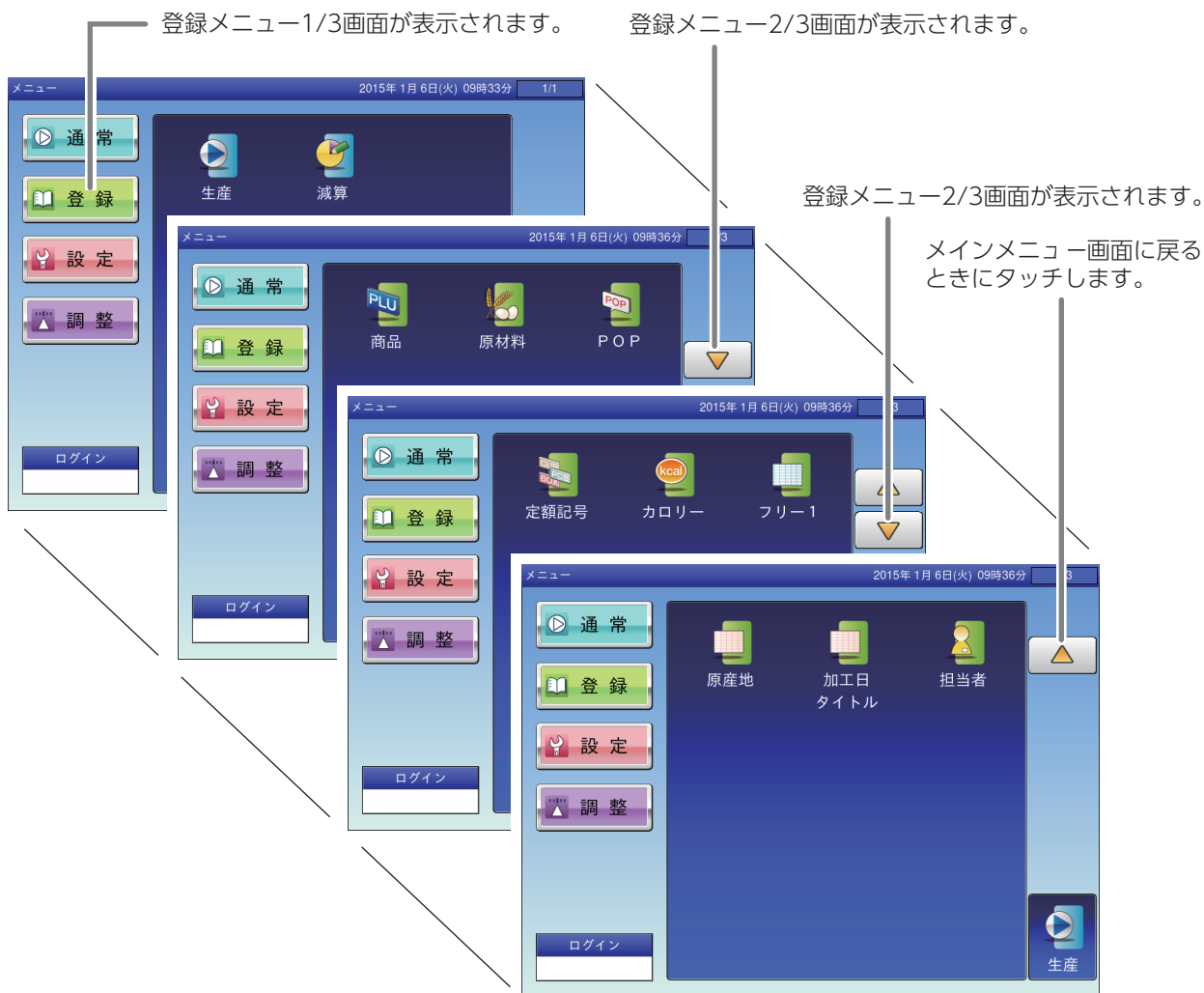
数値ファンクションキー	はたらきと使いかた
<div data-bbox="145 315 277 405" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">裏フォーマット</div> <div data-bbox="193 371 229 398" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 20px; margin: 0 auto;">10</div>	<p>●数値入力後にタッチすると、裏貼ラベルのフォーマットを切り替えることができます。</p> <p>ストロークキー 1 0 ▶ <div data-bbox="759 349 876 416" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">裏フォーマット 0</div> → <div data-bbox="943 349 1059 416" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">裏フォーマット 10</div></p> <p style="text-align: center; font-size: 0.8em;">フォーマット No.</p> <p>●設定を解除する場合は、「0」入力後にタッチします。</p> <p>ストロークキー 0 ▶ <div data-bbox="759 501 876 568" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">裏フォーマット 10</div> → <div data-bbox="943 501 1059 568" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">裏フォーマット 0</div></p> <p> 参照 : 「フォーマット設定」については、販売元の担当者にご相談ください。</p>



第4章

各データの登録のしかた

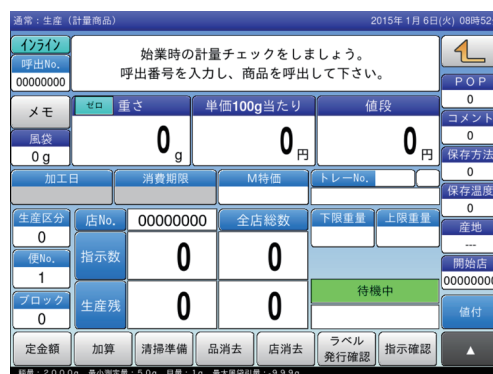
登録モードに切り替えます



1. 通常画面の「戻る」をタッチします。



メインメニュー画面が表示されます。



2. メインメニュー画面で「登録」をタッチします。



登録メニュー画面が表示されます。



登録メニュー画面を開くための暗証番号が設定されている場合は、暗証番号 (6桁) 入力後、「登録」をタッチします。暗証番号の設定は、5-4 ページ「暗証番号設定」をご覧ください。

商品登録

商品の名称、およびその商品に付随するデータ（定単価、定金額、レジコード、POP 番号など）を登録します。

商品データ登録

ここでは商品データを登録する手順について説明します。

1. 登録メニュー画面の「商品」をタッチします。



商品登録画面が表示されます。



2. 商品の呼出 No. を入力します。



「▲」「▼」「▲」「▼」をタッチして、商品データを選択することもできます。

詳しくは、前項「定単価／定金額／特価の変更」をご覧ください。

【例】新規登録の場合

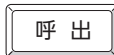
まだ未登録の呼出No.を入力後、「呼出」キーを押します。



商品データ登録1/8の画面が表示されます。

【例】登録済みの商品データを修正する場合

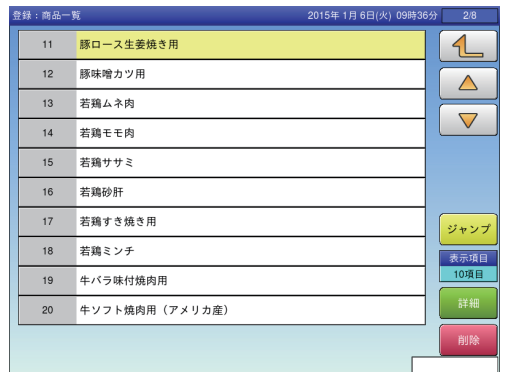
修正する商品データの呼出No.を入力後、「呼出」キーを押します。



商品登録画面で商品が選択された状態で、「詳細」をタッチします。



商品データ登録1/8の画面が表示されます。



3. 各項目を登録します。

登録方法については、次ページ以降の「商品データ登録画面 1/8 ～ 8/8」をご覧ください。



4. 商品データの登録、変更操作を終了します。



商品データが保存され、商品登録画面へ戻ります。

5. 商品データ登録を終了します。





登録メニュー画面へ戻ります。

● 商品データ登録画面 1/8

下記の表に入力例をまとめます。必要な登録項目を選択して入力してください。



項目	例	操作
商品名	商品名と添加物名を登録します。	<ol style="list-style-type: none"> 画面右上の 編集 をタッチし、商品名登録画面にします。 商品名を入力します。 続けて添加物を入力するときは 大文字 をタッチし、表示を 添加物 に変更します。 添加物名入力可能な状態になります。 詳しくは、4-32ページ「文字入力のしかた」をご覧ください。 戻る をタッチすると商品データ登録画面に戻ります。
計量モード	計量モードを登録します。	計量の場合 → “0：計量” 定額の場合 → “1：定額” 定単価の場合 → “2：定単価” 逆算単価の場合 → “3：逆算単価” ※ “3：逆算単価” は、拡張仕様のみ表示されます。
単価	単価「500円」を登録します。 ※ 計量モードを“1：定額”および“3：逆算単価”に登録した場合には必要ありません。	単価は、最大5桁（0～99999）まで入力できます。 
定金額	定金額「800円」を登録します。	定金額は最大5桁（0～99999）まで入力できます。  （「定金額」欄のグループ列）
M特価モード	M特価モードを登録します。 ※ この登録項目は、M特価が“0”以外の場合のみ有効です。	M特価（マークダウンの金額の場合 → “1：M特価” ー円（値引き額）の場合 → “2：ー円” ー%（値引き率）の場合 → “3：ー%” M単価（マークダウン単価）の場合 → “4：M単価”

項目	例	操作
M特価	通常金額800円の商品を特売金額720円で登録します。	1.「M特価」欄の任意のグループ列をタッチして、選択画面を表示します。 2.値数入力後、M特価フラグを登録します。
		M特価なしの場合 <input type="text" value="なし"/>
		M特価表示の場合（最大5桁） <input type="text" value="7"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="M特価"/>
		一円表示の場合（最大5桁） <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="一円"/>
		一％表示の場合（最大2桁） <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="一％"/>
		M単価表示の場合（最大5桁） <input type="text" value="7"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="M単価"/>
金額入力タイプ	商品ごとの単価/定金額の入力タイプを登録します。	店マスタの設定を有効にする場合 → “0：店参照” 税無の単価、定金額で登録する場合 → “1：税無” 税抜の単価、定金額で登録する場合 → “2：税抜” ・総額 = (税抜100g単価 × 税率) × 重量 ・総額 = 税抜定金額 × 税率 税込の単価、定金額で登録する場合 → “3：税込” ・総額 = 税込100g単価 × 重量 ・総額 = 税込定金額 × 税率 税無の単価、定金額で登録する場合 → “4：後掛” ・総額 = (税抜100g単価 × 重量) × 税率 ・総額 = 税抜定金額 × 税率
端数処理 税抜→税込 金額演算時 ※この登録項目は、「入力タイプ」で“税抜”および“後掛”を登録した場合のみ有効です。	税抜の価格に税率を掛けた際に発生する端数の処理方法を登録します。	店マスタの設定を有効にする場合 → “0：店参照” 端数を切り捨てる場合 → “1：切り捨て” 端数を切り上げる場合 → “2：切り上げ” 端数を四捨五入する場合 → “3：四捨五入”
税込→税抜 金額演算時 ※この登録項目は、本体価格を表示する場合のみ有効です。	税込の価格から本体価格（税抜）を計算した際に発生する端数の処理方法を登録します。	店マスタの設定を有効にする場合 → “0：店参照” 端数を切り捨てる場合 → “1：切り捨て” 端数を切り上げる場合 → “2：切り上げ” 端数を四捨五入する場合 → “3：四捨五入”
端数処理桁位置 税抜→税込 金額演算時 ※この登録項目は、「端数処理選択」の「税抜き→税込演算時」で“切り上げ”を登録した場合のみ有効です。	端数処理を行う際の桁位置を登録します。	店マスタの設定を有効にする場合 → “0：店参照” 端数処理桁位置を小数点第1位に設定する場合 → “1：小数点1位” 端数処理桁位置を小数点第2位に設定する場合 → “2：小数点2位”
税込→税抜 金額演算時 ※この登録項目は、本体価格を表示する場合のみ有効です。	端数処理を行う際の桁位置を登録します。	店マスタの設定を有効にする場合 → “0：店参照” 端数処理桁位置を小数点第1位に設定する場合 → “1：小数点1位” 端数処理桁位置を小数点第2位に設定する場合 → “2：小数点2位”
バーコード反映金額	バーコードに印字する金額表示を登録します。	店マスタの設定を有効にする場合 → “0：店参照” 税抜価格に設定する場合 → “1：本体価格” 税込価格に設定する場合 → “2：税込価格”

● 商品データ登録画面 2/8

下記の表に入力例をまとめます。必要な登録項目を選択して入力してください。

商品名が表示されます。
タッチすると次の商品
呼び出します。

商品名登録画面が
表示されます。

登録メニュー画面に
戻るときにタッチします。

項目	例	操作
定重量	定重量「160g」を登録します。	定重量は、最大4桁（0～9999）まで入力できます。 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="6"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> （「定重量」欄のグループ列）
風袋重量	風袋引き重量（副材重量）「20g」を登録します。	風袋は、最大3桁（0～999）まで入力できます。 <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> （「風袋重量」欄のグループ1の列）
下限重量	下限重量「300g」を登録します。	下限重量は、最大4桁（0～9999）まで入力できます。 <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> （「下限重量」欄のグループ1の列）
上限重量	上限重量「500g」を登録します。	上限重量は、最大4桁（0～9999）まで入力できます。 <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> （「上限重量」欄のグループ1の列）
定額記号	商品の定額記号「1枚」を登録します。	1. <input type="text" value="定額記号"/> をタッチし、定額記号一覧画面を表示させます。 2. 定額記号と記号 <input type="text" value="枚"/> をタッチします。
定額個数	商品の定額個数「1/2個」を登録します。	定額個数は、最大3桁（0～999）まで入力できます。 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="7"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="定額個数"/> ※分数の場合は分子・分母それぞれ1桁入力となります。
POSフラグ参照	POS フラグ参照を登録します。	機械設定を有効にする場合 → “0：参照” 商品マスタを有効にする場合 → “1：商品マスタ”

項目	例	操作
POSコード体系	POSコード体系を登録します。	機械設定を有効にする場合 → “0：参照” NonPLU13に設定する場合 → “1：NonPLU13” NonPLU8に設定する場合 → “2：NonPLU8” PLU13に設定する場合 → “3：PLU13” PLU8に設定する場合 → “4：PLU8”
POSコード種類	POSコードの種類を選択します。	「POSコード種類」欄の任意のグループ列をタッチすると、 選択画面が表示されます。
		機械設定を有効にする場合 参照
		標準を5桁に設定する場合 標準5桁
		C/Pを含む6桁に設定する場合 C/P含6桁
		F/Gを含む6桁に設定する場合 F/G含6桁
		C/P金額5に設定する場合 C/P金額5
		CD6金額5に設定する場合 CD6金額5
POSフラグ	POSフラグ「2」を登録します。	POSフラグは、最大2桁（0～99）まで入力できます。 2 （「POSフラグ」欄の任意のグループ列）
POSコード	POSコード「123456789」を登録します。	POSコードは、最大10桁（0～999999999）まで入力できます。 1 2 3 4 5 6 7 8 9 （「POSコード」欄の任意のグループ列）
商品コード	商品コード「12345678」を登録します。	商品コードは、最大8桁（0～99999999）まで入力できます。 1 2 3 4 5 6 7 8 商品コード

● 商品データ登録画面 3/8

下記の表に入力例をまとめます。必要な登録項目を選択して入力してください。

商品名が表示されます。タッチすると次の商品呼び出します。

商品名登録画面が表示されます。

登録メニュー画面に戻るときにタッチします。

項目	例	操作
POPNo.	POP No. 「7」 を登録します。	<p> <input type="text" value="7"/> (「POP No.」欄の任意のグループ列) POP No.が分からないときは「POP No.」欄の任意のグループ列をタッチして、POP一覧画面を表示し、選択してください。 ※あらかじめPOP登録にて、POPを登録しておいてください。 </p>
コメントNo.	コメントNo. 「53」 を登録します。	<p> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="3"/> (「コメントNo.」欄の任意のグループ列) コメントNo.が分からないときは「コメントNo.」欄の任意のグループ列をタッチして、コメント一覧画面を表示し、選択してください。 ※あらかじめコメント登録にて、コメントを登録しておいてください。 </p>
産地No.	産地No. 「3」 を登録します。	<p> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="産地No."/> 産地No.が分からないときは「産地No.」欄をタッチして、産地一覧画面を表示し、選択してください。 </p>
原材料No.	原材料No. 「20」 を登録します。	<p> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="原材料No."/> 原材料No.は、標準仕様で最大4桁 (0~9999) 、拡張仕様で最大8桁 (0~99999999) まで入力できます。 原材料No.が分からないときは「原材料No.」欄をタッチして、原材料一覧画面を表示し、選択してください。 </p>

項目	例	操作
保存温度No.	保存温度No. 「3」 を登録します。	保存温度No.は、最大2桁（0～99）まで入力できます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">保存温度No.</div> 保存温度No.が分からないときは「保存温度No.」欄をタッチして、保存温度一覧画面を表示し、選択してください。
保存方法No.	保存方法No. 「3」 を登録します。	保存方法No.は、最大2桁（0～99）まで入力できます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">保存方法No.</div> 保存方法No.が分からないときは「保存方法No.」欄をタッチして、保存方法一覧画面を表示し、選択してください。
フリー1～フリー5No.	フリー1～5を登録します。	フリー1～5は、最大2桁（0～9999）まで入力できます。 【例】フリー1に「1」を登録する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">フリー1</div> フリー1～5が分からないときは「フリー1」欄をタッチして、フリー一覧画面を表示し、選択してください。
カロリーNo.	カロリーNo. 「17」 を登録します。	カロリーNo.は、標準仕様で最大4桁（0～9999）、拡張仕様で最大8桁（0～99999999）まで入力できます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">7</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">カロリーNo.</div> カロリーNo.が分からないときは「カロリーNo.」欄をタッチして、カロリー一覧画面を表示し、選択してください。
金検No.	金検No.に「5」を登録します。	金検No.は、最大2桁（0～20）まで入力できます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">5</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">金検No.</div>
IX予約No.	IX予約No.に「42」を登録します。	IX予約No.は、最大3桁まで入力できます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">4</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">IX予約No.</div>

● 商品データ登録画面 4/8

下記の表に入力例をまとめます。必要な登録項目を選択して入力してください。

商品名が表示されます。タッチすると次の商品呼び出します。

商品名登録画面が表示されます。

登録メニュー画面に戻るときにタッチします。

項目	例	操作
イメージNo.1	アイキャッチイメージラベルに印字されるイメージ1No. 「10」 を登録します。	イメージ1No.は、最大2桁 (0~99) まで入力できます。 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="イメージ1No."/> イメージ1No.が分からないときは「イメージ1No.」欄をタッチして、イメージ1一覧画面を表示し、選択してください。
イメージNo.1	アイキャッチイメージラベルに印字されるイメージ1No. 「10」 を登録します。	イメージ1No.は、最大2桁 (0~99) まで入力できます。 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="イメージ2No."/> イメージ2No.が分からないときは「イメージ2No.」欄をタッチして、イメージ2一覧画面を表示し、選択してください。
包装容器No.	包装容器No. 「10」 を登録します。	包装容器No.は、最大2桁 (0~99) まで入力できます。 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="包装容器No."/> 包装容器No.が分からないときは「包装容器No.」欄をタッチして、包装容器一覧画面を表示し、選択してください。
加工日タイトルNo.	加工日タイトルNo. 「5」 を登録します。	加工日タイトルNo.は、最大2桁 (0~99) まで入力できます。 <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="加工日タイトルNo."/> 加工日タイトルNo.が分からないときは「加工日タイトルNo.」欄をタッチして、加工日タイトル一覧画面を表示し、選択してください。

項目	例	操作
加工者・販売者 <small>※この登録項目は、拡張仕様のみ表示されます。</small>	加工者、販売者を登録します。	店舗で指定されたグループNo.に従う場合 → “0：参照” 店舗マスタのNo.999999991の登録内容を参照する場合 → “1：自社名1” 店舗マスタのNo.999999992の登録内容を参照する場合 → “2：自社名2” 店舗マスタのNo.999999993の登録内容を参照する場合 → “3：自社名3” 店舗マスタのNo.999999994の登録内容を参照する場合 → “4：自社名4” 店舗マスタのNo.999999995の登録内容を参照する場合 → “5：自社名5”
店タイトルNo.	店タイトルNo. 「2」 を登録します。	店タイトルNo.は、最大2桁（0～99）まで入力できます。 [2] [店タイトルNo.] 店タイトルNo.が分からないときは「店タイトルNo.」欄をタッチして、加工日タイトル一覧画面を表示し、選択してください。
レジコード	レジコード 「12」 を登録します。	レジコードは、最大3桁（0～999）まで入力できます。 [1] [2] [] (「レジコード」欄の任意のグループ列)
分類No. <small>※この登録項目は、本機では無効です。</small>	未使用。	
入数	コンテナ入数に 「13」 を登録します。	入数は、最大2桁（0～99）まで入力できます。 [1] [3] [入数]
識別印字	個体識別No.、ロットNo.の印字を登録します。	個体識別No.、ロットNo.を印字する場合 → “0：印字あり” 個体識別No.、ロットNo.を印字しない場合 → “1：印字無し” 個体識別No.のみ印字する場合 → “2：個体印字” ロットNo.のみ印字する場合 → “3：ロット印字”
品種No. <small>※この登録項目は、本機では無効です。</small>	未使用。	
製造元工場記号 <small>※この登録項目は、本機では無効です。</small>	未使用。	

● 商品データ登録画面 5/8

下記の表に入力例をまとめます。必要な登録項目を選択して入力してください。

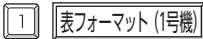



商品名が表示されます。
タッチすると次の商品
呼び出します。

商品名登録画面が
表示されます。



登録メニュー画面に
戻るときにタッチします。

項目	例	操作
上貼プリンタ 選択	上貼ラベルの発行を選択します。	上貼プリンタ選択 をタッチすると、選択画面が表示されます。
		店マスタの設定を有効にする場合 店参照
		上貼1連目からのみ発行する場合 1連のみ発行
		上貼2連目からのみ発行する場合 2連のみ発行
		上貼1連目、2連目の両方から発行する場合 1+2発行
	発行しない場合 発禁	
1連下印字選択 ※ この登録項目は、 AW、ATWタイプ 場合のみ有効です。	下貼1連目からのラベルの印字を選択 します。	1連下印字選択 をタッチすると、選択画面が表示されます。
		店マスタの設定を有効にする場合 店参照
		発行しない場合 なし
		バーコードラベルを発行する場合 バーコード
		添加物ラベルを発行する場合 添加物のみ
		添加物+バーコードラベルを発行する場合 添加物+バー
		一括ラベルを発行する場合 一括
		一括+バーコードラベルを発行する場合 一括+バー
表バー印字	表貼りラベルの1枚目にバーコード 印字の有無を登録します。	バーコード印字なしの場合 → “0：なし” バーコード印字ありの場合 → “1：あり”

項目	例	操作
発行モード	すべてのラベルの発行許可を登録します。	ラベル発行ありの場合 → “0：発行” ラベル発行禁止の場合 → “1：発禁”
表貼種類	表貼りラベルの発行形態（プリンタ・フォーマット・カセット）を固定する場合に使用します。	参照の場合 → “0：参照” 固定の場合 → “1：固定”
アイキャッチ動作モード	アイキャッチラベルの動作パターンを登録します。	プリンタ選択の設定に従う場合 → “0：通常” 常時イメージの場合 → “1：常時イメージ” 条件イメージの場合 → “2：条件イメージ” 常時プライスの場合 → “3：常時プライス” 条件プライスの場合 → “4：条件プライス” よりどりの場合 → “5：よりどり” 帯ラベルの場合 → “6：帯ラベル” ※ご使用については、販売元の担当者にご連絡ください。
1連上フォーマット No.	表貼りラベルのフォーマット（1号機）「1」を登録します。 商品ごとに特殊なフォーマットを利用する場合のみ登録して下さい。	表フォーマット（1号機）は、最大2桁（0～99）まで入力できます。 
2連上フォーマット No.	表貼りラベルのフォーマット（2号機）「2」を登録します。 商品ごとに特殊なフォーマットを利用する場合のみ登録して下さい。	表フォーマット（2号機）は、最大2桁（0～99）まで入力できます。 
裏フォーマット	裏貼りラベルのフォーマット No. 「1」を登録します。 商品ごとに特殊なフォーマットを利用する場合のみ登録して下さい。	裏フォーマットは、最大2桁（0～99）まで入力できます。 
コンテナフォーマット	コンテナラベルのフォーマット No. 「1」を登録します。 商品ごとに特殊なフォーマットを利用する場合のみ登録して下さい。 ※この登録項目はオプションのコンテナプリンタと連動時のみ有効です。	コンテナフォーマットは、最大2桁（0～99）まで入力できます。 
表貼発行	表貼りラベルの登録をします。	ラベル発行ありの場合 → “1：発行” ラベル発行禁止の場合 → “2：発禁”
裏貼発行	裏貼りラベルの登録をします。	ラベル発行ありの場合 → “1：発行” ラベル発行禁止の場合 → “2：発禁”
アイキャッチラベル発行	アイキャッチラベル発行の条件に合致したときも、この商品に限っては通常ラベルを発行させる場合に使用します。	ラベル発行ありの場合 → “1：発行” ラベル発行禁止の場合 → “2：発禁”

● 商品データ登録画面 6/8

下記の表に選択例をまとめます。必要な登録項目を選択してください。

商品名が表示されます。タッチすると次の商品呼び出します。

商品名登録画面が表示されます。

登録メニュー画面に戻るときにタッチします。



項目	例	操作
トレーNo.	トレーNo. 「18」 を登録します。	トレーNo.は、最大4桁 (0~9999) まで入力できます。 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="8"/> <input type="text" value=""/> (「トレーNo.」欄のグループ1の列) トレーNo.が分からないときは「トレーNo.」欄のグループ1の列をタッチして、イメージ一覧画面を表示し、選択してください。
コンベアスピード	コンベアスピードに「3」を登録します。	コンベアスピードは、0~5まで入力できます。 <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="コンベアスピード"/>
1連貼付位置	上貼1連目のラベルの貼り位置を選択します。	「1連目貼位置」欄のグループ1の列をタッチすると、選択画面が表示されます。
		トレーの右下にラベルを貼る場合 <input type="text" value="右下"/>
		トレーの右上にラベルを貼る場合 <input type="text" value="右上"/>
		トレー流れに対して直角にラベルを貼る場合 <input type="text" value="縦"/>
		トレーの左下にラベルを貼る場合 <input type="text" value="左下"/>
トレーの左上にラベルを貼る場合 <input type="text" value="左上"/>		

項目	例	操作
2連貼付位置 ※この登録項目は、AT、ATWタイプの場合のみ有効です。	上貼2連目のラベルの貼り位置を選択します。	「2連目貼位置」欄のグループ1の列をタッチすると、選択画面が表示されます。
		トレーの右下にラベルを貼る場合 <input type="button" value="右下"/>
		トレーの右上にラベルを貼る場合 <input type="button" value="右上"/>
		トレー流れに対して直角にラベルを貼る場合 <input type="button" value="縦"/>
		トレーの左下にラベルを貼る場合 <input type="button" value="左下"/>
		トレーの左上にラベルを貼る場合 <input type="button" value="左上"/>
貼機高さ	貼機高さに「1」を登録します。	貼機高さは、0～9まで入力できます。 <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="貼機高さ"/>
1連上カセット No.	上貼1連目のカセットNo.「2」を登録します。	プリンタがカセットの場合、この商品呼び出したときに、ここで設定されたカセットが使用されているかの確認に使用します。0を設定した場合、確認は行いません。 <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="1連上カセットNo"/>
2連上カセット No. ※ この登録項目は、AT、ATWタイプの場合のみ有効です。	上貼2連目のカセットNo.「2」を登録します。	プリンタがカセットの場合、この商品呼び出したときに、ここで設定されたカセットが使用されているかの確認に使用します。0を設定した場合、確認は行いません。 <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="2連上カセットNo"/>
1連下カセット No. ※ この登録項目は、AW、ATWタイプの場合のみ有効です。	下貼1連目のカセットNo.「2」を登録します。	プリンタがカセットの場合、この商品呼び出したときに、ここで設定されたカセットが使用されているかの確認に使用します。0を設定した場合、確認は行いません。 <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="1連下カセットNo"/>

● 商品データ登録画面 7/8

下記の表に選択例をまとめます。必要な登録項目を選択してください。

商品名が表示されます。
タッチすると次の商品
呼び出します。

商品名登録画面が
表示されます。

登録メニュー画面に
戻るときにタッチします。



項目	例	操作
加工日印字	加工日の印字を選択します。	「加工日印字」欄の任意の便列をタッチすると、選択画面が表示されます。
		ラベルに加工日を印字する場合 <input type="button" value="する"/>
		ラベルに加工日を印字しない場合 <input type="button" value="しない"/>
加工時刻印字	加工時刻印字を登録します。	印字なしの場合→“0：印字しない” 加工時刻指定の場合→“1：指定” 内蔵時計時刻の場合→“2：時計”
加工時刻	加工時刻「午前8時30分」を登録します。 ※この登録項目は、加工時刻印字に“1：指定”を登録した場合に有効です。	加工時刻は、0～2359(0:00～23:59)まで入力できます。 <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="0"/> <input type="button" value="加工時刻"/>
消費日印字	消費日印字を登録します。	消費日印字ありの場合→“1：する” 消費日印字なしの場合→“2：しない”
消費時刻印字	消費時刻印字を登録します。	消費時刻印字あり(〇〇：〇〇)の場合→“1：指定” 消費時刻印字あり(〇〇時間後)の場合→“2：相対” 消費時刻印字なしの場合→“0：印字しない” ※“1：指定”は拡張仕様のみ表示されます。
便記号文字	便記号文字を登録します。 ※ この登録項目は、拡張仕様のみ表示されます。	便記号文字は、最大4文字まで入力できます。 便記号文字欄をタッチすると文字入力画面が表示されます。 文字入力の方法については、本体取扱説明書を参照してください。

項目	例	操作
消費日期间	消費日期间「3日間」を登録します。	消費日期间は、最大4桁（0～9999）まで入力できます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="消費日期间"/> </div>
消費時刻	消費時刻「午後11時30分」を登録します。 ※この登録項目は、拡張仕様で消費時刻印字に“1：指定”を登録した場合に有効です。	消費時刻は、0～2359(0:00～23:59)まで入力できます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="消費時刻"/> </div>
	消費時刻「30時間後」を登録します。 ※この登録項目は、消費時刻印字に“2：相対”を登録した場合に有効です。	消費時刻は、最大4桁（0～9999）まで入力できます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="消費時刻"/> </div>
販売期限印字 ※ この登録項目は、拡張仕様のみ表示されます。	販売期限印字を登録します。	販売期限印字ありの場合→“1：する” 販売期限印字なしの場合→“2：しない”
販売期限 ※ この登録項目は、拡張仕様のみ表示されます。	販売期限「3日間」を登録します。 ※この登録項目は、販売期限印字に“1：する”を登録した場合に有効です。	販売期限は、最大4桁（0～9999）まで入力できます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="販売期限"/> </div>
販売時刻	販売時刻「午後11時30分」を登録します。 ※この登録項目は、販売時刻印字に“1：指定”を登録した場合に有効です。	販売時刻は、0～2359(0:00～23:59)まで入力できます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="消費時刻"/> </div>
	販売時刻「30時間後」を登録します。 ※この登録項目は、販売時刻印字に“2：相対”を登録した場合に有効です。	販売時刻は、最大4桁（0～9999）まで入力できます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="消費時刻"/> </div>

● 商品データ登録画面 8/8

下記の表に選択例をまとめます。必要な登録項目を選択してください。

商品名が表示されます。タッチすると次の商品呼び出します。

商品名登録画面が表示されます。

登録メニュー画面に戻るときにタッチします。



項目	例	操作
資材コード1~3	資材コード1~3を登録します。	<p>資材コードは、最大8桁（英数字）まで入力できます。</p> <p>【例】 資材コード1に「0123」を登録する</p> <p><input type="text" value="0"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="資材コード1"/></p> <p>数値を入力せずに、<input type="text" value="資材コード1"/> をタッチすると、文字入力画面でアルファベットを含むコードを入力することができます。</p>
フリーコード	フリーコード「0123」を登録します。	<p>フリーコードは、最大10桁（0~9999999999）まで入力できます。</p> <p><input type="text" value="0"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="フリーコード"/></p>
フリー1、2	フリー1、2を登録します。	<p>フリーは、最大24文字まで入力できます。</p> <p><input type="text" value="編集"/> をタッチすると文字入力画面が表示されます。</p> <p>文字入力の方法については、本体取扱説明書を参照してください。</p>

原材料登録

ここでは、原材料を登録する手順について説明します。
 また、POP 登録、コメント登録、産地名登録、保存温度登録、保存方法登録、フリー登録についても同様の
 手順で登録することができます。

1. 登録メニュー画面で「原材料登録」をタッチします。

原材料登録

原材料登録画面（検索）が表示されます。



参考
 呼び出したい原材料が表示されているときは直接添加物名をタッチしても選択できます。

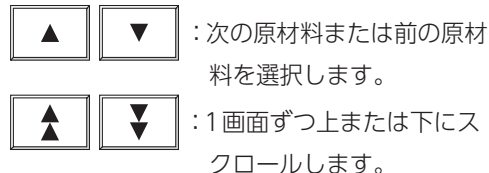
2. 呼出 No. を入力します。

原材料の呼出 No. は最大 4 桁まで入力できます。

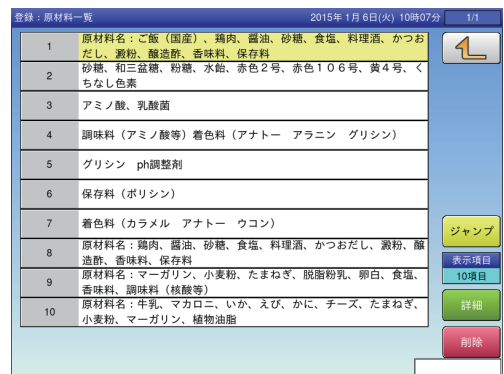
【例】呼出 No. 「1」の場合



【例】呼出 No. がわからない場合



【例】呼出 No. をはっきりと覚えていない場合
 およその呼出 No. を入力し、「▲」をタッチします。



参考
 0 を押して「▲」「▲」をタッチすると添加物リストの最初の行が選択されます。
 0 を押して「▼」「▼」をタッチすると添加物リストの最後の行が選択されます。



参考
 新規登録の場合は「呼出」を押すと添加物登録画面が表示されます。
 手順 3 はとばして手順 4 に進んでください。

3. 「編集」をタッチします。



原材料登録画面（編集）を表示します。



文字入力の方法については、4-32 ページ「文字入力のしかた」をご覧ください。

4. 原材料を入力します。

原材料の文字数は最大 511 文字まで入力できます。



5. 原材料の登録を終了します。



添加物名が登録され、手順 2 の添加物名登録画面へ戻ります。

以下の各登録項目は、原材料登録と同様の手順で登録することができます。
各登録項目の登録手順については、4-20 ページ「原材料登録」をご覧ください。

POP 登録

POP（店長のおすすめ品、鹿児島産など）を登録します。
POP No.1～6には、あらかじめ以下のPOP文が登録されています。

POP No.1 広告品	No.4 奉仕品
No.2 買得品	No.5 サービス品
No.3 特売品	No.6 おすすめ品

※登録が可能な呼出No.は、7～999の範囲です。
No.1～6に登録すると、新たに登録したPOP文が優先されます。

コメント登録

コメント（販促メッセージ）を登録します。

※登録が可能な呼出No.は、1～99の範囲です。

産地名登録

商品の産地名を登録します。

※登録が可能な呼出No.は、1～999の範囲です。

保存温度登録

商品ごとに必要な保存温度を登録します。

※登録が可能な呼出No.は、1～99の範囲です。

保存方法登録

商品を保存する方法を登録します。

※登録が可能な呼出No.は、1～99の範囲です。

フリー登録（1～5）

調理責任者、カロリーなど自由に登録できます。

※登録が可能な呼出No.は、1～99の範囲です。

注 記

フリー1～5のタイトル名は、変更することができます。詳しくは販売元の担当者までお尋ねください。

店名住所登録

店名、住所を登録します。ラベルの店名と住所は、この設定をもとに印字されます。

No.	店舗名	住所
9998	スーパーイシダ	京都市左京区聖護院山王町4 4
9999	スーパーイシダ	京都市左京区聖護院山王町4 4

登録メニュー画面に戻るときにタッチします。

印字店設定 印字条件にリンクされている店の一覧が表示されます。

詳細 詳細画面が表示されます。

表示されている店名住所データを消去します。

店名／住所登録

【例】店No.10の1段目に「株式会社イシダフーズ」を登録する場合

1. 登録メニュー画面の「店名住所」をタッチします。



店名住所登録画面が表示されます。



店No. 入力後、「店No.」をタッチして入力することもできます。

2. 店No. を入力します。

店No. は最大8桁まで入力できます。(1～99999999)

※新規登録の場合は

呼出

※すでに登録してある場合は

呼出



新規登録の場合は「呼出」を押すと店名登録画面が表示されます。手順3はとばして手順4に進んでください。



3. 「実行」をタッチします。



詳細画面が表示されます。

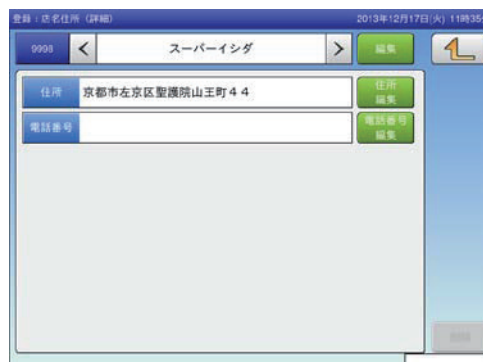
店名住所登録画面を開くと最初に「店名」が選択されています。

4

4. 店名を編集する場合は、「編集」をタッチします。



店名の編集画面が表示されます。



文字入力の方法については、4-32 ページ「文字入力のしかた」をご覧ください。

5. 任意の文字を入力します。

店名は最大 48 文字まで入力できます。



6. 店名の登録を終了します。



店名が登録され、店名住所登録画面へ戻ります。

印字条件設定

【例】続いて店 No.10 を印字条件 No.9999 に設定する場合



印字条件一覧画面の設定内容は、設定メニューの印字条件設定とリンクしています。

1. 店名住所登録画面で「印字店設定」をタッチします。



印字条件一覧画面が表示されます。

No.	店名	住所
0001	あいうえお	かきくけこ
9990	スーパーイシダ	京都市左京区聖護院山王町44
9999	スーパーイシダ	京都市左京区聖護院山王町44

2. 印字店を設定します。

印字店名(自社名)の表示欄に店名が表示されます。

3. 印字条件 No. を指定します。

印字店 No. の表示欄に 9999 と表示されます。

登録：店名住所 (印字店設定) 2014年2月8日(土) 13時19分

発行プリンタ	印字店No.	印字店名(自社名)
メインプリンタ1	9999	スーパーインダ

4. 印字条件設定を終了します。



印字条件 No. の店 No. が設定され、店名住所登録画面に戻ります。

トレー登録

使用するトレーの大きさ、トレー名称、ラベル貼付位置などを登録します。

トレー登録画面 1/2

登録メニュー画面に戻るときにタッチします。

ラベル貼付位置の詳細画面を表示します。

コンベヤを動かして貼り位置を確認します。

ラベルのテスト貼付けを行うプリンタを選択できます。タッチするごとに「全貼」→「1連上」→「2連上」→「1連下」→「全貼」の順に表示が切り替わります。

呼び出されているトレーデータを消去します。

吹付けの調整をします。(販売元の担当者にお任せください。)

1. 登録メニューの「トレー登録」をタッチします。

トレー登録

トレー一覧画面が表示されます。



2. 目的のトレーを選択し、詳細をタッチします。

詳細

トレー登録 1/2 の画面が表示されます。

No.	トレー名	長辺	短辺	高さ	ガイド幅
0001	トレー-1	20.0 cm	8.0 cm	3.0 cm	0.0 cm
0002	トレー-2	33.0 cm	10.0 cm	2.0 cm	0.0 cm
0003	トレー-3	20.0 cm	12.0 cm	2.0 cm	0.0 cm
0004	トレー-4	28.0 cm	21.0 cm	2.5 cm	0.0 cm



呼び出したいトレーがわからないときは「トレー一覧」をタッチして一覧から呼び出します。

3. トレー No. を入力します。

【例】トレー No. 「3」 の場合

3 呼出

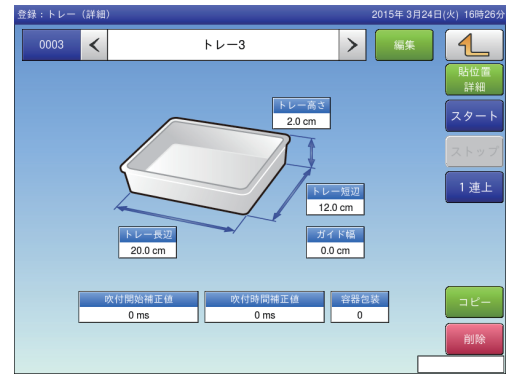
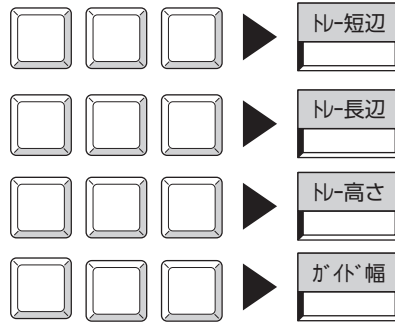
トレー No. は最大 4 桁 (1 ~ 9999) まで入力できます。





ガイド幅の設定は、自動トレーガイドの機種のみ有効です。

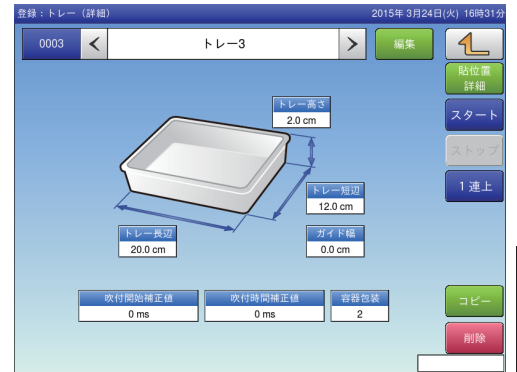
4. トレーの寸法を測り、入力します。



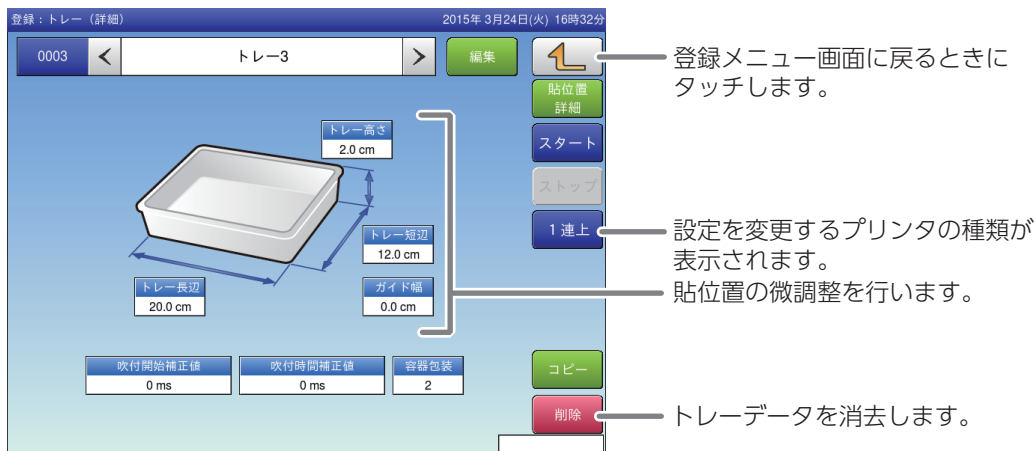
5. 容器包装を入力します。

トレーの容器包装識別マークの登録をします。

【例】 容器包装「2」の場合



トレー登録画面 2/2



1. トレー登録 1/2 画面で「貼位置詳細」をタッチします。

貼位置
詳細

トレー登録画面 2/2 (貼位置詳細登録) 画面が表示されます。



2. 登録するプリンタを選択します。

【例】1連上貼プリンタを選択する場合

「1連上」が表示されるまで「プリンタ」をタッチします。

プリンタ | 1連上

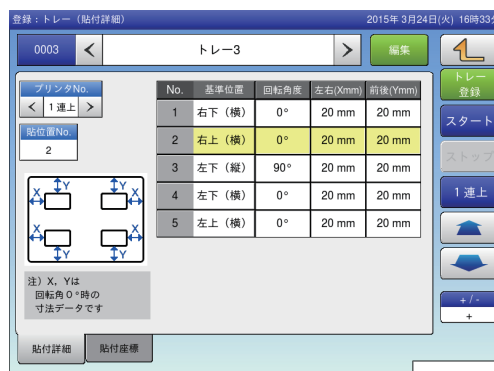


3. トレーに貼り付けたい位置をタッチします。

【例】「右上」を選択する場合

タッチした行が選択され、画面右側にあるトレイイメージの「右上」部分が強調表示されます。

2: 右上横





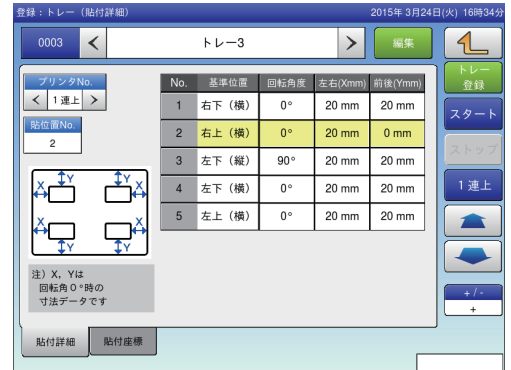
貼機をボタンで移動して、ラベル貼付け位置を調整することもできます。

貼機をボタンで移動した後、「貼位置取込」をタッチすると、そのときの貼位置で前後・左右・回転の位置データが更新されます。

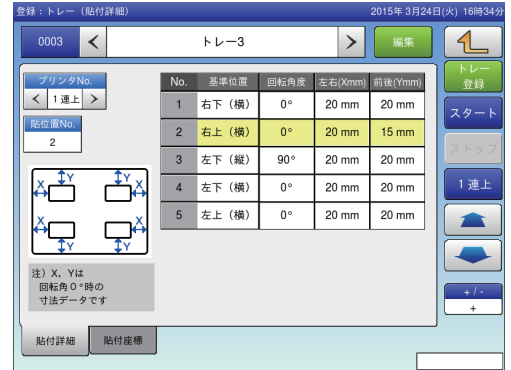
4. トレー端辺からの寸法を入力します。

【例】 トレー右端からの寸法：20mm
 トレー上端からの寸法：15mm
 回転角度：右 45°

ストロークキーで「2」「0」と入力し、「2. 右上」行と「左右 (Xmm)」列の交差した部分をタッチします。

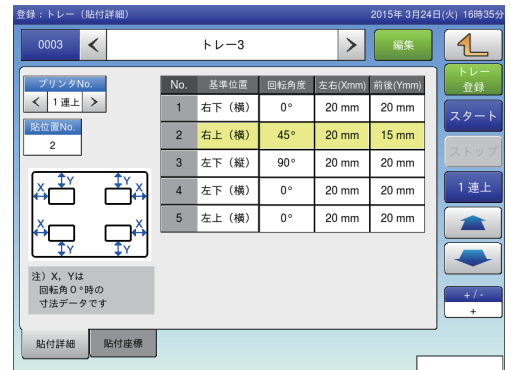


ストロークキーから「1」「5」と入力し、「2. 右上」行と「前後 (Ymm)」列の交差した部分をタッチします。



ストロークキーから「4」「5」と入力し、「2. 右上」行と「回転角度」列の交差した部分をタッチします。

入力ごとにそれぞれタッチしたセルに変更した数値が表示されます。



5. テストトレーをコンベヤに流し、ラベルの貼付を行います。

「スタート」ボタンをタッチすると、コンベヤが動き出しますので、トレーを流します。

トレーにラベルが貼り付けられます。

スタート



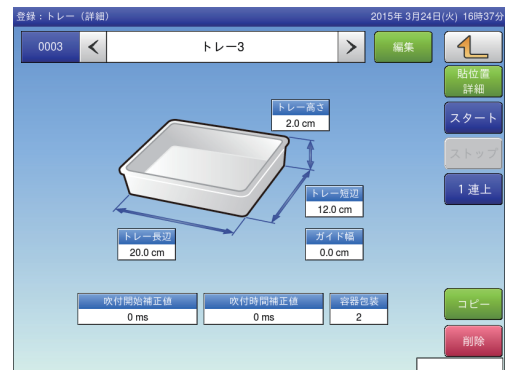
6. トレーに貼り付けられたラベルの位置を確認します。

ラベルの位置がずれている場合は、手順 [4] からやり直し、位置調整をしてください。

トレー名登録

1. トレー登録 1 / 2 の画面で「編集」をタッチし、トレー名編集画面を表示させます。

編集

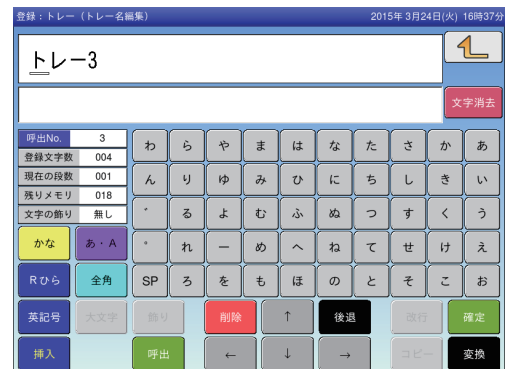


参照

文字入力の方法については、4-32 ページ「文字入力のしかた」をご覧ください。

2. トレー名を入力します。

トレー名の文字数は、最大 10 文字まで入力できます。



3. トレー名の登録を終了します。

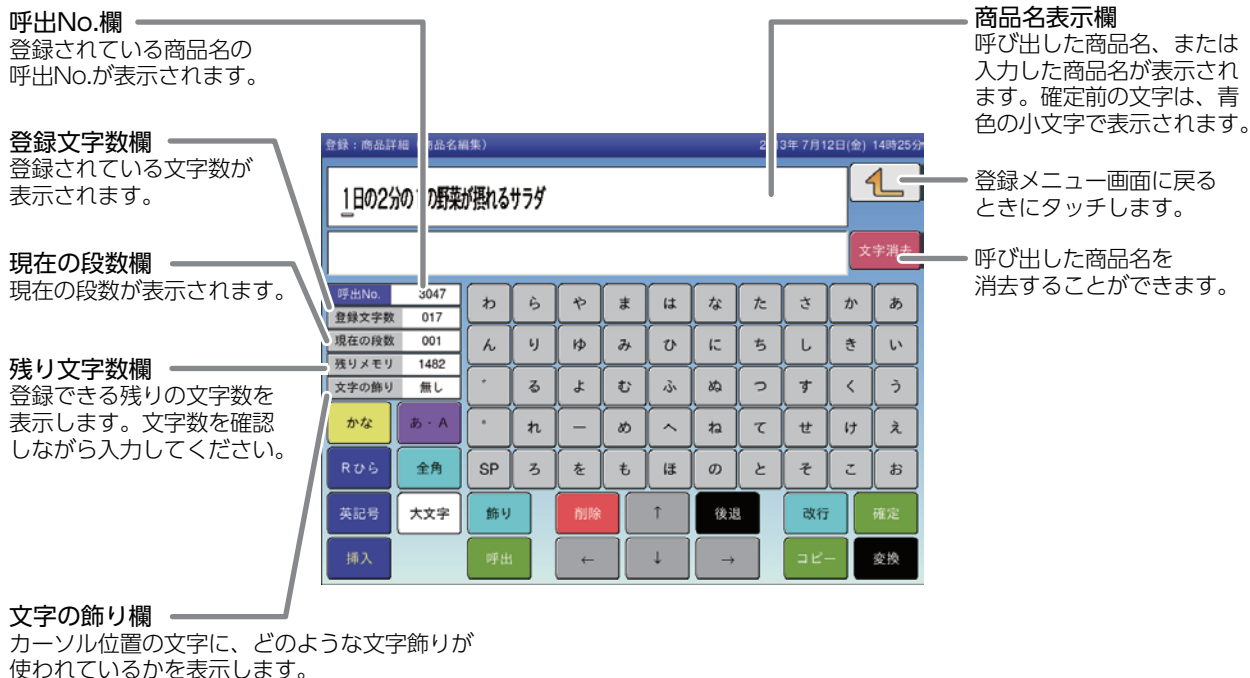


トレー名が登録され、トレー登録画面 1/2 へ戻ります。

文字入力のかた

文字入力の方法には「かな入力」、「ローマ字入力」、「JISコード入力」の3つの方法があります。ここでは商品名登録を例に文字入力のかたを説明します。

文字入力画面のキーの機能



キー表示	機能	
確定	入力、変換した文字を確定させます。	
変換	入力した文字を変換します。3回連続でタッチすると変換候補群が表示されます。	
改行	改行します。	
コピー	すでに登録済みの商品名やメッセージをコピーします。コピー元の呼出No.を入力し、タッチするとコピー元の商品名やメッセージが表示されます。	
後退	確定された文字列および、確定前の文字列中のカーソルの1つ前の文字を消去します。	
← ↑ ↓ →	カーソル移動に使用します。 また、変換候補群のページ切り替えにも使用します。	
削除	入力した文字を、確定された文中で1文字ずつ削除します。	
飾り1	文字に、強調、反転、下線、枠囲みなどの飾り付けをします。(タッチすると 強調 → 反転 → 下線 → 枠囲み と表示が切り替わります)	飾り文字を入力する場合 飾りの種類を選択してから文字を入力します。
飾り2	文字に、影、縁などの飾り付けをします。 (タッチすると 影 → 縁 と表示が切り替わります)	後から文字に飾りをつける場合 「挿入」をタッチして「選択」にします。 飾りをつける文字を「←」 「→」で選択してから飾りの種類を選択します。「確定」をタッチすると選択した文字に飾りがつきます。
あ・A / あ・a	かな、アルファベットの小文字/大文字の入力の変更をします。 (タッチすると あ・A → あ・a と表示が切り替わります)	

キー表示	機能	
<input type="button" value="全角"/> / <input type="button" value="半角"/>	全角/半角文字入力の変更をします。 (タッチすると <input type="button" value="全角"/> → <input type="button" value="半角"/> と表示が切り替わります)	後から文字に飾りをつける場合 「挿入」をタッチして「選択」にします。 変更する文字を「←」「→」で選択してから文字種類を選択します。「確定」をタッチすると、選択した文字の種類が変更され有効となります。
<input type="button" value="大文字"/> / <input type="button" value="添加物"/> / <input type="button" value="小文字"/>	大文字/添加物/小文字入力の変更をします。 (タッチすると <input type="button" value="大文字"/> → <input type="button" value="添加物"/> → <input type="button" value="小文字"/> と表示が切り替わります)	
<input type="button" value="黒"/> / <input type="button" value="赤"/>	黒字/赤字入力の変更をします。 (タッチすると <input type="button" value="黒"/> → <input type="button" value="赤"/> と表示が切り替わります)	
<input type="button" value="かな"/> / <input type="button" value="カナ"/>	かな/カナ入力の変更をします。 (タッチすると <input type="button" value="かな"/> → <input type="button" value="カナ"/> と表示が切り替わります)	
<input type="button" value="Rひら"/> / <input type="button" value="Rカナ"/>	□ーマ字でかな/カナ入力の変更をします。 (タッチすると <input type="button" value="Rひら"/> → <input type="button" value="Rカタ"/> と表示が切り替わります)	
<input type="button" value="英記号"/> / <input type="button" value="JIS"/>	アルファベット/JISコード入力の変更をします。 (タッチすると <input type="button" value="英記号"/> → <input type="button" value="JIS"/> と表示が切り替わります)	
<input type="button" value="挿入"/> / <input type="button" value="選択"/>	商品名表示欄に確定された文字に対して、文字挿入/文字選択の変更をします。 (タッチすると <input type="button" value="挿入"/> → <input type="button" value="選択"/> と表示が切り替わります)	

かな入力

【例】呼出 No.2075 に商品名「月見とろろそば」を入力する場合

1. 新規登録する呼出 No. を入力します。

商品名の呼出 No. は、最大 6 桁まで入力できます。(1 ~ 999999)



入力した呼出 No. が表示されます。



参考

正しく漢字が変換されない場合は、正しく変換されるまで「変換」をタッチしてください。3 回タッチすると、変換候補群が表示されます。変換候補群は「↑」、「↓」、「←」、「→」または数字キーで選択します。

2. 「月見」を入力します。



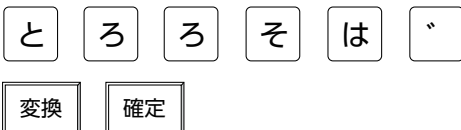
小さい字を入力する場合は、文字入力の前に「あ・A」をタッチして入力します。一度入力すると大きい文字の入力に戻ります。



参考

「変換」をタッチした後、「確定」は省略し、次の文字を入力しても確定されます。

3. 「とろろそば」を半角入力します。



カタカナを入力する場合は、文字入力の前に「かな」をタッチして表示を「カナ」に切り替えます。

半角文字を入力する場合は、文字入力の前に「全角」をタッチして表示を「半角」に切り替えます。

英字を入力する場合は、文字入力の前に「英記号」をタッチして英字入力にします。



【例】商品名の下（2 段目）に添加物名「アミノ酸等」を入力する場合

1. 「大文字」をタッチし、添加物名
入力の状態にします。

大文字

添加物を入力する場合は、文字入力の前に「大文字」→「添加物」→「小文字」をタッチして表示を「添加物」に切り替えます。



2. 改行をタッチしてカーソルを2 段目
に移します。

改行

現在の段数欄が「002」に変わります。



3. 原材料名を入力します。

原材料名の入力方法については、前述の
商品名入力の方法と同様です。

4. 商品名の登録を終了します。



商品名が登録され、登録メニュー画面へ
戻ります。

ローマ字入力

【例】「月見とろろそば」と入力する場合

1. ローマ字入力の状態にします。

Rひら

ローマ字入力する場合は、文字入力の前に「Rひら」をタッチして、キー表示を反転させます。

文字キーが、かなからアルファベットに変わります。



「変換」をタッチした後、次の文字を入力しても確定されます。この場合「確定」は省略することができます。

2. 「月見」を入力します。

T S U K I M
I 変換 確定



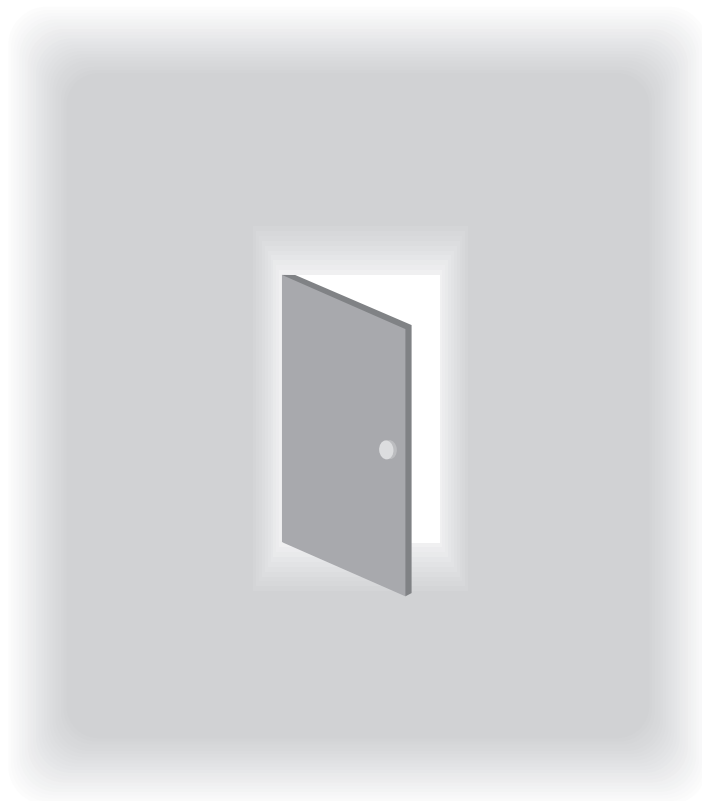
正しく漢字が変換されない場合は、正しく変換されるまで「変換」をタッチしてください。数回タッチすると、変換候補群が表示されます。変換候補群は「↑」、「↓」、「←」、「→」または数字キーで選択します。

3. 「とろろそば」を入力します。

Rひら T O R O
R O S O B A
確定

ローマ字カナ入力する場合は、文字入力の前に「Rひら」をタッチして表示を「Rカタ」に切り替えます。





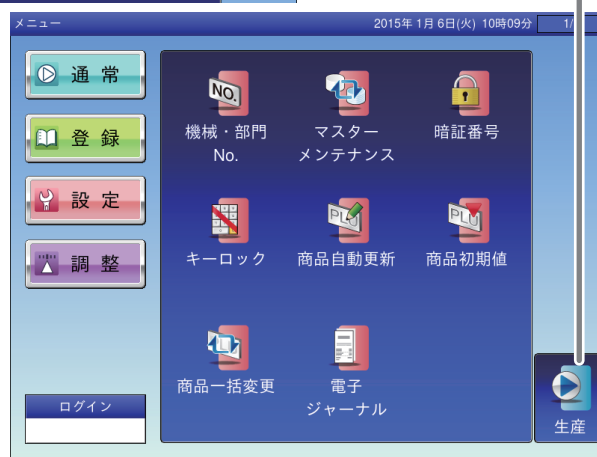
第5章 設定のしかた

設定モードに切り替えます

設定メニュー画面
が表示されます。



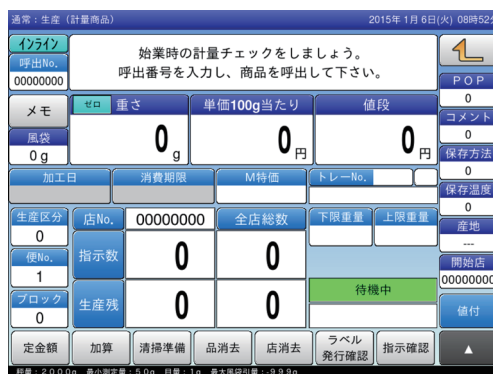
メインメニュー画面に
戻るときにタッチします。



1. 通常画面の「戻る」をタッチします。



メインメニュー画面が表示されます。



2. メインメニュー画面の「設定」をタッチします。



設定メニュー画面が表示されます。

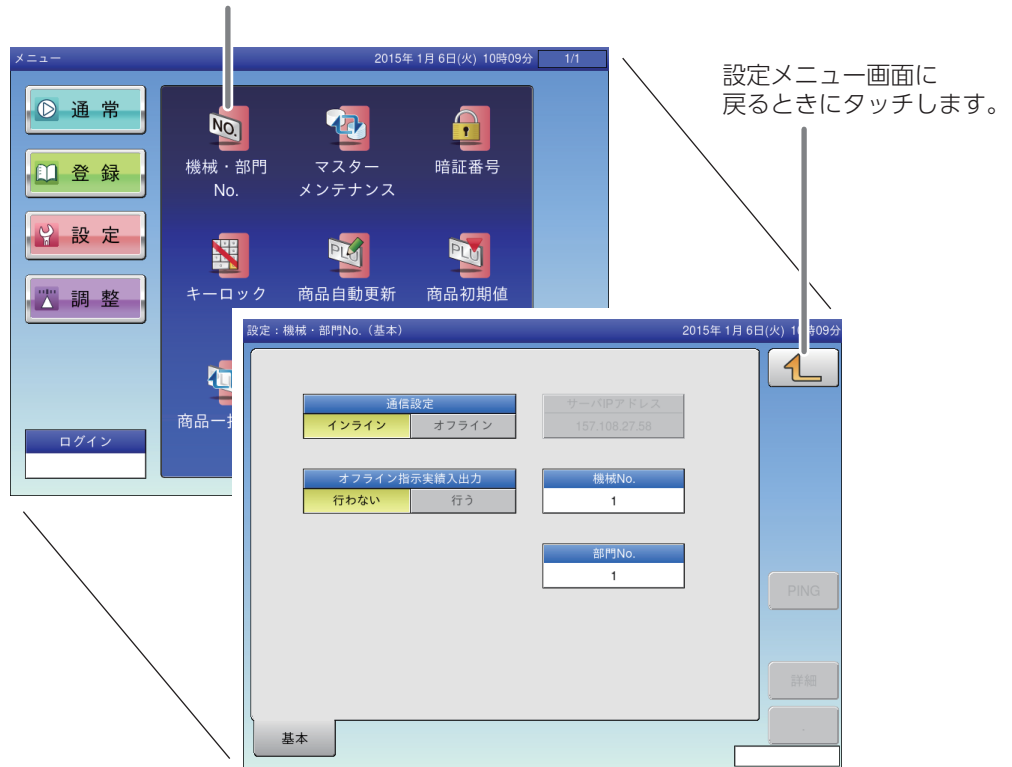


設定メニュー画面を開くための暗証番号が設定されている場合は、暗証番号 (6桁) 入力後、「設定」をタッチします。
暗証番号設定については5-4 ページ「暗証番号設定」をご覧ください。

機械・IP 設定

機械 No. とインラインフラグの設定を行います。

機械・部門No.設定画面が表示されます。



1. 設定メニュー画面の「機械・部門 No. 設定」をタッチします。



商品初期値 (売価・風袋) 画面が表示されます。

2. インラインフラグを選択します。

【例】 インラインとして使用する場合



▲ 注意

機械・部門 No. は他の機械 (端末機) と重複した No. を設定しないでください。正常な通信ができなくなります。

また、機械 No. に「0」を入力しないでください。

3. 機械 No. を入力します。



機械 No. (1～99)

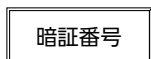
入力した機械 No. が表示されます。

暗証番号設定

勝手に内容を変えられると困るようなモードに対して暗証番号を設定し、その内容を保護することができます。ここでは、各モードに暗証番号を設定する手順について説明します。



1. 設定メニュー画面の「暗証番号」をタッチします。

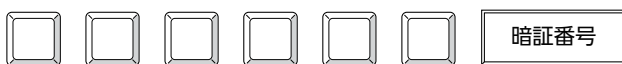


暗証番号設定画面が表示されます。

注 記

設定した暗証番号を忘れないために管理者の方が番号を控えておいてください。

2. 暗証番号を入力します。



暗証番号 (6桁)

入力した暗証番号が表示されます。

注 記

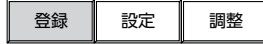
各モード1つずつの暗証番号を設定することはできません。設定できる内容は、各モードに共通な1つの暗証番号です。



すべてのモードを選択解除すると暗証番号が未設定の状態に戻ります。

3. 暗証番号を有効にするモードを、タブと選択ボタンをタッチして選択します。

【例】登録モードの原材料に対して暗証番号を有効にする場合
「登録」タブをタッチします。



メニュー名称一覧が表示されます。
「原材料」の「禁止」ボタンをタッチします。



「登録」の「原材料」に、暗証番号が設定されました。

■設定できるメイン名称はそれぞれ、



商品
原材料
POP
コメント
産地
保存温度
保存方法
店名住所
トレー
定額記号
カロリー
フリー1
フリー2
フリー3
フリー4
フリー5
部位
原産国
原産地
加工日
タイトル
担当者
バーコードチェック



機械・部門No.
マスターメンテナンス
暗証番号
キーロック
商品自動更新
商品初期値
商品一括変更
加工日
消費期限
個体識別



時計
タッチパネル
表示確認

自動更新設定

インラインの場合、上位コンピュータから受信されるデータについては更新できません。
通常モードにおける数値入力などの変更データを、商品マスタに更新して使用する場合に設定します。

自動更新画面が表示されます。

設定メニュー画面に戻ります。

通常モードでのデータ変更時に、変更データをマスタに反映させるかどうかを設定します。

- ・許可：マスタの更新は行われません。
- ・禁止：マスタへの更新が行われます。

ページが切り替わります。自動更新画面は3ページあります。

商品マスタ項目名称	許可	禁止
単価・定金額	許可	禁止
M特価モード・M特価	許可	禁止
風袋重量	許可	禁止
定額記号・個数	許可	禁止
定重量	許可	禁止
加工日時	許可	禁止
販売日時	許可	禁止
消費日時	許可	禁止
レジコード	許可	禁止
表バー印字	許可	禁止

1. 設定メニュー画面の「自動更新設定」をタッチします。

自動更新設定

自動更新画面が表示されます。

2. 自動更新画面の必要な項目の「許可」にタッチします。

【例】 定単価・定金額の場合

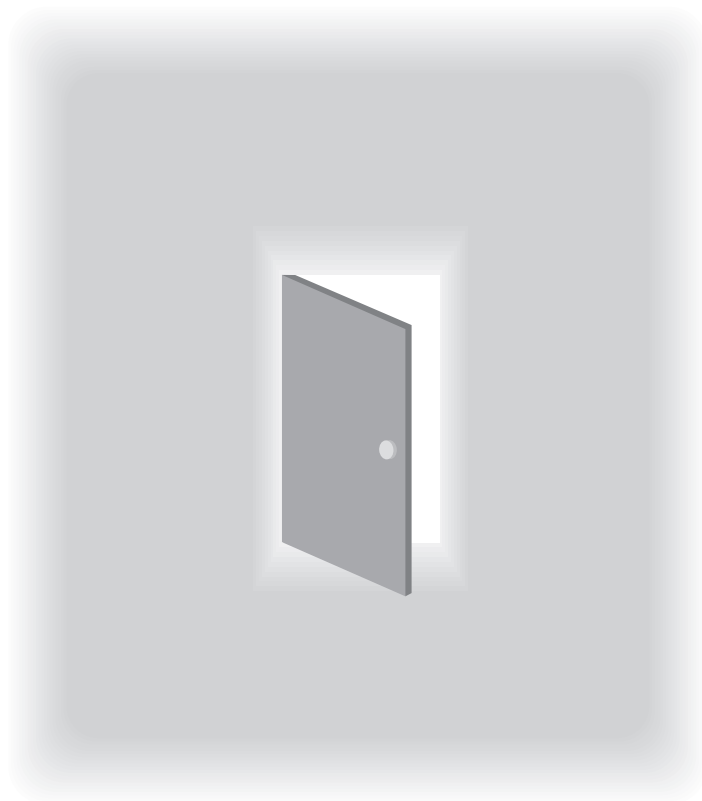
選択	
許可	禁止

個体識別 No. / ロット No. 設定

既に登録されている商品データを一括で変更（更新）する場合に使用します。

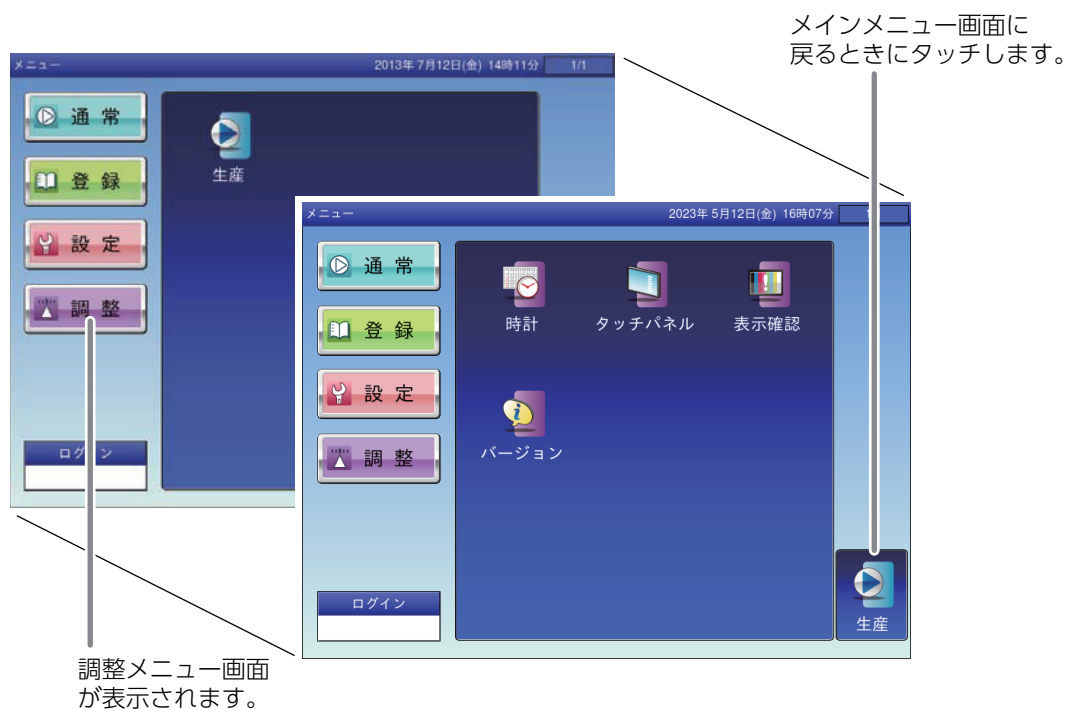


項目	例	操作
個体識別No./ ロットNo.記憶選択	各商品ごとに直近で使用した 個体識別No.とロットNo.を 履歴として記憶します。	記憶しない場合 <input type="button" value="記憶しない"/>
		記憶する場合 <input type="button" value="記憶する"/>
履歴消去	履歴を消去します。	本機で使用した個体No.履歴（最大30件）を消去する場合 <input type="button" value="個体No.履歴"/> <input type="button" value="消去"/>
		本機で使用したロットNo.履歴（最大30件）を消去する場合 <input type="button" value="ロットNo.履歴"/> <input type="button" value="消去"/>
		商品ごとの個体No.とロットNo.履歴を消去する場合 <input type="button" value="商品毎履歴"/> <input type="button" value="消去"/>
		全ての履歴を消去する場合 <input type="button" value="個体No.履歴"/> <input type="button" value="ロットNo.履歴"/> <input type="button" value="商品毎履歴"/> <input type="button" value="消去"/>
個体識別No./ ロットNo.未設定 エラー表示	個体識別No.、ロットNo.の 入力忘れ、入力ミスがあった 場合のエラー表示の有無を 設定します。	エラーを表示しない場合 <input type="button" value="表示しない"/>
		エラーを1度表示する場合 ※エラー解除で生産可能になります。 <input type="button" value="表示のみ"/>
		エラーを解除し、正しい設定をしないと ラベル発行しない場合 <input type="button" value="印字禁止"/>
<エラーが出るパターン> ・商品マスタの識別印字が「個体No.」で個体No.が入力されていない場合 ・商品マスタの識別印字が「個体No.」でロットNo.が入力されている場合 ・商品マスタの識別印字が「ロットNo.」でロットNo.が入力されていない場合 ・商品マスタの識別印字が「ロットNo.」で個体No.が入力されている場合		



第6章 調整のしかた

調整メニュー画面を開くには



1. 通常画面の「戻る」をタッチします。



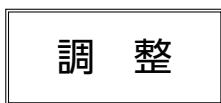
メインメニュー画面が表示されます。



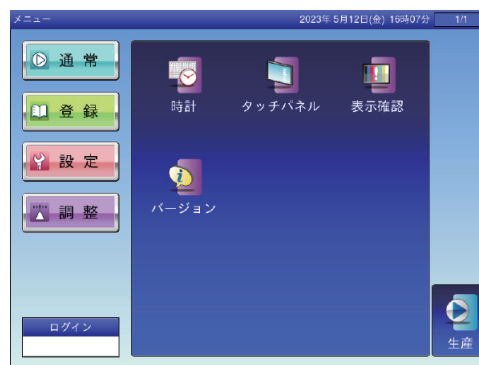
参照

設定メニュー画面を開くための暗証番号が設定されている場合は、暗証番号（6桁）入力後、「設定」をタッチします。
暗証番号設定については5-4ページ「暗証番号設定」をご覧ください。

2. メインメニューの「調整」をタッチします。



調整メニュー画面が表示されます。

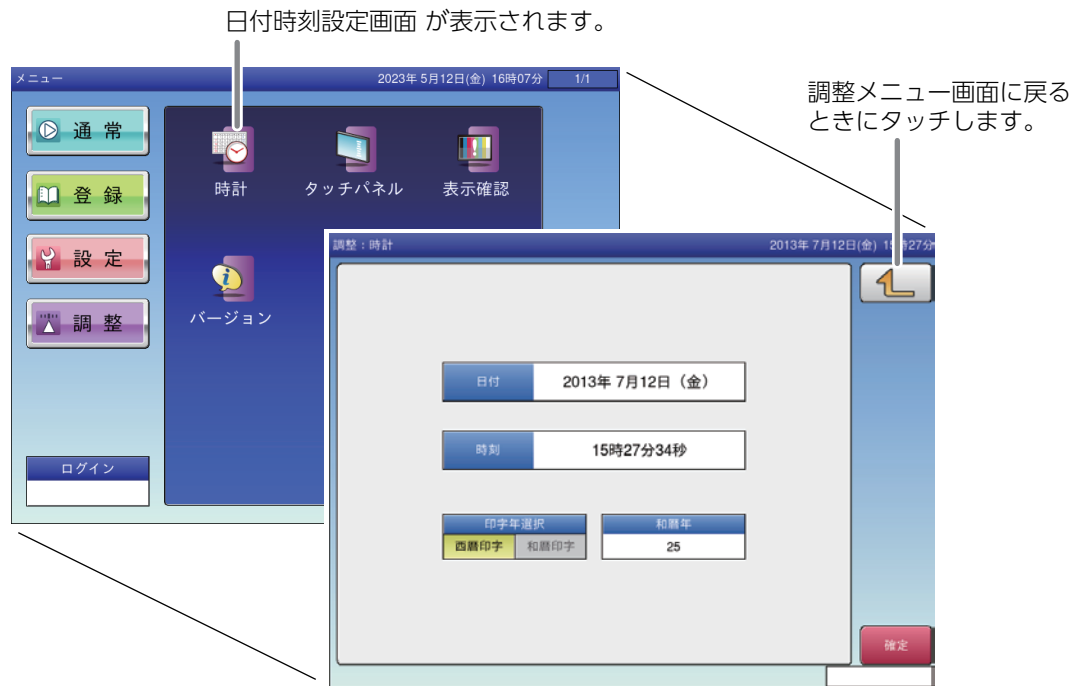


時計の調整

本機に内蔵されている時計に日付、時刻、印字年号、和暦年を設定します。

注記

印字年選択は、商品登録 2/4 の登録項目「年号区分」で設定されるため、この画面での設置は無効です。



1. 調整メニュー画面の「時計」をタッチします。



日付時刻設定画面が表示されます。



日付けの入力は、西暦年号を含めて、8桁で入力します。時刻の入力は、24時間制で入力します。

2. 日付を入力します。

【例】2013年12月1日の場合



3. 時刻を入力します。

【例】午後1時30分10秒の場合

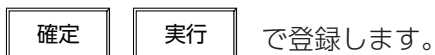


4. 和暦年を入力します。

【例】平成25年の場合



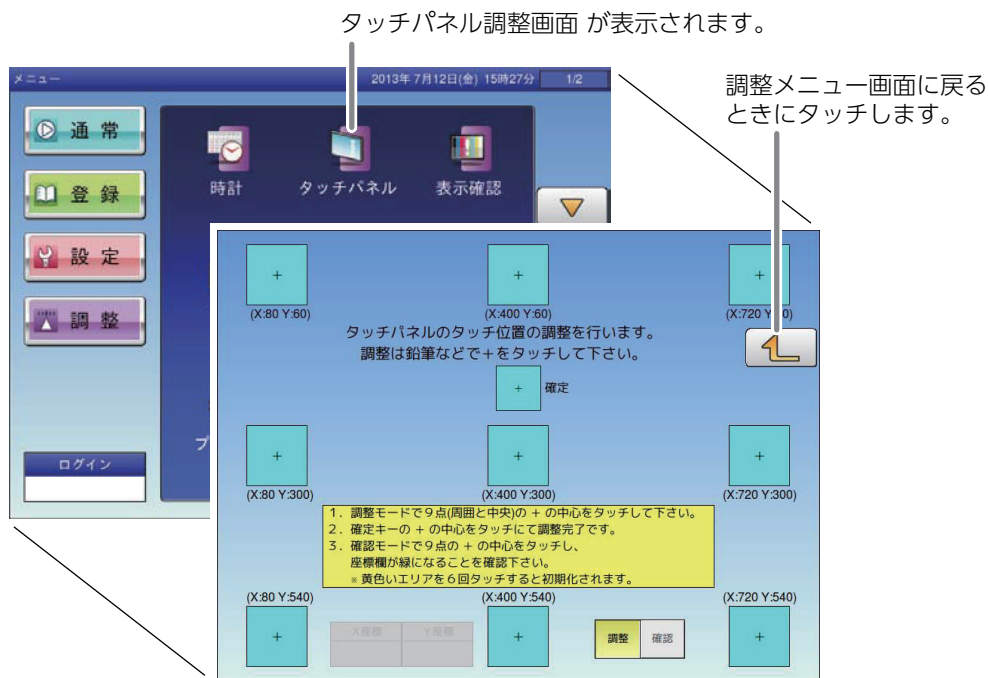
5. 登録します。



で登録します。

タッチパネルの調整

タッチパネルの調整を行います。



1. 調整メニューの「タッチパネル」をタッチします。

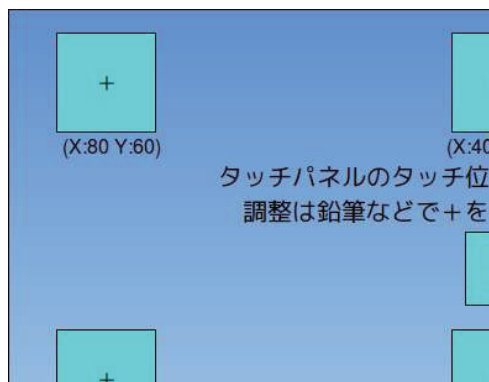
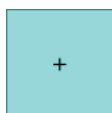
タッチパネル

タッチパネル調整画面が表示されます。

▲ 注意

タッチパネルのタッチ位置を調整する際は、軽く画面を押してください。強く押すと、タッチパネルが破損するおそれがあります。

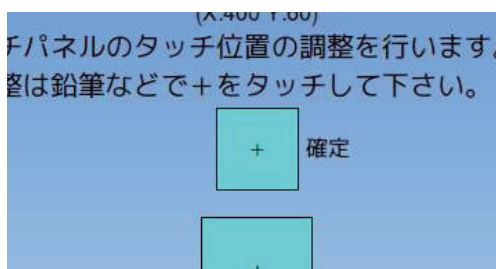
2. 画面9箇所の「+」キーの中心をタッチします。



📎 参考

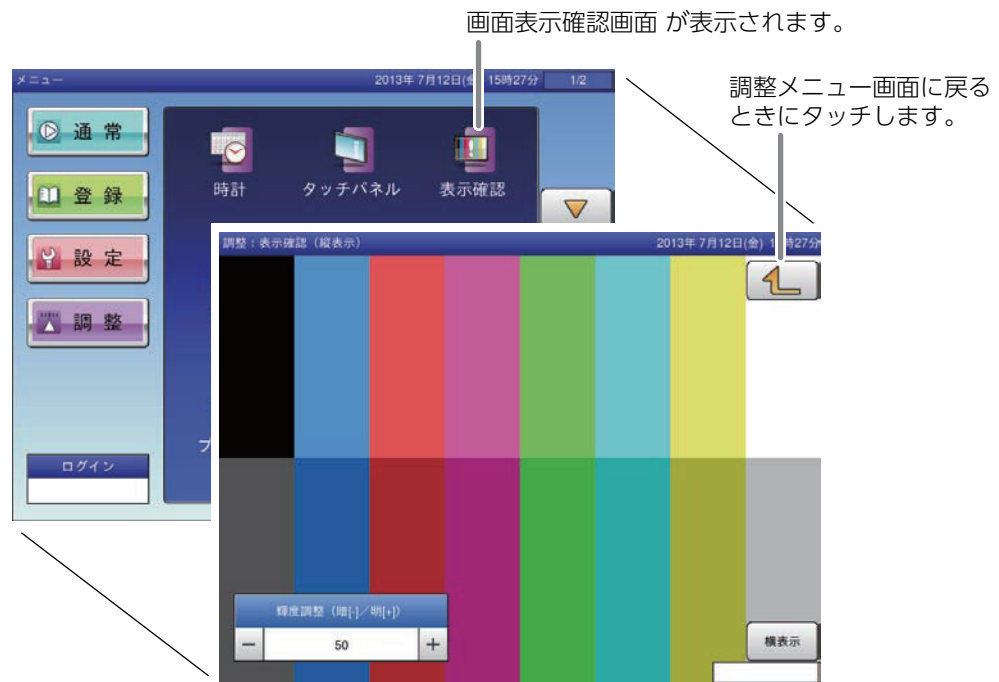
画面中央の確定キー「+」を6回タッチすると、タッチ位置が初期化されます。

3. 画面中央の確定キー「+」をタッチします。



表示確認

タッチパネルの縦表示・横表示の輝度を調整します。



1. 調整メニューの「表示確認」をタッチします。

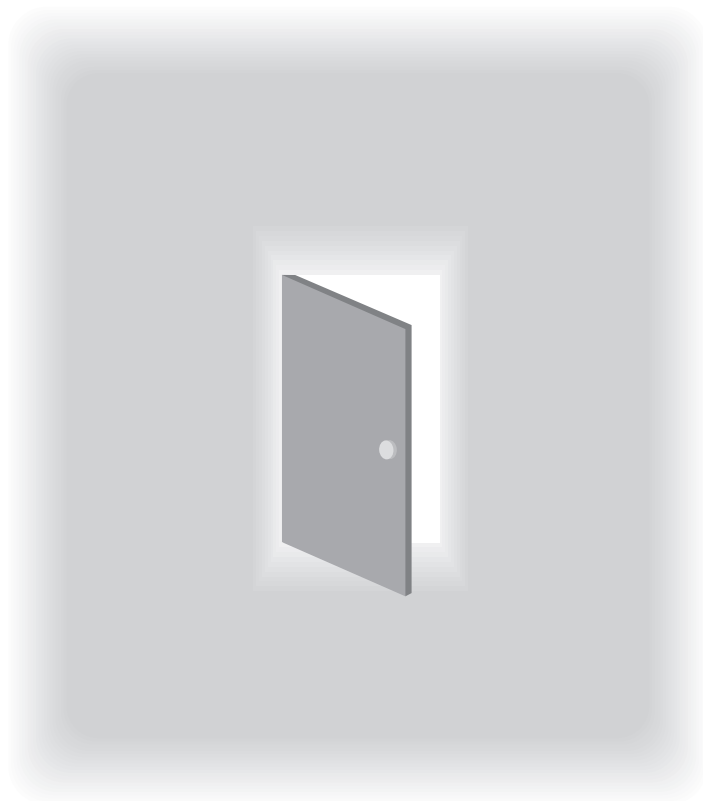
表示確認

画面表示確認画面が表示されます。

2. 画面が見やすいよう、「輝度調整」をタッチして輝度を調整します。

+ または -

輝度の調整が完了します。



第7章
付録

エラーの解除方法

■システム関係のエラー

エラータイトル	エラーメッセージ	エラー対処方法
****マスターが登録されていません	****は登録されていません。 **を確認して下さい。	登録モードで登録して下さい。
	****は登録されていません。 削除しますか？	
「風袋重量」が0になっています	風袋重量を設定して下さい。	風袋を入力して下さい。
ラベル設定マスターが登録されていません	ラベル設定マスターNo.を確認して下さい。	販売店の担当者にお尋ね下さい。
ラベルフォーマットが登録されていません	フォーマットNo.**は登録されていません。	商品マスターに登録されているラベルフォーマット番号のフォーマットが登録されていません。フォーマットを設定するか商品マスターのフォーマット番号を確認して下さい。
内部記憶メモリー容量が不足しています	これ以上新規の登録データを記憶する事ができません。	登録可能なデータ件数をオーバーしました。不要なデータを削除して新規データを登録して下さい。
実績データが残っています	実行 → 送信 中止 → 破棄	生産途中に電源が切られました。生産をやり直す場合は中止をおして下さい。
POSコードが未設定です	POSコードが登録されていません。	商品データ登録にてPOSコードを登録してから、再度呼び出して下さい。
カセットが違います	**号機のカセットが違います。	商品マスタに登録されている、カセット番号と、挿入されているカセット番号が一致しません。正しいカセットを挿入して下さい。
カセットが挿入されていません	**号機のカセットが挿入されていません。	カセットの挿入のしかたが間違っていないか確認し、挿入し直して下さい。それでもエラーが出る場合は、販売元の担当者にお尋ね下さい。
便もしくは生産区分が変更されています		便、生産区分を確認して、再度商品を読み出して下さい。

■プリンタ関係のエラー

エラータイトル	エラーメッセージ	エラー対処方法
1 連目上プリンタと通信できません	プリンタと通信できません。	主電源を再投入して下さい。
1 連目上プリンタより応答がありません		
1 連目上プリンタが瞬時停電を検知しました	プリンタが電断しました。	
1 連目上プリンタのラベルが終了しました	ラベル交換をして下さい。	新しいラベルに交換して下さい。
1 連目上プリンタのラベルサイズエラー	空送りボタンにてラベルを取り除いて下さい。	ラベルの停止位置がずれています。空送りボタンにてラベルの停止位置を合わせて下さい。
1 連目上プリンタのカセットが挿入されていません	カセットをセットして下さい。	カセットの挿入のしかたが間違っていないか確認し、挿入し直して下さい。それでもエラーが出る場合は、販売店の担当者にお尋ね下さい。
1 連目上プリンタの展開エラー	「** (品名・添加物・産地・POP等)」が展開エラーです。	セットされているラベルに対して、登録した文字数が多い為、ラベルに印字できません。登録している文字数を確認して下さい。
1 連目上プリンタのラベルが残っています	ラベル剥離エラー	ラベル発行後、発行されたラベルを取り除いていないと、次のラベルが発行できません。発行されているラベルを取り除いて下さい。

1 連目上プリンタのサーマルヘッドが切れています		サーマルヘッドを交換して下さい。
1 連目上プリンタのサーマルヘッドが上がっています	サーマルヘッドをセットして下さい。	カセットの挿入後にロックレバーがセットされていません。 ロックレバーをセットして下さい。
印字・貼付エラー(1 連上)	貼付エラー(No.****) ラベル吸着部にラベルがありません。	商品投入の間隔をあけて下さい。
	貼付エラー(No.****) ラベル発行が間に合いませんでした。	
1 連目上プリンタのカセットが抜けています		カセットの挿入のしかたが間違っていないか確認し、挿入し直して下さい。それでもエラーが出る場合は、販売元の担当者にお尋ね下さい。

※ 2連目上プリンタと1連目下プリンタの場合も対処方法は同様です。

■ はかり関係のエラー

エラータイトル	エラーメッセージ	エラー対処方法
計量器が不安定状態です	計量コンベヤに物が触れていないか確認して下さい。	計量コンベヤに物が触れていないか確認して下さい。
計量データが取得できません	計量器連動ケーブルを確認して下さい。	計量器連動ケーブルを確認して下さい。
計量コンベヤが異常です	計量コンベヤの取付けを確認して下さい。	計量コンベヤの取付けを確認して下さい。
計量器のゼロ点調整が出来ません	計量コンベヤに物が触れていないか確認して下さい。	計量コンベヤに物が触れていないか確認して下さい。
計量コンベヤの上の品物を取って下さい		計量コンベヤの上の品物を取って下さい。
計量器より応答がありません	計量器との接続を確認して下さい。	主電源を入れ直して下さい。
計量器と通信ができません		

■ X線異物検出装置連動関係のエラー

エラータイトル	エラーメッセージ	エラー対処方法
X線検査機が運転開始できません	X線検査機がX線照射を停止中です。	X線検査機側でX線照射を開始してから、生産開始して下さい。
	X線検査機がオートセット中です。	X線検査機がオートセットを完了してから、生産開始して下さい。
	X線検査機がX線照射を準備中です。	X線検査機のX線が照射中になるのを確認してから、生産開始して下さい。
X線検査機へデータ設定ができません	X線No.が使用範囲内か確認してください。	X線No.が正しいか確認して下さい。
X線検査機から停止信号がありました	X線検査機の動作を確認して、生産開始してください。	X線検査機のコンベヤが停止しました。X線検査機の動作を確認して、生産開始して下さい。
X線検査機と通信ができません	X線検査機の電源が入っているか、通信ケーブルが接続されているか、確認してください。	X線検査機の電源が入っているか、通信ケーブルが接続されているか、確認して下さい。

■ジャーナルプリンタ関係のエラー

エラータイトル	エラーメッセージ	エラー対処方法
ジャーナルプリンタが接続されてません	ジャーナルプリンタの電源を入れて下さい。	ジャーナルプリンタの電源を入れて下さい。
ジャーナルプリンタの動作異常です	ジャーナルプリンタを確認して下さい。	ジャーナルプリンタにエラーが出ていないかを確認して下さい。
ジャーナルプリンタの用紙切れです	ジャーナルプリンタの紙をセットして下さい。	用紙を交換して下さい。
ジャーナルプリンタが接続されてません	ジャーナルプリンタの接続を確認して下さい。 ジャーナルプリンタの電源が入っている事を確認して下さい。 ジャーナルプリンタがオンライン状態である事を確認して下さい。	ジャーナルプリンタをオンラインモードにしてください。

■コンテナプリンタ関係のエラー

エラータイトル	エラーメッセージ	エラー対処方法
コンテナプリンタと通信できません	コンテナプリンタを確認して下さい。	コンテナプリンタの電源か通信ケーブルを確認して下さい。
コンテナプリンタより応答がありません		
コンテナプリンタを確認して下さい	コンテナプリンタを確認して下さい。	コンテナプリンタでエラーが発生しています。 コンテナプリンタのエラー解除を行なって下さい。
コンテナプリンタのラベルを取って下さい	コンテナプリンタのラベルが溜まっています。	ラベルを剥離して下さい。
コンテナプリンタのラベルを発行させて下さい	コンテナプリンタに印字するデータが残っています。	コンテナプリンタのラベルを取って下さい。
コンテナプリンタを確認して下さい	コンテナプリンタをオンライン状態にしてください。	コンテナプリンタの通信モードをインラインにしてください。
外部表示器と通信できません	外部表示器の接続を確認して下さい。	表示器の電源か通信ケーブルを確認して下さい。

■インライン運用関係のエラー

エラータイトル	エラーメッセージ	エラー対処方法
テキスト区分が異常です		再度、商品呼び直して下さい。
PCRS(PC)からホストに送信できません		上位システム側を確認して下さい。
ホストがPCRS(PC)に送信しません		
通信に失敗しました		
PCRS(PC)と通信できません		中継機の電源、もしくは通信ケーブルを確認して下さい。
PCRS(PC)より応答がありません		
生産指示データがありません		上位システム側の生産指示データを確認して下さい。
生産区分が違います		正しい生産区分を入力して下さい。
便番号が違います		正しい便番号を入力して下さい。

■その他のエラー

エラータイトル	エラーメッセージ	エラー対処方法
非常停止ボタンが押されました		非常停止ボタンを押した原因が解決したら、コンベヤ上の商品を取り除いて、非常停止を解除して下さい。
非常停止ボタンが押されています		非常停止ボタンが押されている間に、通常作業をしようとしてしまいました。非常停止ボタンを解除してから、生産開始して下さい。
*連目サーマル基板(****)と通信できません		主電源を再投入して下さい。それでもエラーが出る場合は販売元の担当者にお尋ね下さい。
2連目メイン基板(****)と通信できません(送信)		
2連目メイン基板(****)と通信できません(受信)		
コンベヤ制御基板(****)と通信できません		
省配線基板と接続できませんでした		
*連目貼機エラー	前後、回転、上下移動中にエラーが発生しました。	非常停止が押されていないか確認して下さい。 原点移動中のエラー：「OK」を押して再度原点移動をやり直して下さい。 商品呼出中の移動中のエラー：「OK」を押して再度、商品呼出をやり直して下さい。 何度、やり直してもエラーが表示される場合は、ハードの故障が考えられます。 販売元の担当者にお尋ね下さい。
原点移動エラー	原点調整に失敗しました。	
搬送エラー	商品が詰まりました。	コンベヤ上の商品を取り除き、再度スタートして下さい。

エラータイトル	エラーメッセージ	エラー対処方法
計量コンベヤと通信できません	計量コンベヤと通信ができませんでした。 計量コンベヤとの接続を確認して下さい。	計量コンベヤとの連動ケーブルを確認してください。
計量コンベヤエラーです	計量コンベヤでエラーが発生しました。 電源を切り10秒待ってから再度入れ直して下さい。 【エラーコード：1651 - ****】 エラー内容はマニュアルをご確認下さい。	主電源を入れ直して下さい。 エラーコード：1651 - ****に対する内容は以下の通りです。
		1651-0032 過電流エラー
		1651-0033 主回路加熱エラー
		1651-0034 過電圧エラー
		1651-0037 不足電圧エラー
		1651-0040 モータセンサ異常
		1651-0048 過負荷エラー
		1651-0049 加速度エラー
		1651-0065 EEPROM異常
		1651-0066 初期時モータセンサ異常
		1651-0070 初期時運転禁止エラー
		1651-0110 外部停止エラー
		1651-0132 RS-485通信エラー
		1651-0133 RS-485通信タイムアウトエラー
		1651-0240 CPU異常
		1651-0400 モータ未接続エラー
1651-0402 状態エラー（運転中）		
1651-0405 アラームリセット不可		
1651-0504 CRCエラー（書き込み）		
1651-0505 CRCエラー（読み出し）		
1651-0508 例外応答受信エラー		
計量コンベヤが異常です	計量コンベヤの状態を確認して下さい。	計量コンベヤベルトの動きを確認して下さい。
取込コンベヤが異常です	取込コンベヤの状態を確認してください。	取込コンベヤベルトの動きを確認して下さい。
貼付コンベヤが異常です	貼付コンベヤの状態を確認してください。	貼付コンベヤベルトの動きを確認して下さい。

索引

数字

100g単価を変更します.....3-6

あ

暗証番号設定..... 5-4
 一覧表示から商品データ呼び出します... 3-2
 一般的な注意事項..... XIII
 印字条件設定..... 4-24
 インライン/オフライン操作の流れ..... 2-6
 上貼プリンタのラベルセット方法..... 1-23
 運転中の注意事項..... XIX
 運転の開始と終了のしかた..... 1-22
 エラーの解除方法..... 7-2

か

各部の名称と機能..... 1-2
 かな入力..... 4-34
 機械・部門No.設定..... 5-3
 起動のしかた..... 1-22
 空気源について..... VII
 クリーニングフィルムの使用方法..... 1-20
 警告ラベルの意味..... X
 警告ラベルの貼付け位置と取扱上の注意..... XI
 警告用語の種類と意味..... IV
 原材料登録..... 4-20
 個体識別No.とロットNo.をスキャナで
 読み込みます..... 3-20
 個体識別No.とロットNo.を設定します..... 3-17
 個体識別No.を直接入力します..... 3-17
 個体識別No./ロットNo.設定..... 5-7
 ご使用上の注意..... X
 コンベヤの組み立て..... 1-14
 コンベヤの分解と清掃..... 1-9

さ

サーマルヘッド、印字ローラーの清掃... 1-18
 作業前の準備..... 1-7
 作業前の点検..... 1-7
 下貼プリンタのラベルセット方法..... 1-26
 自動更新設定..... 5-6
 終了のしかた..... 1-22
 使用できるラベル..... 1-7
 重要なお知らせ..... III
 仕様..... 7-9
 商品データ登録..... 4-3

商品データを一時変更します..... 3-6
 商品登録..... 4-3
 商品の重量範囲を変更します..... 3-12
 水平器について..... VIII
 ストロークキー部..... 1-4
 清掃箇所..... 1-8
 清掃上のご注意..... 1-9
 設置上のご注意..... VI
 設置スペースにはゆとりを..... IX
 設定モードに切り替えます..... 5-2
 税タイプの確認画面..... 3-14
 操作説明欄の構成..... XXI
 ソフトウェアに関する注意..... VI

た

タッチパネルの調整..... 6-4
 調整メニュー画面を開くには..... 6-2
 通常画面のタッチキー..... 2-2
 通常モードの画面説明..... 2-2
 通常モードの表示欄..... 2-5
 次のような場所への設置は避けてください.... VI
 定額記号を変更します..... 3-9
 電源について..... VII
 店名/住所登録..... 4-23
 時計の調整..... 6-3
 動力源しゃ断と表示..... XIII
 動作確認..... 1-21
 取扱上の注意事項..... XIV
 登録モードに切り替えます..... 4-2
 トレーNo.を入力してトレイを
 変更します..... 3-7
 トレー一覧画面でトレイを変更します..... 3-8
 トレーガイド移動キー..... 1-5
 トレー登録..... 4-26
 トレー登録画面1/2..... 4-26
 トレー登録画面2/2..... 4-28
 トレー名登録..... 4-31

な

日常のお手入れ..... 1-8
 値付け操作の流れ..... 2-6
 値付けの作業..... 2-7, 2-10
 値付けをします (インライン)..... 2-7
 値付けをします (オフライン)..... 2-10
 値引きをします..... 3-10

は

はじめに.....	II
貼機の位置調整.....	3-16
貼付アームのクッションゴム先端の清掃...	1-17
貼付方向の調整と変更.....	3-15
表示確認.....	6-5
ファンクションキーの便利機能.....	3-21
付属品の確認.....	1-7
本書の使い方.....	XXI
本書のキー表示について.....	XXI
本書の構成.....	XXII
本体外観.....	1-2
本体固定用のジャッキについて.....	VIII

ま

メモプリセットキーから商品データを 呼出します.....	3-3
メモプリセットキーを消去します.....	3-5
メモプリセットキーを登録します.....	3-3
メモプリセットキーを使って商品を 呼び出します.....	3-4
文字入力画面のキーの機能.....	4-32
文字入力のしかた.....	4-32

ら

ラベルの貼付方向の調整と位置調整.....	3-15
ラベルの日付、時刻を変更します.....	3-12
ラベルをセットします.....	1-23
履歴一覧から個体識別No.とロットNo. を選択します.....	3-20
レギュレータ.....	1-6
ローマ字入力.....	4-36
ロットNo.を英数字で入力します.....	3-19
ロットNo.を直接入力します.....	3-18

仕様

FDP-AI S6			AS	AW	AT	ATW
操作部	表示部・操作方法	12.1インチ・タッチパネル	○	○	○	○
	ストロークキー	20キー	○	○	○	○
	取付タイプ	本体取付タイプ・別置スタンドタイプ	▲	▲	▲	▲
商品 搬送部	計量方式	ロードセル	○	○	○	○
	ひょう量/目量	6kg/1g タイプ ※	○	○	○	○
	貼付可能商品寸法	長さ:95~410mm(底面60mm以上) 幅 :70~260mm(底面50mm以上) 高さ:15~150mm 上げ底高さ:5mm以下 (長さ、幅、高さ、上げ底高さの組み合わせにより制限あり)	○	○	○	○
	搬送可能商品質量	20g~6000g	○	○	○	○
	搬送ガイド 移動方式	自動センタリング方式(取込コンベヤ=平ベルトタイプ時)	○	○	○	○
	コンベヤ進行方向	右流れタイプ ※工場オプションで左流れタイプもあり	●	●	●	●
	取込コンベヤタイプ	幅寄せローラータイプ(手前寄せ) 平ベルトタイプ(センター寄せ)	● ●	● ●	● ●	● ●
プリンタ部	ラベル貼付	上1連貼	○	-	-	-
		上1連貼+下貼	-	○	-	-
		上2連貼	-	-	○	-
		上2連貼+下貼	-	-	-	○
	上貼プリンタ 移動方式	自動移動方式(前後)	○	○	○	○
	上貼ラベル貼付位置	縦・横・斜め×右下・右上・左下・左上	○	○	○	○
	上貼貼付方式	回転式モーターアーム方式	○	○	○	○
	貼付能力(上貼) (MAX)	89回/分 ※ラベル天地・商品長さ・質量などの条件により制限あり	○	○	○	○
	貼付能力(下貼) (MAX)	100回/分 ※ラベル天地・商品長さ・質量などの条件により制限あり	-	○	-	○
	印字方式	ダイレクトサーマル方式	○	○	○	○
	サーマルヘッド	3インチ(960dot)・12dot/mm	○	○	○	○
	印字速度 (MAX)	200mm/分 ※印字条件やラベル材質により制限あり	○	○	○	○
	印字有効サイズ	横幅78mm	○	○	○	○
	対応ラベルサイズ	[上貼] 幅 : 20~80mm 天地 : 20~85mm (台紙幅 : 22~82mm)	○	○	○	○
		[下貼] 幅 : 20~80mm 天地 : 28~100mm (台紙幅 : 22~82mm)	-	○	-	○
文字サイズ	漢字:16×16、20×20、22×22、24×24、32×32、48×48 JIS第1水準、第2水準	○	○	○	○	
	数字:14×10、20×10、20×12、24×14、40×16等	○	○	○	○	
文字装飾	強調 反転 下線 枠囲み	○	○	○	○	

※ 3方向振分機(OP)の搬送可能な商品質量は20~20000g。
被計量物が2kgを超える場合は、コンベヤ速度は20m/分以下になります。

FDP-AI S6			AS	AW	AT	ATW
ラベル ロール 装着部	ラベル交換方式	カセット方式	○	○	○	○
	ラベル収納枚数	5000枚 (天地37mm、ギャップ2.5mm)				
	収納可能ラベル 巻径	外径 (MAX) : φ230mm 内径 : φ76mm				
	カセット認識	15種類				
	ラベル巻方向	外巻・内巻から選択可能				
その他	電源	AC100V±10% 50/60Hz	○	○	○	○
	コンセント形状	3P引掛け式	○	○	○	○
	消費電力	待機時:A, W	1.9A, 168W	2.2A, 178W	2.2A, 178W	2.3A, 185W
		動作時:A, W	3.6A, 286W	4.5A, 379W	5.1A, 406W	5.9A, 499W
	定格電流		6A	5A	1A	9A
	外形寸法 機長×奥行×高さ	1810×755×1870±50mm	○	○	—	—
		2410×755×1870±50mm	—	—	○	○
	本体質量	巾寄せタイプ ※センター寄せタイプの本体質量は巾寄せタイプ以下の質量になります。	約260 kg	約275 kg	約330 kg	約350 kg
	エアー消費量	最大能力発生時	100N ℓ /分	190N ℓ /分	200N ℓ /分	300N ℓ /分
	使用環境	温度:0~35℃ 湿度:20~85%(結露なきこと)	○	○	○	○
オプション	交換用ラベルカセット・排出シュート・パトライト・ウォンドスキャナ・ 出口表示器・金属検出機cosmo-one連動・X線検査装置IX-Gシリーズ連動・包装機連動					

貼付能力は貼付ラベルサイズ、商品長さ、形状等により異なります。
改良のため予告なく仕様や外観を変更することがありますのでご了承ください。

※記号の意味: "○" = 標準対応
"●" = タイプを選択
"▲" = 受注対応(工場オプション)
"—" = 不可

メモ

Lined area for notes with horizontal dashed lines.



本 社
東京支社

京都市左京区聖護院山王町44番地
東京都板橋区板橋1丁目52番1号

〒606-8392
〒173-0004

TEL. 075-751-7104 (直)
TEL. 03-3964-6204 (直)

取扱店
